

人 権 意 識 調 査

報 告 書

平成 2 7 年 6 月

北足立郡市町同和対策推進協議会

目 次

調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の方法	1
3	回収結果	1
4	市町別抽出数	2
5	報告書の見方	2

回答者の属性	3
--------	---

調査結果の概要

1	人権全般に対する意識・認知	5
2	女性に関する人権について	24
3	子どもに関する人権について	32
4	高齢者に関する人権について	38
5	障がい者に関する人権について	46
6	同和問題について	54
7	外国人に関する人権について	61
8	インターネットによる人権侵害について	69
9	人権問題への取組について	75
10	自由記述	79

「人権意識調査票」

調査の概要

1 調査の目的

人権に関する住民の意識を把握することにより、人権尊重の視点に立った施策を総合的かつ効率的に推進するための基礎資料とし、もって「住民一人ひとりの人権が尊重される社会」が実現することを目的とする。

2 調査の方法

調査対象者	北足立地区在住の20歳以上の男女
対象人数	6,900人
抽出方法	平成26年12月1日現在の住民基本台帳に基づく層化2段階無作為抽出
調査方法	郵送による配布、回収、無記名回答
調査期間	平成27年1月9日(金)から1月23日(金)まで
調査内容	<ul style="list-style-type: none">・人権全般に対する意識・認知・女性に関する人権について・子どもに関する人権について・高齢者に関する人権について・障がい者に関する人権について・同和問題について・外国人に関する人権について・インターネットによる人権侵害について・人権問題への取組について・自由記述

3 回収結果

発送数 6,900件
回収数 2,747件
回収率 39.8%

4 市町別抽出数

さいたま市	1,200	朝霞市	600
川口市	600	志木市	300
鴻巣市	300	和光市	300
上尾市	600	新座市	600
草加市	600	桶川市	300
蕨市	300	北本市	300
戸田市	600	伊奈町	300
		合計	6,900

5 報告書の見方

- ・設問中、各選択肢の回答実数は、全体の表のみに記載し、他は百分率での表記とする。
- ・百分率で示した結果は、小数点第2位を四捨五入したため、回答比率の合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答できる設問では、回答者数を分母として比率(%)を計算しているため、回答比率の合計が100%を超える。

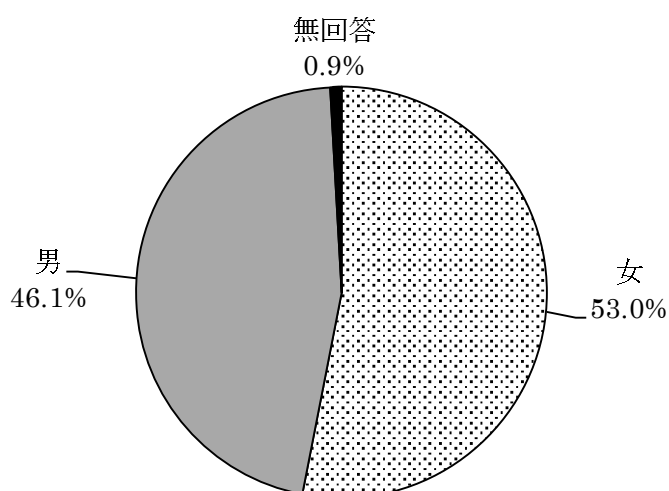
回答者の属性

問 1

【性別】

回答者の性別構成は、男性46.1%、女性53.0%となっている。

選択項目	人数	構成比
男	1,265	46.1%
女	1,457	53.0%
無回答	25	0.9%
合計	2,747	100.0%



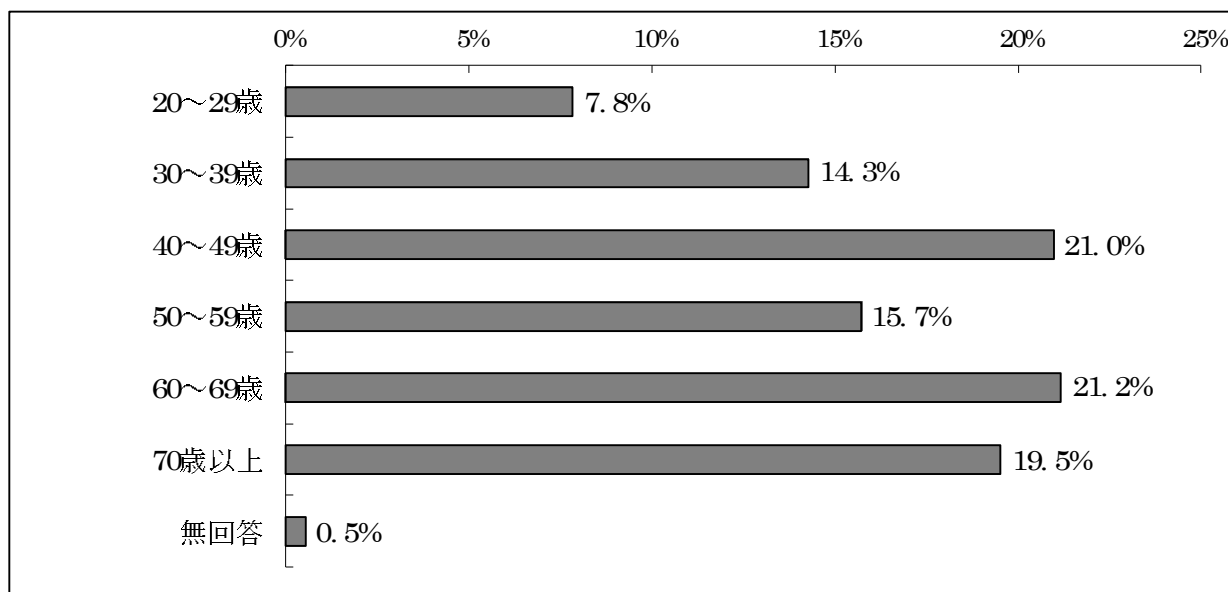
問 2

【年齢構成】

回答者の構成年齢は、60～69歳が21.2%で最も高く、次いで40～49歳21.0%、70歳以上19.5%、50歳～59歳15.7%と続いている。

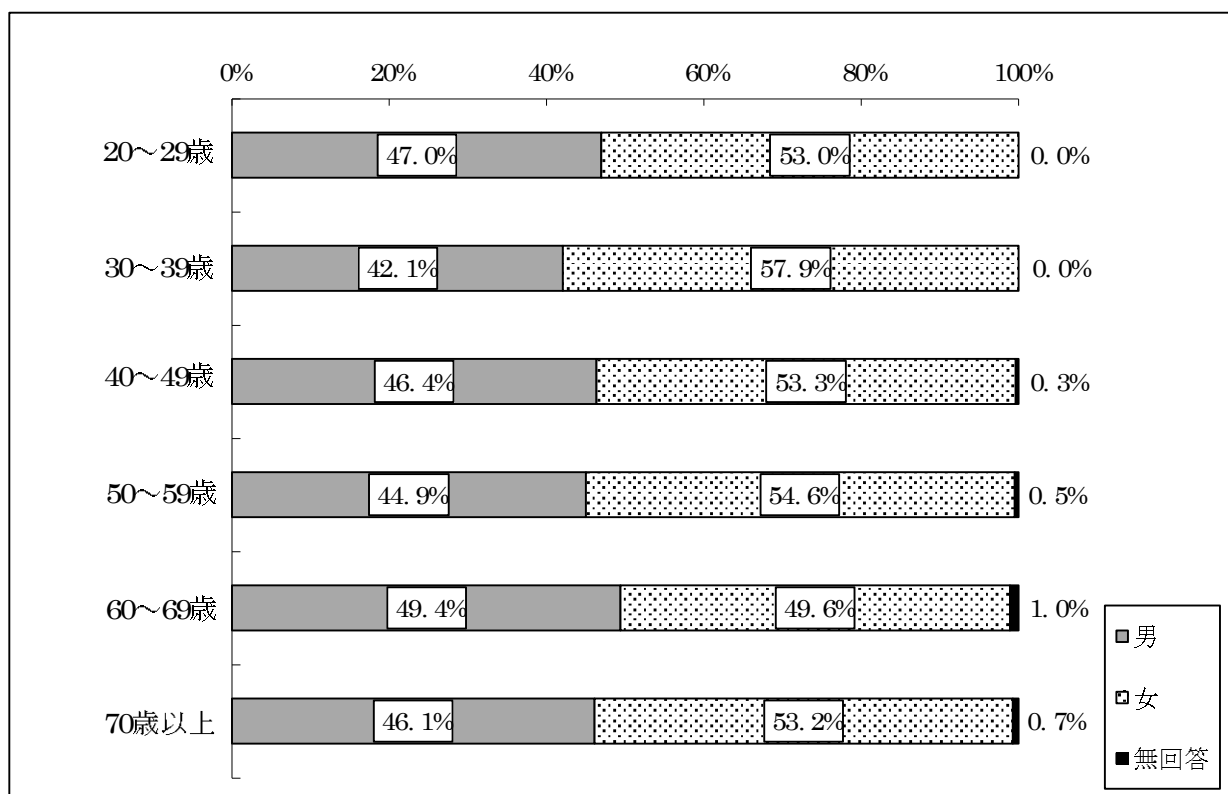
選択項目	人数	構成比
20～29歳	215	7.8%
30～39歳	392	14.3%
40～49歳	576	21.0%
50～59歳	432	15.7%
60～69歳	581	21.2%
70歳以上	536	19.5%
無回答	15	0.5%
合計	2,747	100.0%

回答者の属性



【年齢別／性別】

年齢別の男女別回答割合は、30歳代の女性の割合が57.9%と最も高く、全ての世代において、女性の回答割合が男性を上回っている。



調査結果の概要

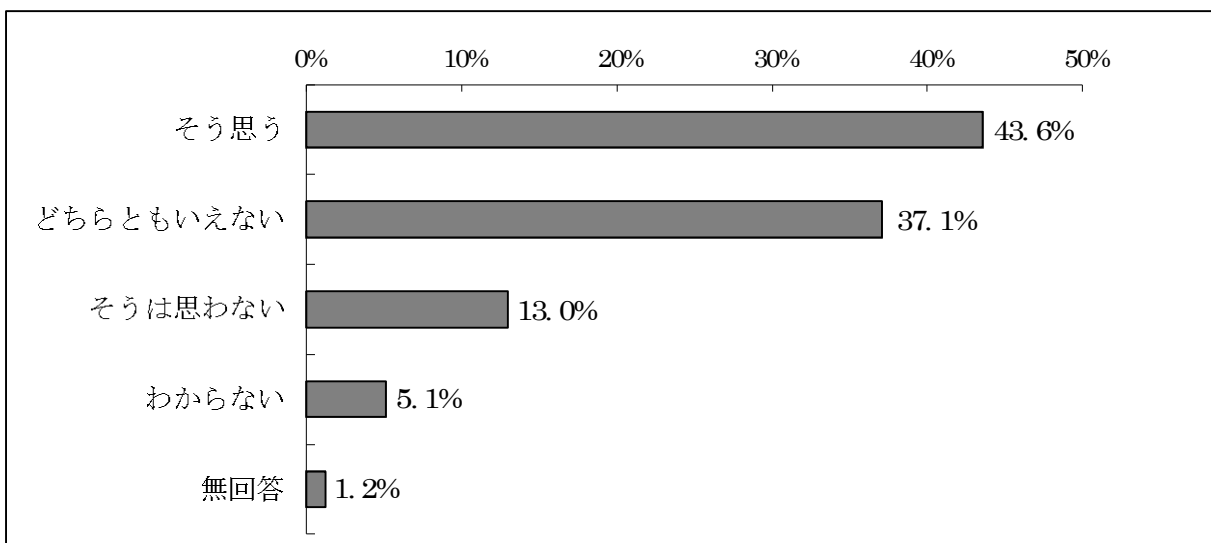
1 人権全般に対する意識・認知

問3 今の日本は、基本的人権が尊重されている社会であると思われますか。次の中から1つお選びください。

【全体】

今の日本は、基本的人権が尊重されている社会であると思われるか、という質問では、「そう思う」が43.6%で、「そうは思わない」13.0%を大きく上回っており、「どちらともいえない」が37.1%となっている。

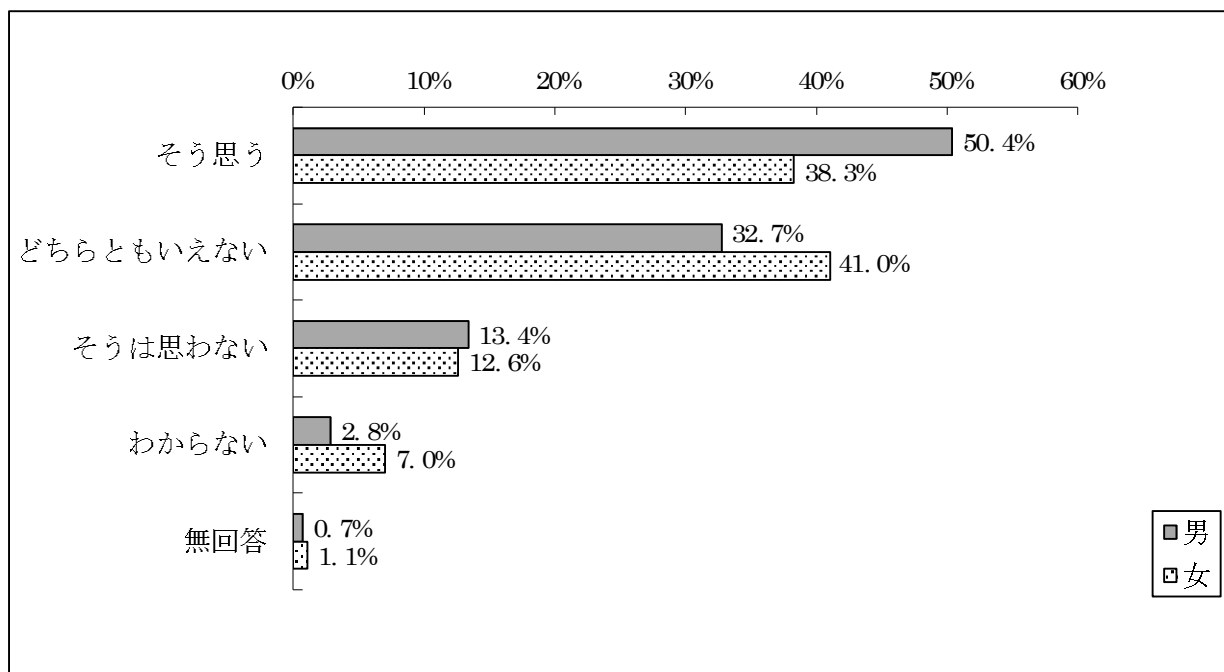
選択項目	回答数	構成比
そう思う	1,197	43.6%
どちらともいえない	1,019	37.1%
そうは思わない	356	13.0%
わからない	141	5.1%
無回答	34	1.2%



調査結果の概要

【性別】

性別で見ると、男性は「そう思う」が50.4%で、女性の38.3%を12.1ポイント上回っている。また、「どちらともいえない」は男性が32.7%で、女性では41.0%となっており、女性の方が8.3ポイント上回っている。



【年齢別】

年齢別で見ると、「そう思う」が70歳以上で48.7%と最も高くなっており、20歳代では37.2%と最も低く、11.5ポイントの差が見られる。また、「どちらともいえない」が、50歳代で39.4%と最も高くなっている。

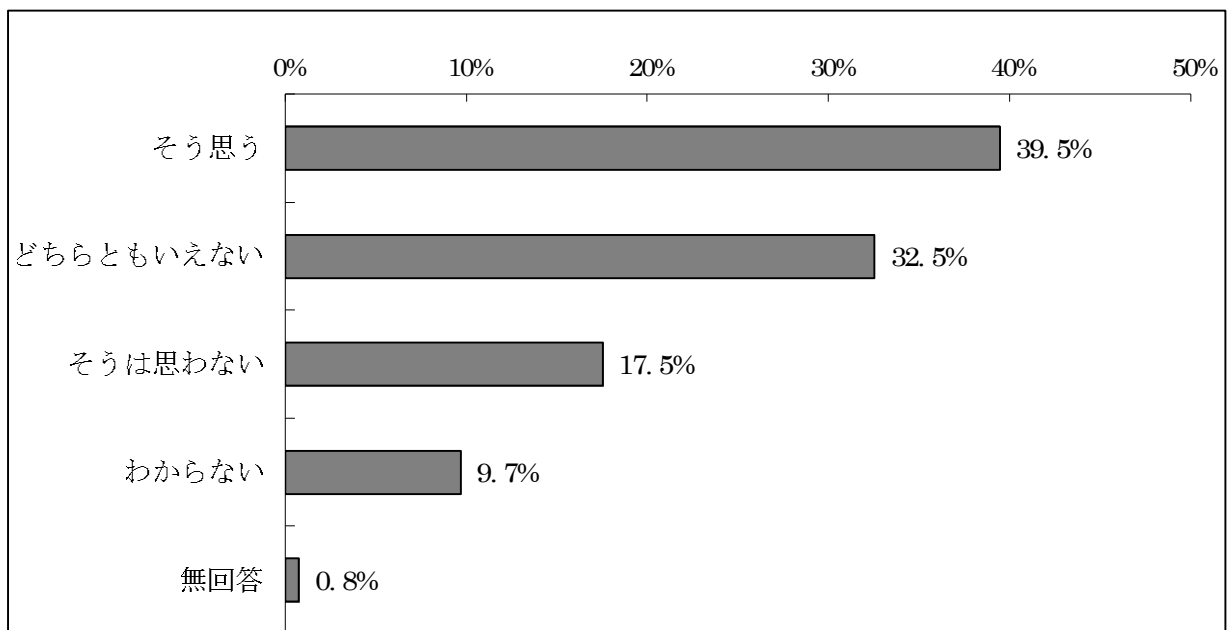
選択項目	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
そう思う	37.2%	40.3%	43.2%	42.6%	45.4%	48.7%
どちらともいえない	36.7%	38.8%	38.5%	39.4%	38.6%	31.7%
そうは思わない	16.3%	14.0%	13.9%	13.2%	12.6%	10.1%
わからない	8.8%	6.9%	4.0%	3.7%	2.6%	7.6%
無回答	0.9%	0.0%	0.3%	1.2%	0.9%	1.9%

問4 国民一人ひとりの人権意識は、10年前に比べて高くなっていると思えますか。
次の中から1つお選びください。

【全体】

国民一人ひとりの人権意識は、10年前に比べて高くなっていると思われるか、という質問では、「そう思う」が39.5%で、「そうは思わない」17.5%を大きく上回っており、「どちらともいえない」が32.5%となっている。

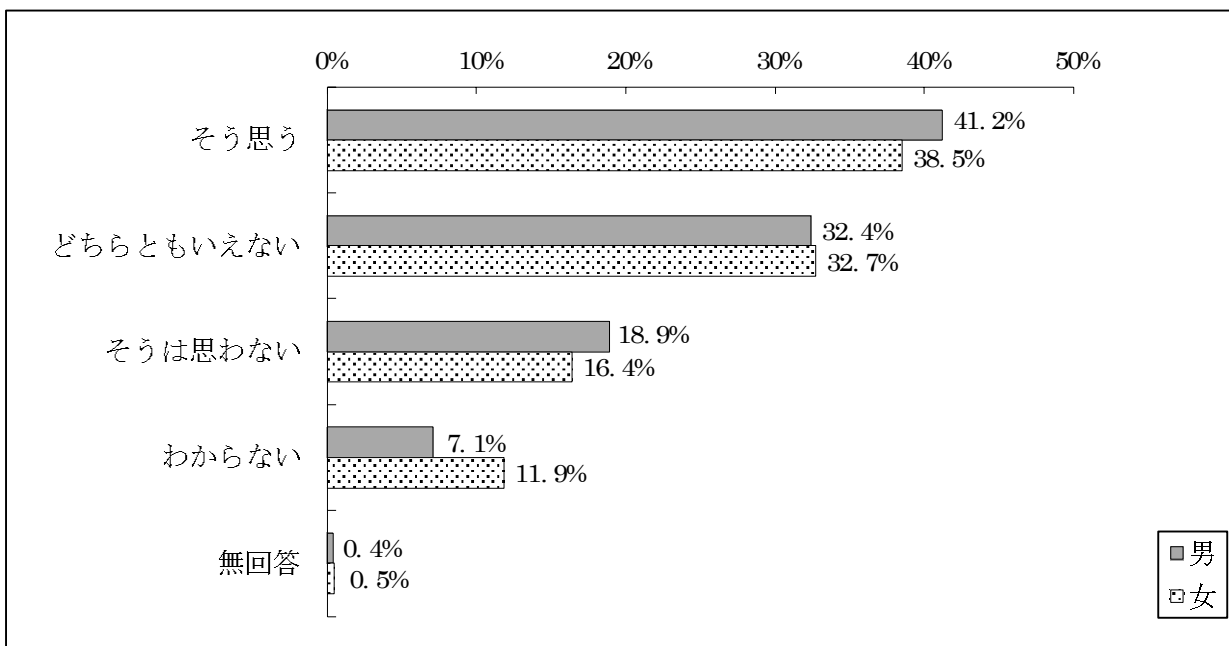
選択項目	回答数	構成比
そう思う	1,084	39.5%
どちらともいえない	894	32.5%
そうは思わない	482	17.5%
わからない	266	9.7%
無回答	21	0.8%



調査結果の概要

【性別】

性別で見ると、男性は「そう思う」が41.2%で、女性の38.5%を2.7ポイント上回っている。また、「そうは思わない」については、男性が18.9%、女性が16.4%となっており、こちらも男性が2.5ポイント上回っている。「どちらともいえない」については、男女間で大きな差は見られない。



【年齢別】

年齢別で見ると、20～40歳代では、「そう思う」が30%台にとどまり、50歳代以上は40%を超えている。

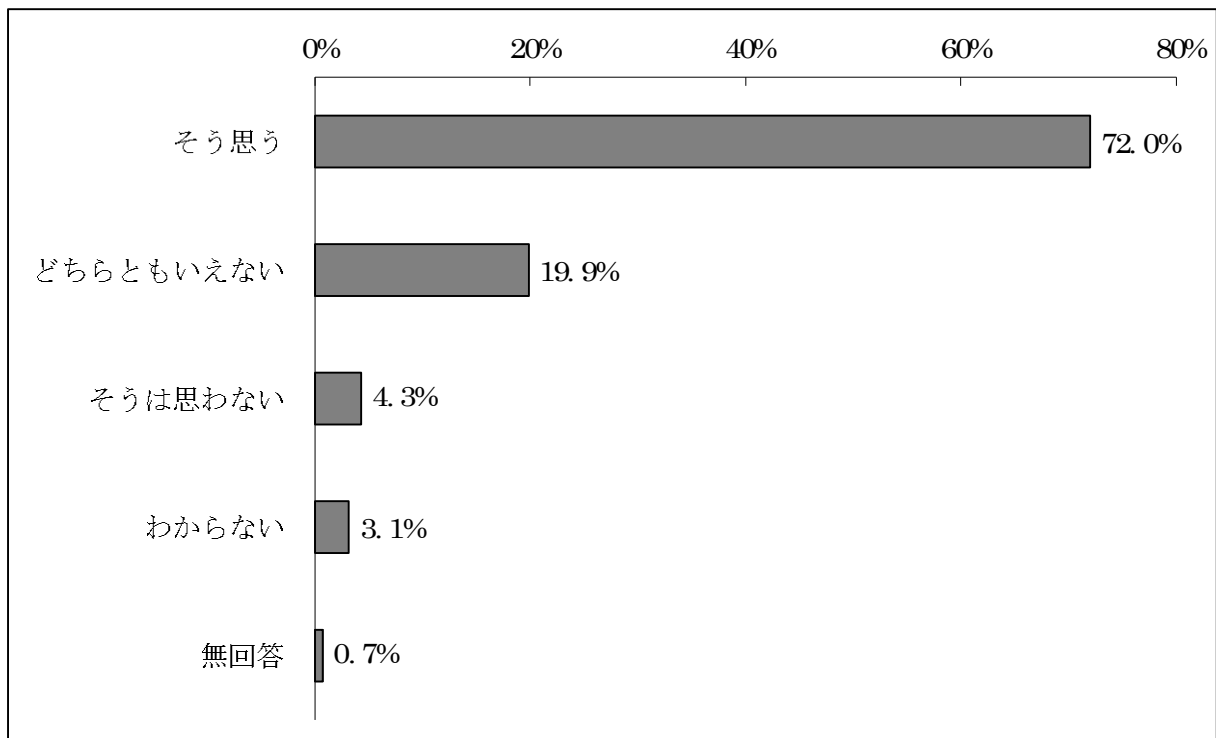
選択項目	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
そう思う	34.0%	37.2%	38.7%	42.6%	40.4%	41.2%
どちらともいえない	25.6%	30.6%	32.8%	31.7%	35.3%	34.5%
そうは思わない	17.7%	18.4%	19.3%	17.8%	19.3%	13.4%
わからない	21.9%	13.8%	8.7%	7.6%	4.8%	10.1%
無回答	0.9%	0.0%	0.5%	0.2%	0.2%	0.7%

問5 「近ごろ、人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた」という意見がありますが、あなたはこの意見についてどう思われますか。次の中から1つお選びください。

【全体】

「そう思う」が72.0%で最も多く、「そうは思わない」4.3%を大きく上回っている。

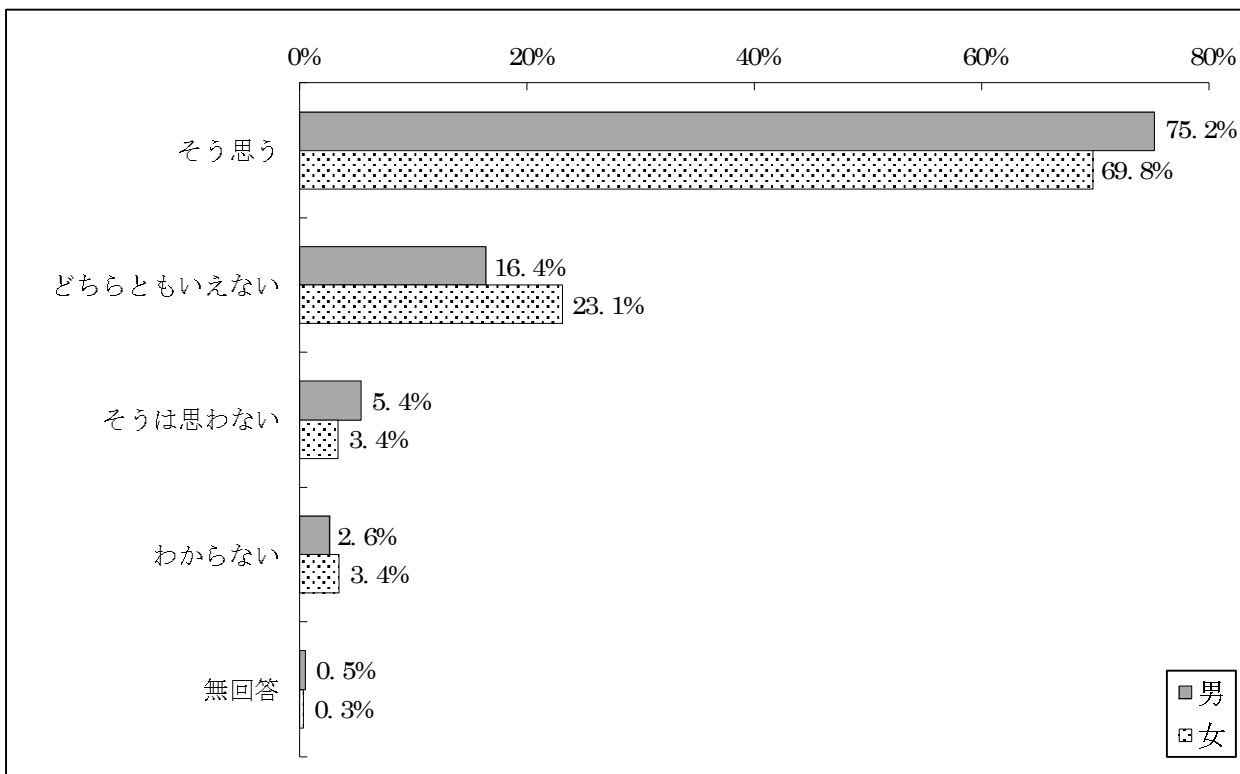
選択項目	回答数	構成比
そう思う	1,978	72.0%
どちらともいえない	546	19.9%
そうは思わない	117	4.3%
わからない	86	3.1%
無回答	20	0.7%



調査結果の概要

【性別】

性別で見ると、「そう思う」は男性が75.2%で、女性の69.8%を5.4ポイント上回っている。



【年齢別】

年齢別で見ると、「そう思う」は、20～30歳代で60%台、40歳以上で70%台となっている。特に50歳代は、77.1%と最も高くなっている。

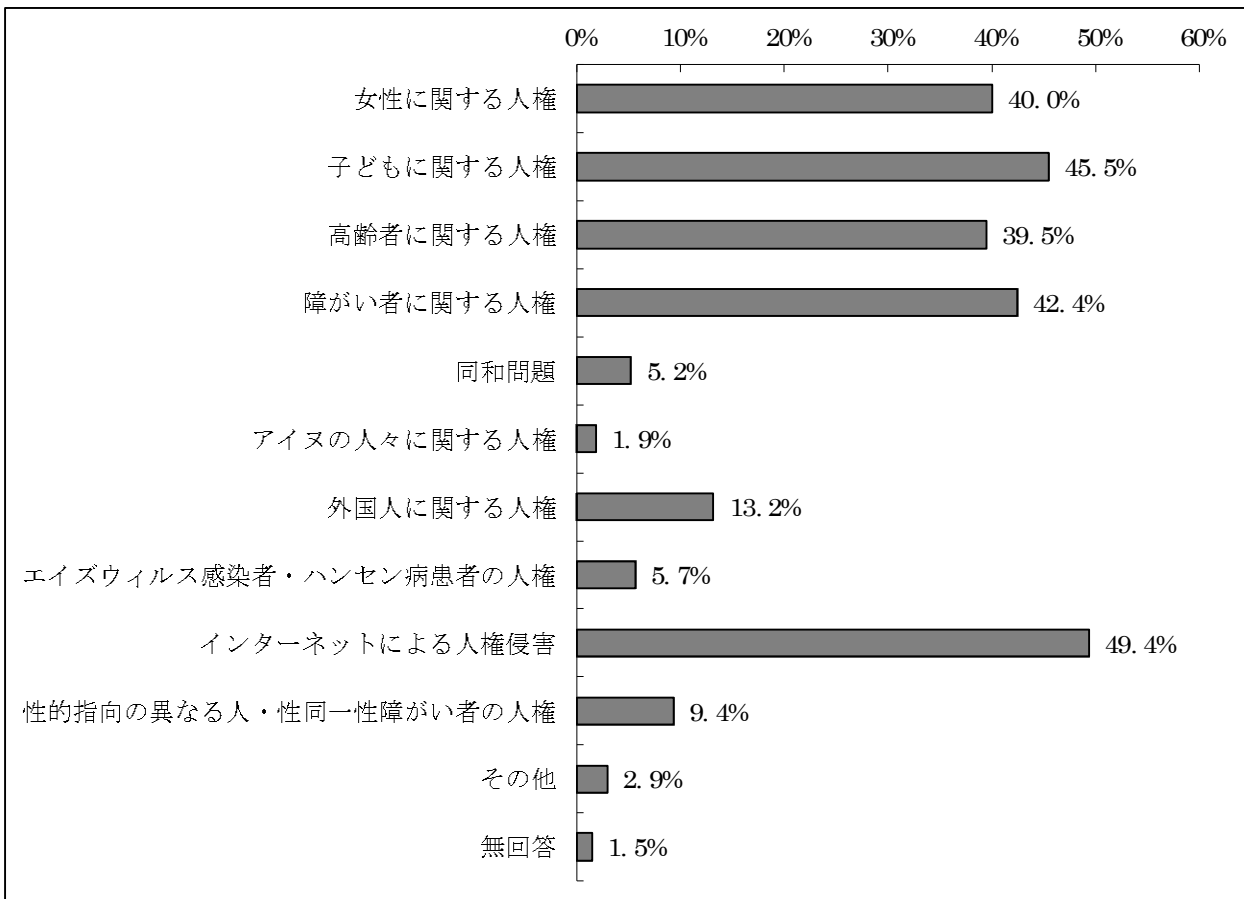
選択項目	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
そう思う	60.5%	67.9%	75.2%	77.1%	75.2%	70.0%
どちらともいえない	24.7%	22.2%	19.6%	15.7%	19.8%	20.3%
そうは思わない	7.4%	5.4%	2.6%	4.2%	3.6%	4.9%
わからない	6.5%	3.8%	2.4%	3.0%	1.0%	4.5%
無回答	0.9%	0.8%	0.2%	0.0%	0.3%	0.4%

問6 日本の社会には、人権にかかわるいろいろな問題がありますが、あなたが特に关心的问题をお持ちのものをあげてください。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

「インターネットによる人権侵害」が49.4%で最も高く、次いで「子どもに関する人権」が45.5%、「障がい者に関する人権」が42.4%と続いている。

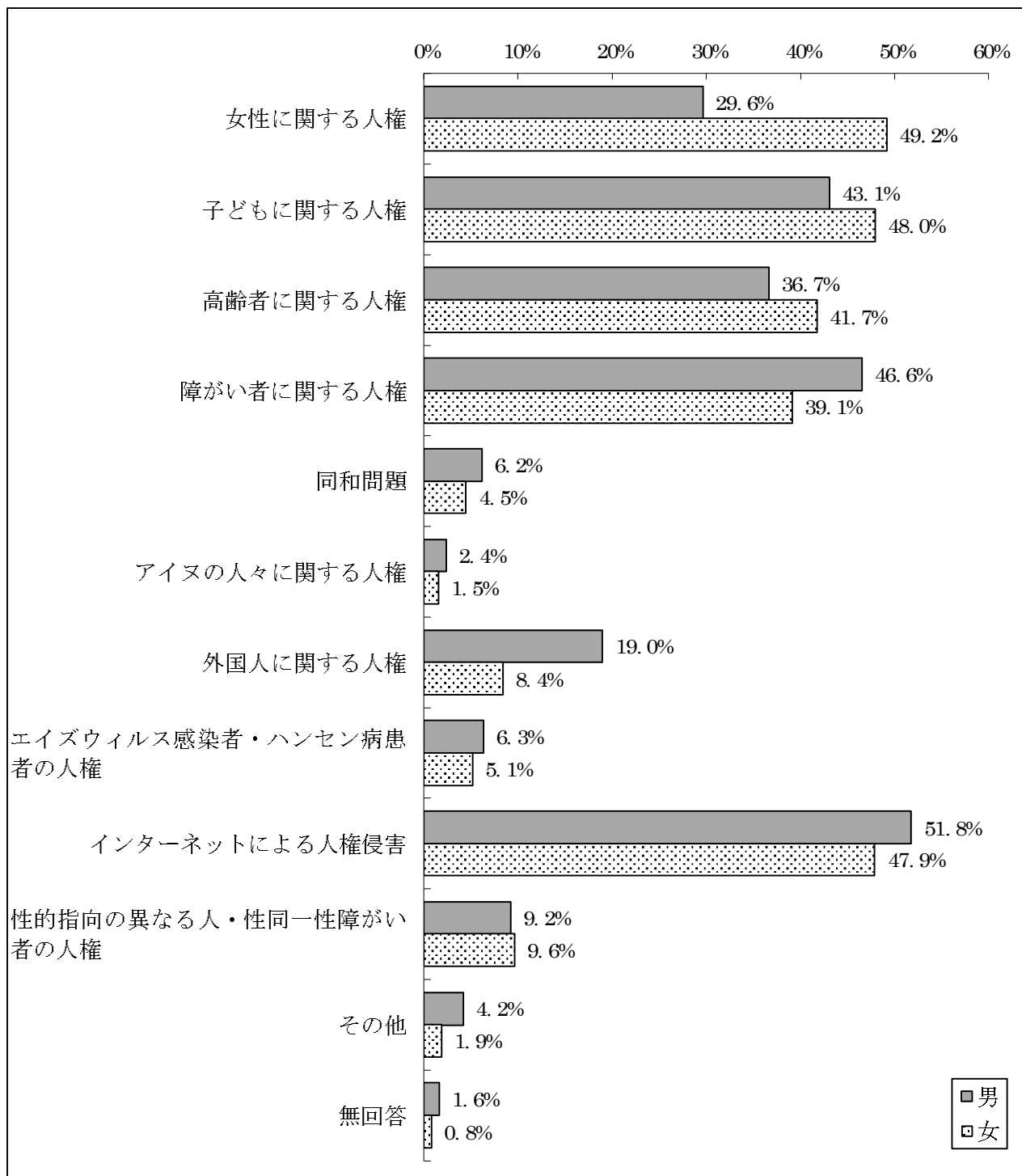
選択項目	回答数	構成比
女性に関する人権	1,100	40.0%
子どもに関する人権	1,250	45.5%
高齢者に関する人権	1,084	39.5%
障がい者に関する人権	1,166	42.4%
同和問題	144	5.2%
アイヌの人々に関する人権	52	1.9%
外国人に関する人権	362	13.2%
エイズウイルス感染者・ハンセン病患者の人権	156	5.7%
インターネットによる人権侵害	1,356	49.4%
性的指向の異なる人・性同一性障がい者の人権	257	9.4%
その他	81	2.9%
無回答	41	1.5%



【性別】

性別で見ると、「女性に関する人権」が男性の29.6%に対し女性が49.2%と19.6ポイント上回っている。一方、男性は女性よりも「障がい者に関する人権」

(男性46.6%：女性39.1%)は7.5ポイント、「外国人に関する人権」(男性19.0%：女性8.4%)は、10.6ポイント上回っている。



【年齢別】

年齢別で見ると、「高齢者に関する人権」が、70歳以上で64.4%と最も高くなっているが、若年層になるに従って低くなっている。「インターネットによる人権侵害」は、20歳代が59.1%と最も高く、30～50歳代でも50%台となっている。また、「女性に関する人権」は、20歳代が50.2%と最も高い割合となっている。

選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
女性に関する人権	50.2%	47.7%	39.8%	38.7%	36.8%	36.0%
子どもに関する人権	38.6%	50.3%	45.7%	41.7%	46.0%	47.8%
高齢者に関する人権	15.8%	18.9%	27.4%	40.7%	50.6%	64.4%
障がい者に関する人権	35.3%	37.0%	38.5%	42.4%	50.1%	46.1%
同和問題	2.3%	4.6%	6.4%	5.6%	5.3%	5.2%
アイヌの人々に関する人権	1.4%	1.8%	1.6%	1.9%	2.6%	1.9%
外国人に関する人権	20.9%	16.6%	13.2%	15.5%	11.0%	8.4%
エイズウイルス感染者・ハンセン病患者の 人権	2.3%	4.8%	6.8%	7.2%	5.7%	5.4%
インターネットによる人権侵害	59.1%	52.6%	56.9%	55.6%	44.2%	36.6%
性的指向の異なる人・性同一性障がい者の 人権	22.3%	13.5%	9.4%	10.0%	6.9%	3.5%
その他	3.7%	4.1%	4.0%	2.8%	2.1%	1.7%
無回答	1.4%	2.0%	0.9%	0.5%	1.0%	1.3%

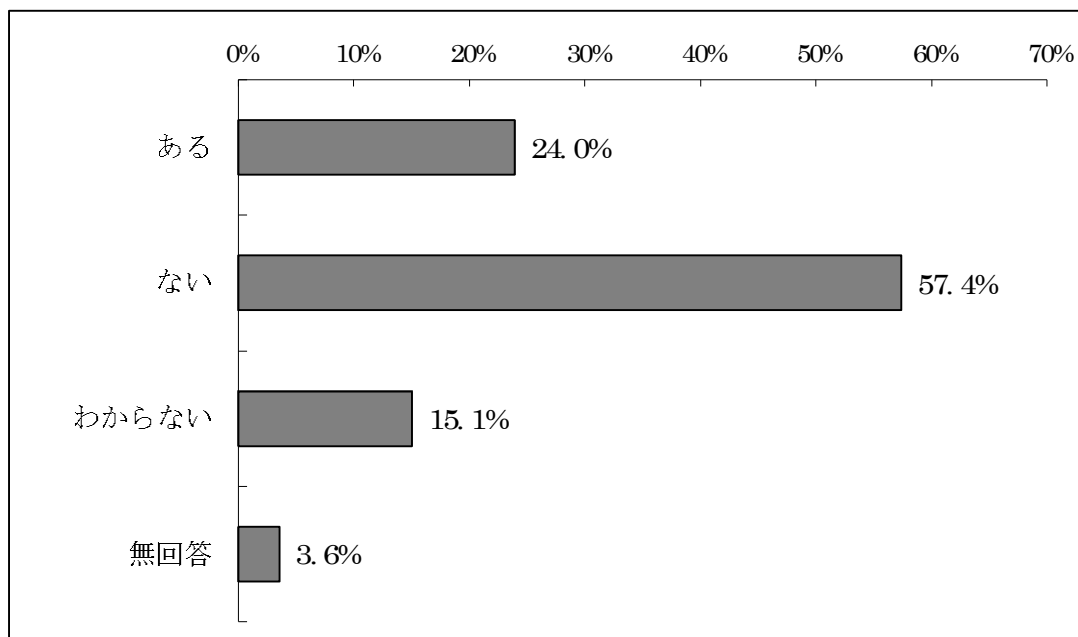
調査結果の概要

問7 あなたは、今までに、自己的人権が侵害されたと思われたことがありますか。次の中から1つお選びください。

【全体】

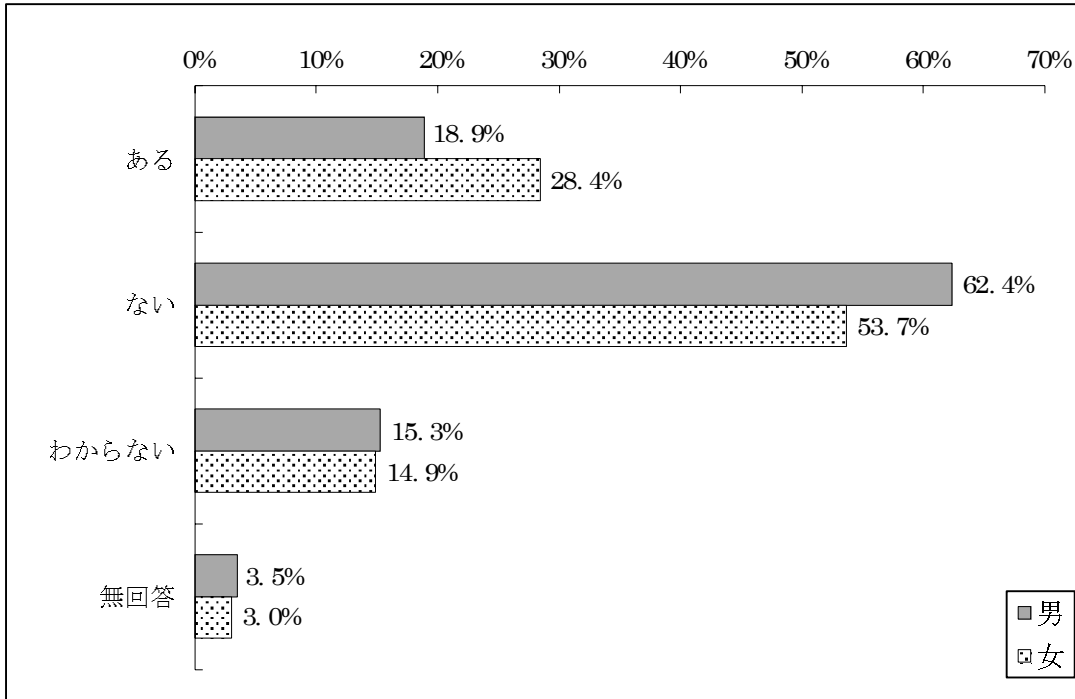
自己的人権が侵害されたと思われるか、という質問では、「ある」が24.0%、「ない」が57.4%となっている。

選択項目	回答数	構成比
ある	658	24.0%
ない	1,577	57.4%
わからない	414	15.1%
無回答	98	3.6%



【性別】

性別で見ると、人権侵害を受けたことが「ある」は、男性18.9%に対し、女性28.4%と9.5ポイント上回っている。



【年齢別】

年齢別で見ると「ある」と答えたのは20歳代が29.8%と最も高く、30～60歳代では20%を超えているが、70歳代では、17.9%と最も低くなっている。

選択項目	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
ある	29.8%	26.5%	25.9%	27.3%	21.3%	17.9%
ない	52.6%	54.8%	54.0%	57.6%	62.0%	60.8%
わからない	15.8%	16.6%	18.8%	12.7%	12.6%	14.6%
無回答	1.9%	2.0%	1.4%	2.3%	4.1%	6.7%

調査結果の概要

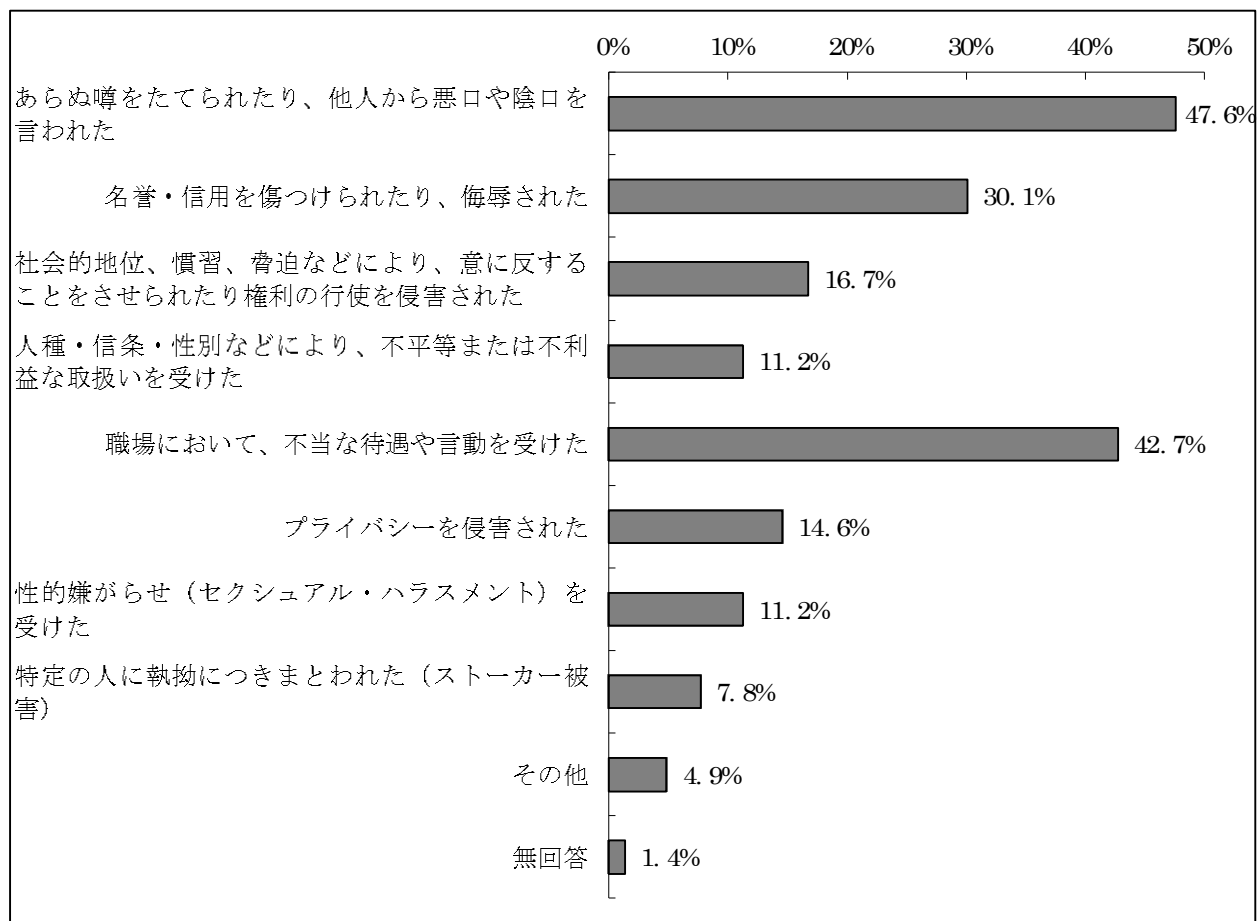
問8 (問7で「1 ある」と答えた方にお聞きします。)

どのような人権侵害でしたか。次の中から該当するものすべてお選びください。

【全体】

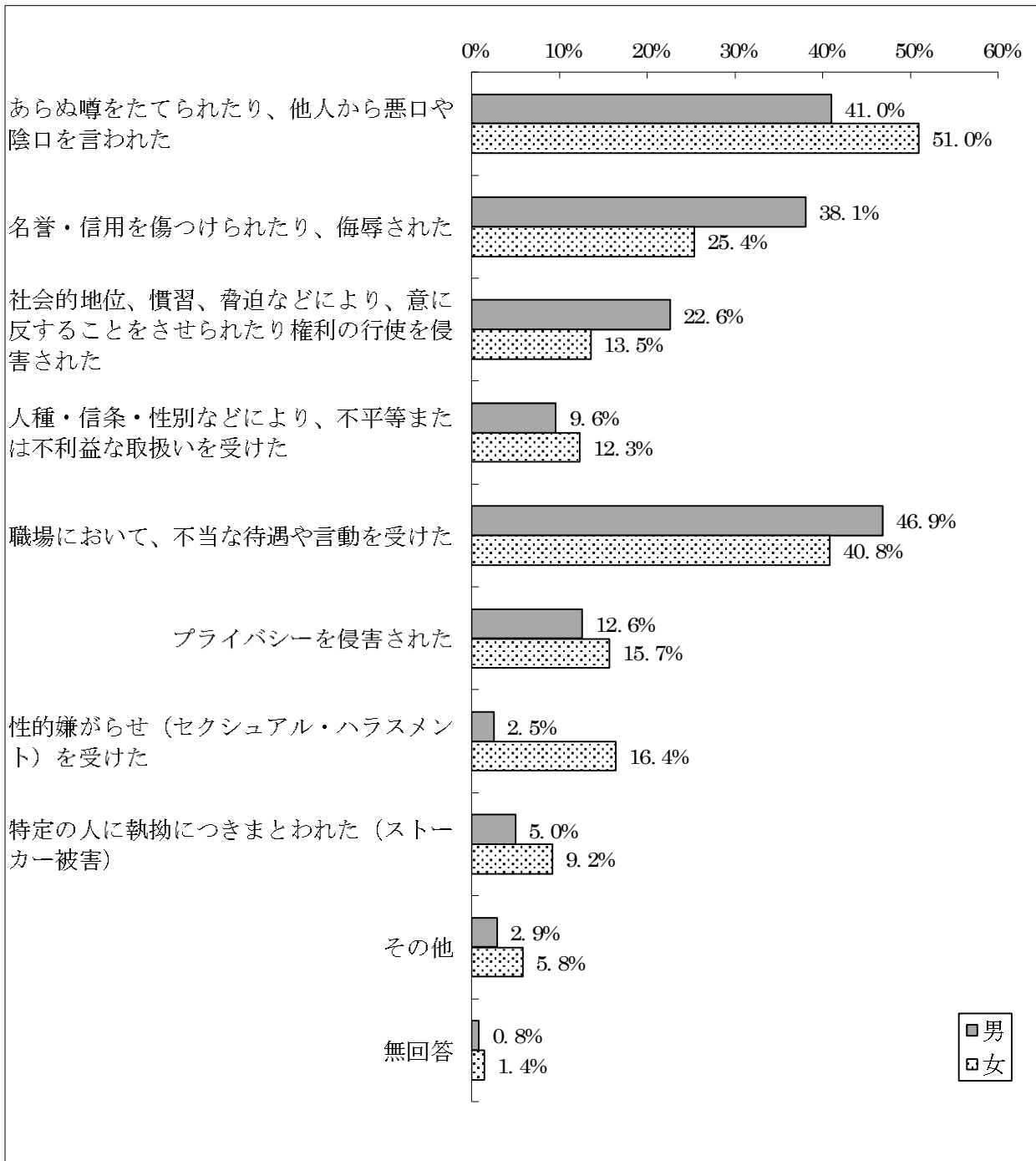
「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」が47.6%で最も高く、次いで「職場において、不当な待遇や言動を受けた」が42.7%、「名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された」が30.1%となっている。

選択項目	回答数	構成比
あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた	313	47.6%
名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された	198	30.1%
社会的地位、慣習、脅迫などにより、意に反することをさせられたり権利の行使を侵害された	110	16.7%
人種・信条・性別などにより、不平等または不利益な取扱いを受けた	74	11.2%
職場において、不当な待遇や言動を受けた	281	42.7%
プライバシーを侵害された	96	14.6%
性的嫌がらせ（セクシュアル・ハラスメント）を受けた	74	11.2%
特定の人に執拗につきまとわれた（ストーカー被害）	51	7.8%
その他	32	4.9%
無回答	9	1.4%



【性別】

性別で見ると、男性は女性よりも「職場において、不当な待遇や言動を受けた」（男性46.9%：女性40.8%）は、6.1ポイント、「名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された」（男性38.1%：女性25.4%）は、12.7ポイント上回り、女性は男性よりも「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」（男性41.0%：女性51.0%）が10ポイント、「性的嫌がらせ」（男性2.5%：女性16.4%）は、13.9ポイント上回っている。



調査結果の概要

【年齢別】

年齢別で見ると、各年代において「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」の割合が高くなっている。「職場において、不当な待遇や言動を受けた」では、40歳代が57.7%、50歳代が53.4%と高い割合となっている。

選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた	53.1%	44.2%	38.9%	47.5%	58.1%	47.9%
名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された	25.0%	36.5%	27.5%	24.6%	31.5%	34.4%
社会的地位、慣習、脅迫などにより、意に反することをさせられたり権利の行使を侵害された	14.1%	23.1%	17.4%	19.5%	15.3%	9.4%
人種・信条・性別などにより、不平等または不利益な取扱いを受けた	12.5%	14.4%	10.7%	16.9%	6.5%	7.3%
職場において、不当な待遇や言動を受けた	48.4%	44.2%	57.7%	53.4%	28.2%	20.8%
プライバシーを侵害された	20.3%	17.3%	14.8%	13.6%	10.5%	14.6%
性的嫌がらせ（セクシュアル・ハラスメント）を受けた	15.6%	17.3%	14.1%	12.7%	5.6%	3.1%
特定の人に執拗につきまとわれた（ストーカー被害）	9.4%	15.4%	8.7%	6.8%	4.8%	2.1%
その他	6.3%	4.8%	6.0%	2.5%	3.2%	7.3%
無回答	0.0%	1.0%	0.7%	0.8%	2.4%	2.1%

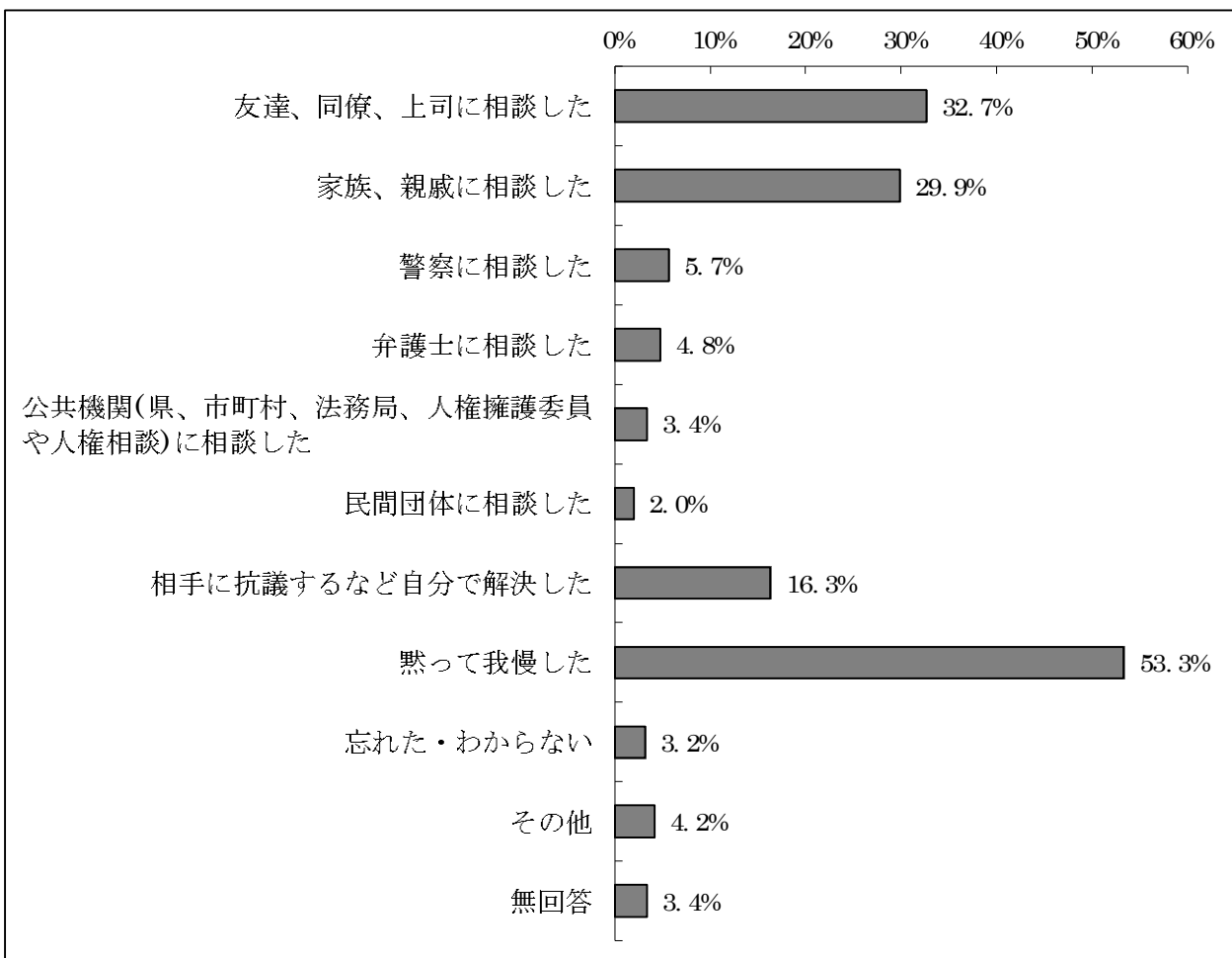
問9 (問8で答えた方にお聞きします。)

その時、どうされましたか。次の中から該当するものすべてお選びください。

【全体】

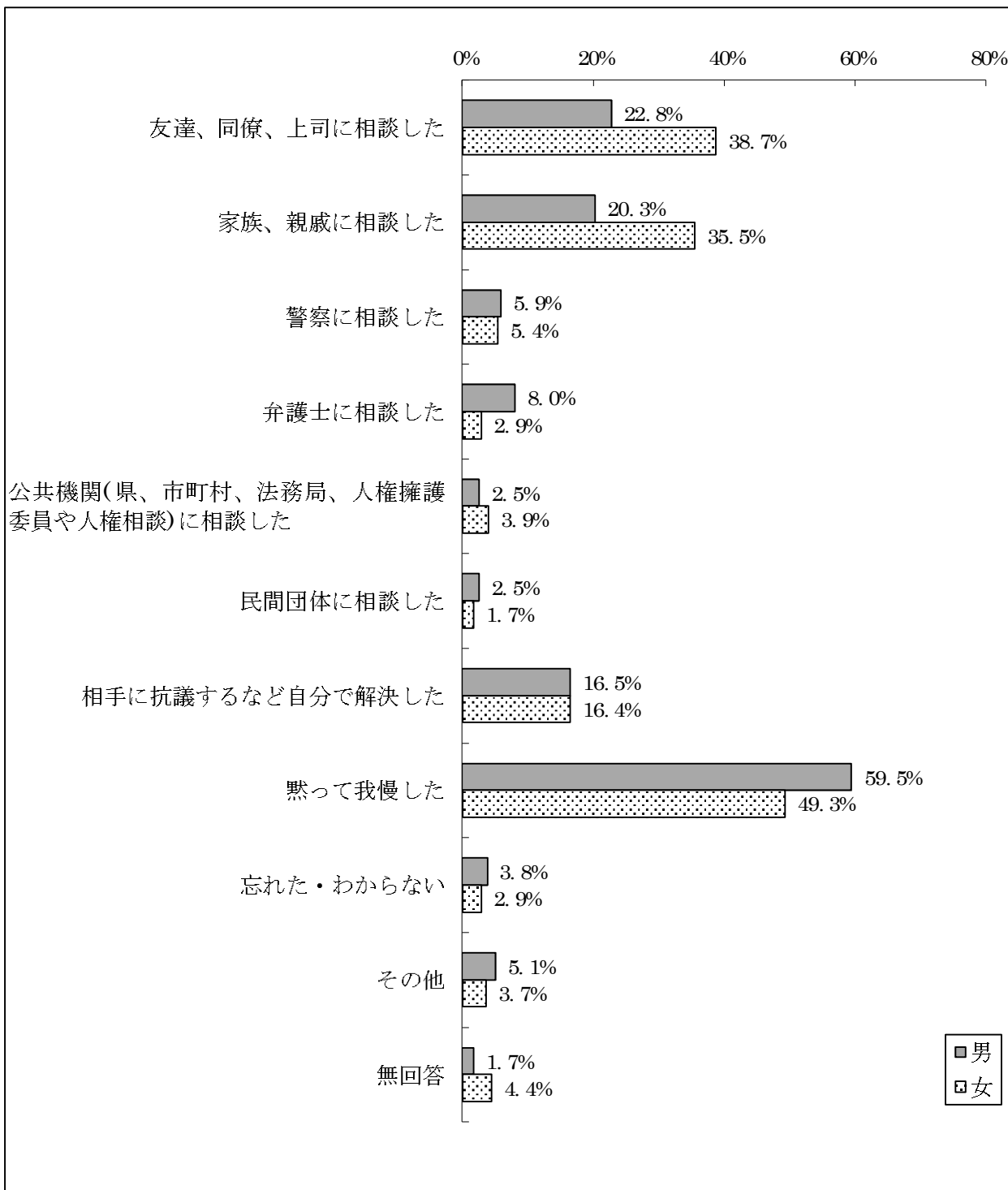
人権が侵害された時の対応は、「黙って我慢した」が53.3%で最も高く、次いで「友達、同僚、上司に相談した」が32.7%、「家族、親戚に相談した」が29.9%となっている。

選択項目	回答数	構成比
友達、同僚、上司に相談した	212	32.7%
家族、親戚に相談した	194	29.9%
警察に相談した	37	5.7%
弁護士に相談した	31	4.8%
公共機関(県、市町村、法務局、人権擁護委員や人権相談)に相談した	22	3.4%
民間団体に相談した	13	2.0%
相手に抗議するなど自分で解決した	106	16.3%
黙って我慢した	346	53.3%
忘れた・わからない	21	3.2%
その他	27	4.2%
無回答	22	3.4%



【性別】

性別で見ると、女性は男性よりも「友達、同僚、上司に相談した」（男性22.8%：女性38.7%）は、15.9ポイント、「家族、親戚に相談した」（男性20.3%：女性35.5%）は、15.2ポイント上回り、「黙って我慢した」（男性59.5%：女性49.3%）は男性が10.2ポイント上回っている。



【年齢別】

年齢別では、各年代において「黙って我慢した」の割合が最も高い。「家族、親戚に相談した」の中では、20歳代で48.4%と最も高くなっている。

選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
友達、同僚、上司に相談した	34.4%	37.9%	34.5%	36.8%	31.4%	20.2%
家族、親戚に相談した	48.4%	35.9%	31.1%	24.8%	28.9%	17.0%
警察に相談した	9.4%	8.7%	3.4%	6.0%	7.4%	1.1%
弁護士に相談した	6.3%	5.8%	3.4%	6.0%	3.3%	5.3%
公共機関(県、市町村、法務局、人権擁護委員や人権相談)に相談した	1.6%	2.9%	2.0%	6.0%	4.1%	3.2%
民間団体に相談した	4.7%	3.9%	0.0%	0.9%	3.3%	1.1%
相手に抗議するなど自分で解決した	9.4%	18.4%	18.2%	14.5%	21.5%	10.6%
黙って我慢した	53.1%	54.4%	51.4%	56.4%	47.9%	57.4%
忘れた・わからない	6.3%	1.9%	4.7%	2.6%	2.5%	2.1%
その他	1.6%	1.9%	4.1%	6.8%	4.1%	5.3%
無回答	1.6%	4.9%	4.1%	2.6%	3.3%	3.2%

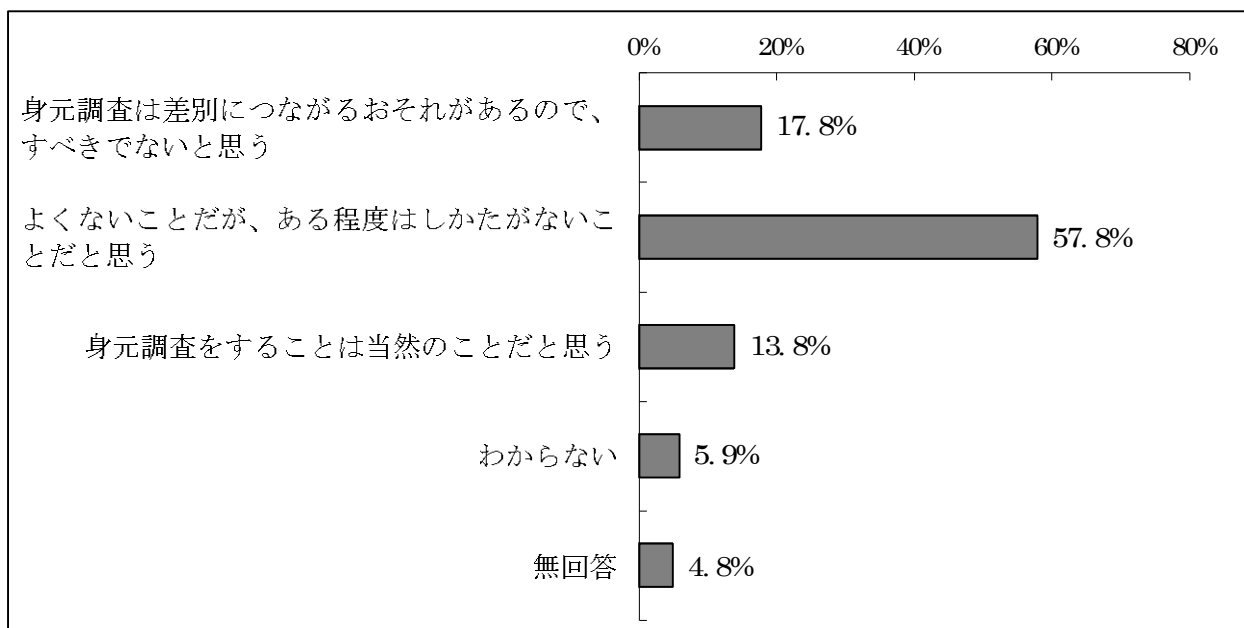
調査結果の概要

問10 あなたは、結婚や就職時の身元調査について、どのようにお考えですか。次の中から1つお選びください。

【全体】

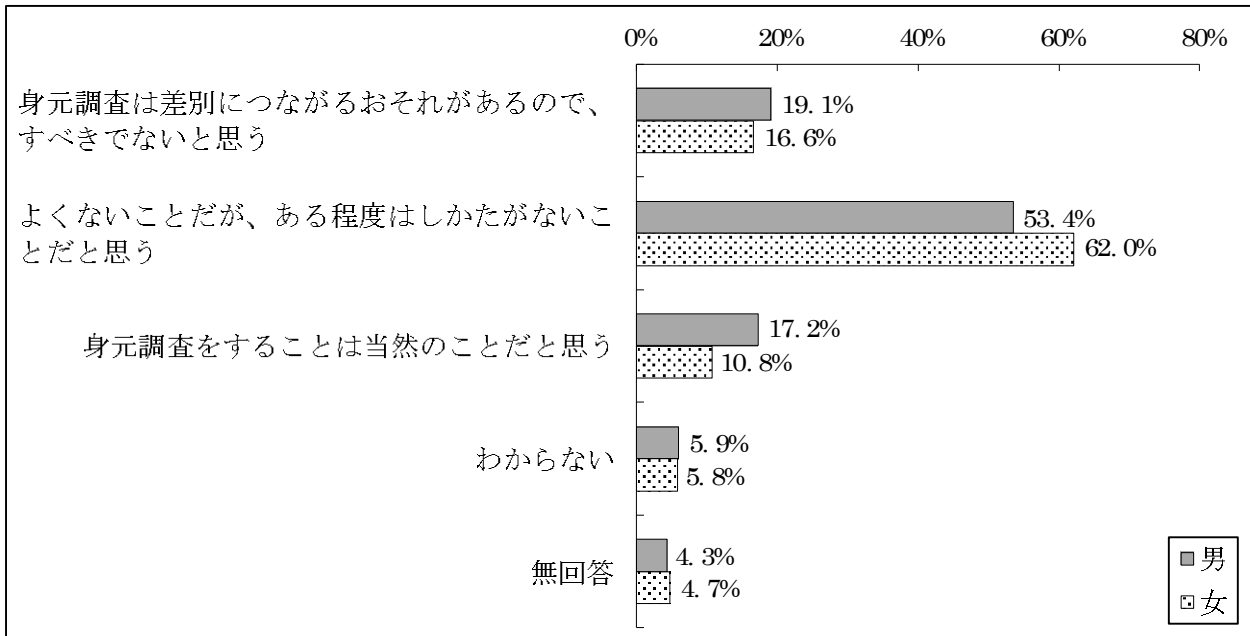
あなたは、結婚や就職時の身元調査について、どのように考えるか、という質問では、「よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う」が57.8%で最も高く、次いで「身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う」が17.8%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う	488	17.8%
よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う	1,587	57.8%
身元調査をすることは当然のことだと思う	378	13.8%
わからない	161	5.9%
無回答	133	4.8%



【性別】

性別で見ると、女性は「よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う」が62.0%で、男性の53.4%を8.6ポイント上回っている。「身元調査をすることは当然のことだと思う」については、男性が17.2%で、女性の10.8%を6.4ポイント上回っている。



【年齢別】

各年代において、「よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う」が半数以上を占め、最も高い。20～60歳代では、2番目に高いのが「身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う」となっているが、70歳以上では、「身元調査をすることは当然のことだと思う」が2番目に高い。

選択項目	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う	14.9%	16.3%	20.3%	19.2%	20.8%	13.1%
よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う	62.8%	61.2%	57.5%	57.9%	57.1%	54.9%
身元調査をすることは当然のことだと思う	14.0%	13.0%	12.7%	13.2%	11.9%	18.1%
わからない	5.1%	5.4%	7.3%	5.8%	4.3%	6.9%
無回答	3.3%	4.1%	2.3%	3.9%	5.9%	7.1%

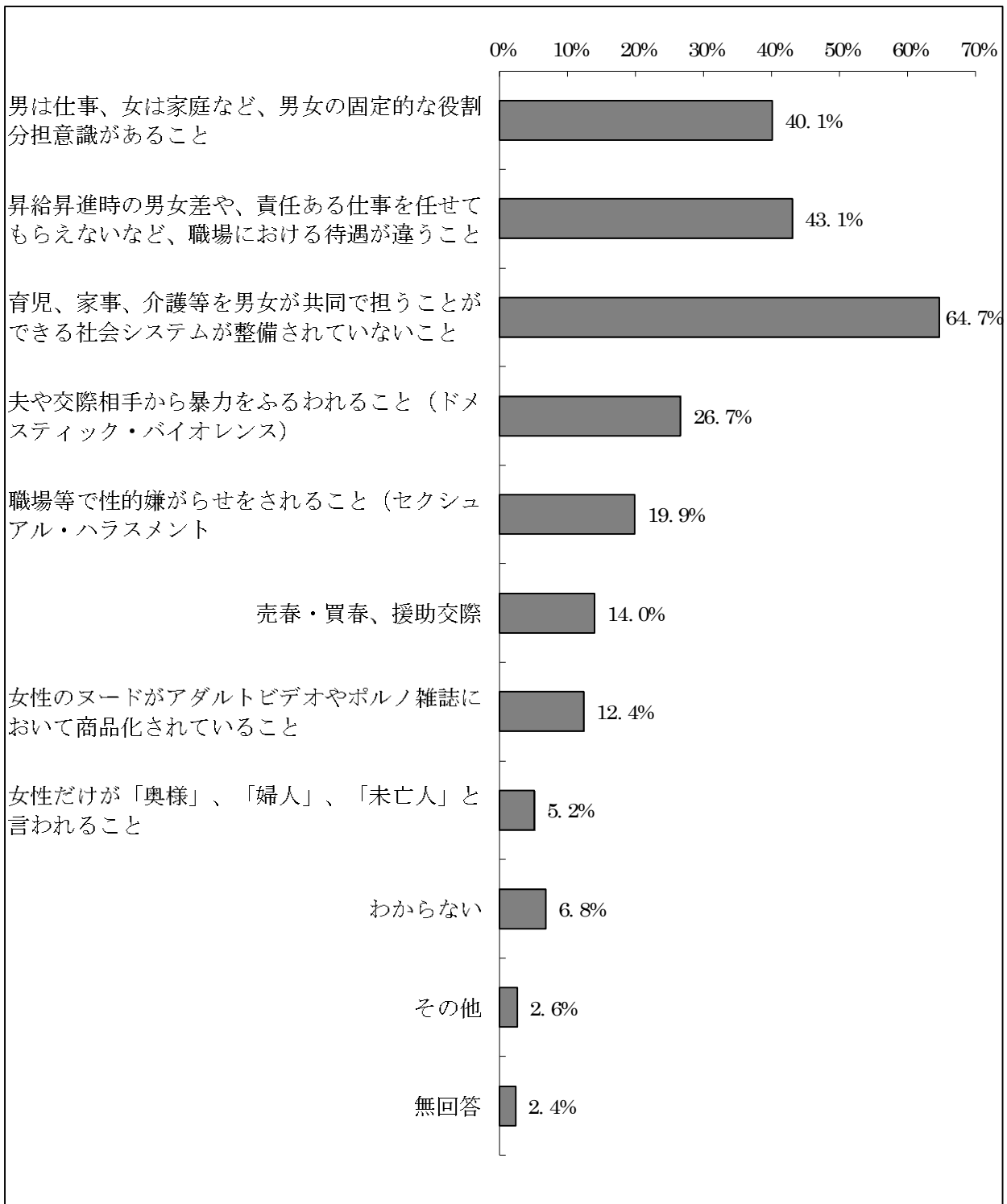
2 女性に関する人権について

問11 女性に関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

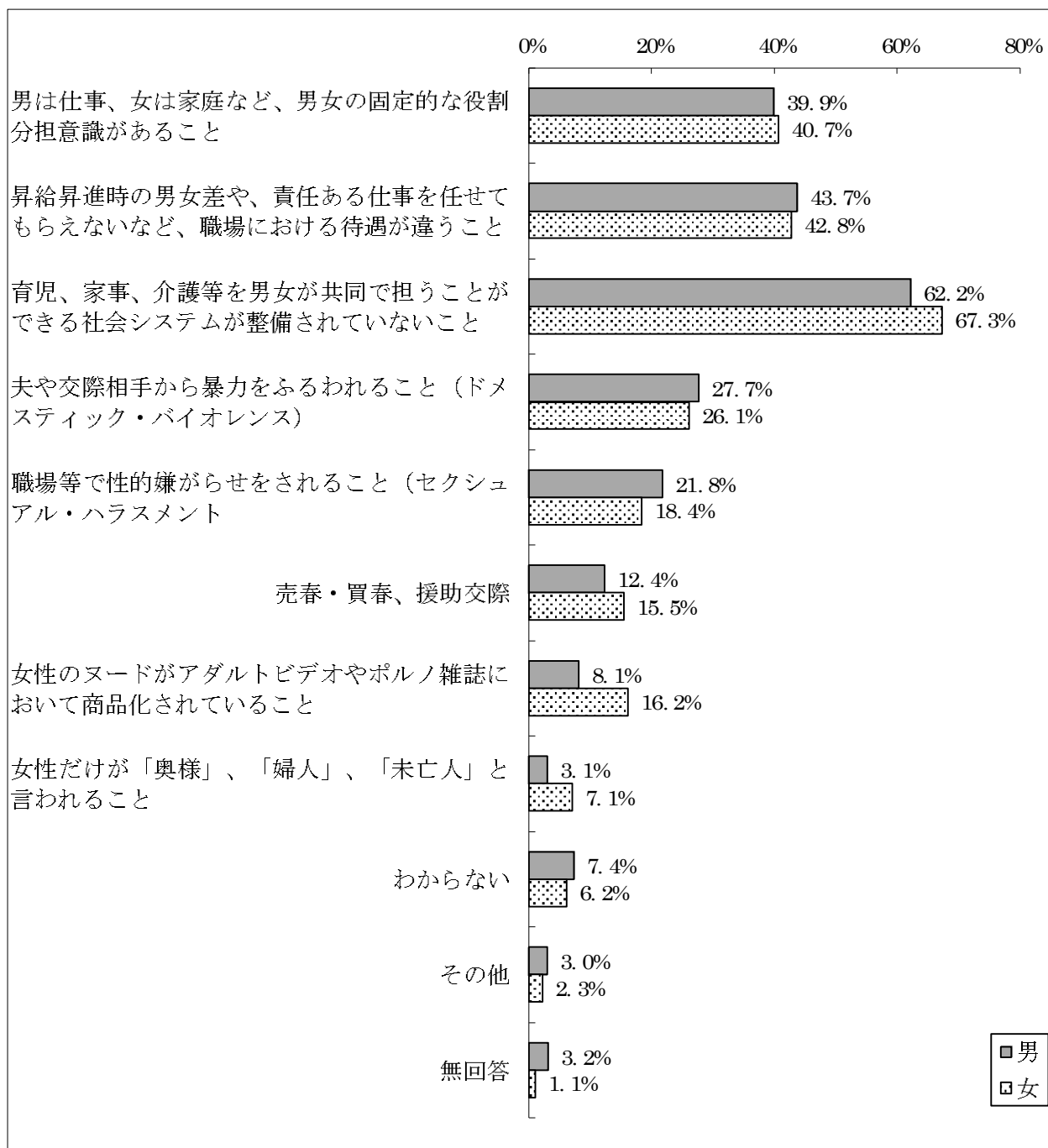
女性に関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことか、という質問では、「育児、家事、介護等を男女が共同で担うことができる社会システムが整備されていないこと」が64.7%で最も高く、次いで「昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえないなど、職場における待遇が違うこと」が43.1%、「男は仕事、女は家庭など、男女の固定的な役割分担意識があること」が40.1%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
男は仕事、女は家庭など、男女の固定的な役割分担意識があること	1,102	40.1%
昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえないなど、職場における待遇が違うこと	1,184	43.1%
育児、家事、介護等を男女が共同で担うことができる社会システムが整備されていないこと	1,778	64.7%
夫や交際相手から暴力をふるわれること（ドメスティック・バイオレンス）	733	26.7%
職場等で性的嫌がらせをされること（セクシュアル・ハラスメント）	547	19.9%
売春・買春、援助交際	384	14.0%
女性のヌードがアダルトビデオやポルノ雑誌において商品化されていること	342	12.4%
女性だけが「奥様」、「婦人」、「未亡人」と言われること	142	5.2%
わからない	188	6.8%
その他	71	2.6%
無回答	65	2.4%



【性別】

男女ともに、「育児、家事、介護等を男女が共同で担うことができる社会システムが整備されていないこと」の回答が最も多い。男女間で選択率の差が大きいものとしては、「女性のヌードがアダルトビデオやポルノ雑誌において商品化されていること」（男性8.1%：女性16.2%）、「女性だけが「奥様」、「婦人」、「未亡人」と言われること」（男性3.1%：女性7.1%）が挙げられる。



【年齢別】

各年代において、「育児、家事、介護等を男女が共同で担うことができる社会システムが整備されていないこと」の回答が最も多い。「職場等で性的嫌がらせをされること（セクシュアル・ハラスメント）」の項目については、若い年代の方が比較的選択率が高い。

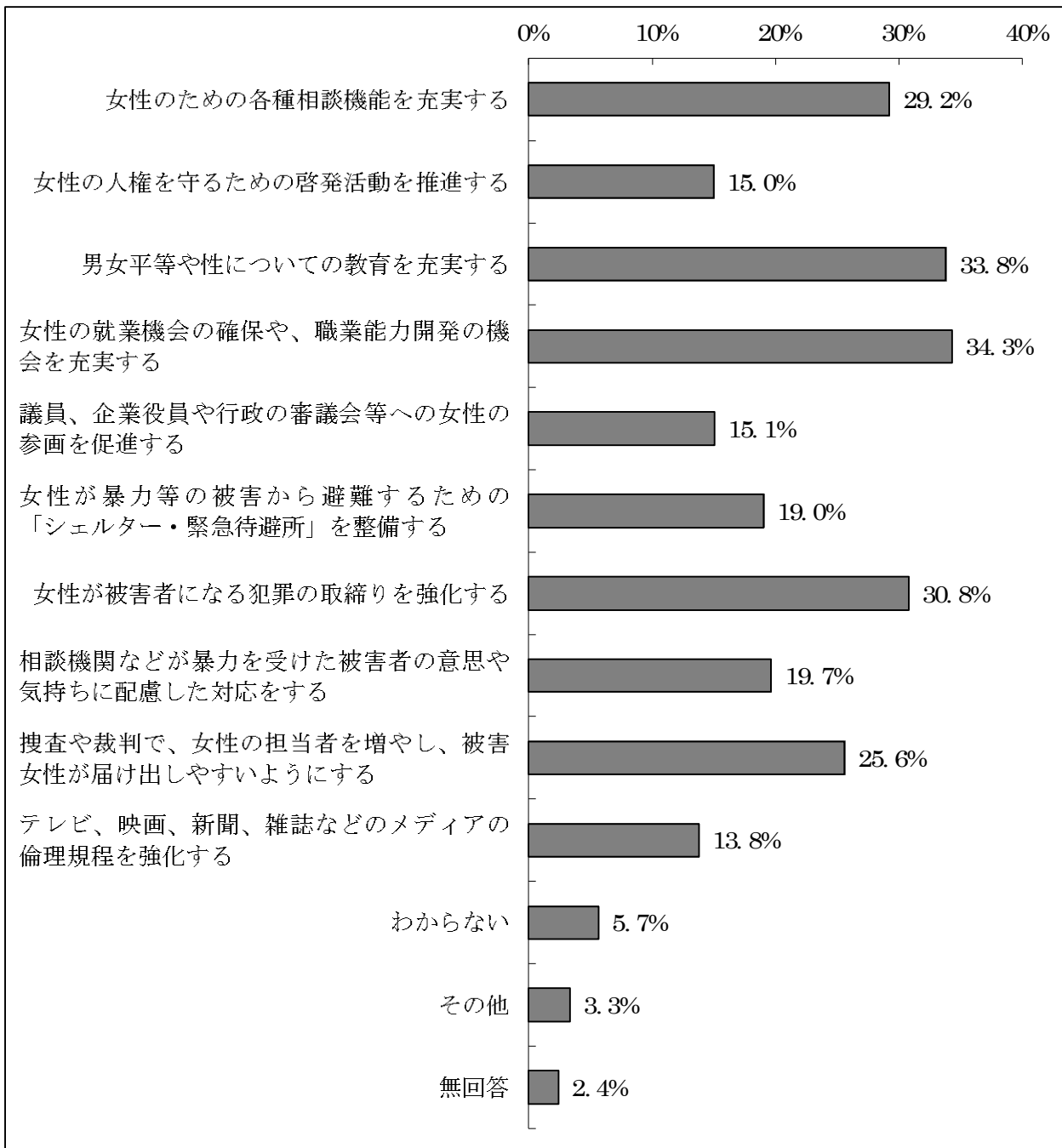
選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
男は仕事、女は家庭など、男女の固定的な役割分担意識があること	38.6%	38.5%	38.4%	42.6%	40.3%	42.4%
昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえないなど、職場における待遇が違うこと	49.8%	42.1%	40.1%	47.0%	45.1%	39.7%
育児、家事、介護等を男女が共同で担うことができる社会システムが整備されていないこと	70.2%	68.1%	64.4%	68.5%	64.0%	59.1%
夫や交際相手から暴力をふるわれること (ドメスティック・バイオレンス)	22.3%	29.3%	30.9%	31.9%	25.5%	19.0%
職場等で性的嫌がらせをされること（セクシュアル・ハラスメント）	30.7%	21.7%	22.9%	20.8%	18.8%	11.9%
売春・買春、援助交際	9.8%	9.9%	12.5%	16.0%	16.5%	16.0%
女性のヌードがアダルトビデオやポルノ雑誌において商品化されていること	7.9%	7.7%	7.5%	10.2%	16.9%	20.5%
女性だけが「奥様」、「婦人」、「未亡人」と言われること	1.9%	4.1%	3.3%	5.1%	6.2%	8.4%
わからない	2.8%	6.9%	5.9%	4.9%	7.6%	10.4%
その他	3.7%	4.8%	3.5%	2.5%	1.0%	1.3%
無回答	0.5%	1.3%	0.5%	1.2%	2.8%	5.0%

問12 女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われますか。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

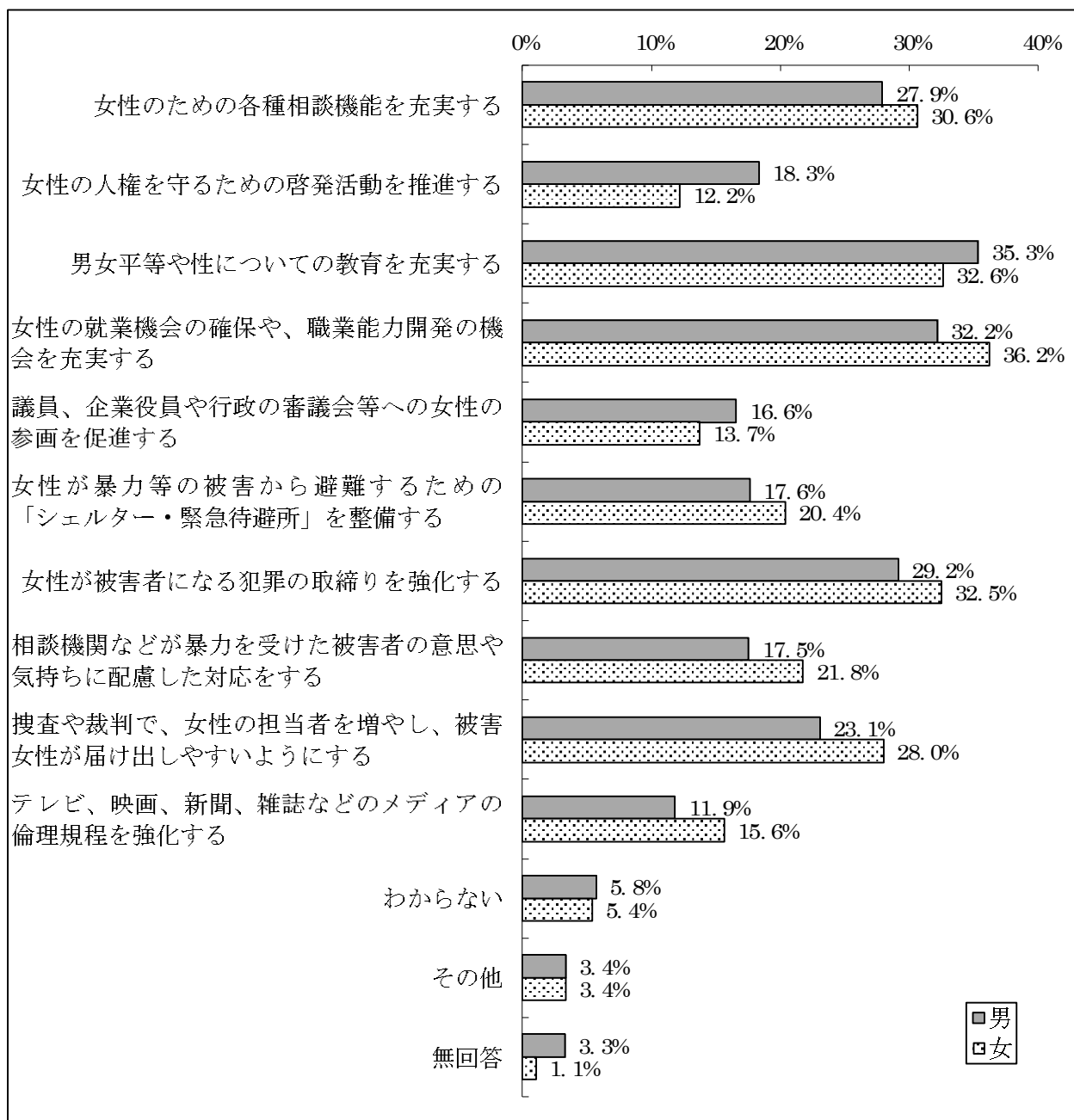
女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われるか、という質問では、「女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会を充実する」が34.3%で最も高く、次いで「男女平等や性についての教育を充実する」が33.8%、「女性が被害者になる犯罪の取締りを強化する」が30.8%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
女性のための各種相談機能を充実する	803	29.2%
女性の人権を守るための啓発活動を推進する	412	15.0%
男女平等や性についての教育を充実する	928	33.8%
女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会を充実する	942	34.3%
議員、企業役員や行政の審議会等への女性の参画を促進する	414	15.1%
女性が暴力等の被害から避難するための「シェルター・緊急待避所」を整備する	523	19.0%
女性が被害者になる犯罪の取締りを強化する	845	30.8%
相談機関などが暴力を受けた被害者の意思や気持ちに配慮した対応をする	540	19.7%
捜査や裁判で、女性の担当者を増やし、被害女性が届け出しやすいようにする	703	25.6%
テレビ、映画、新聞、雑誌などのメディアの倫理規程を強化する	379	13.8%
わからない	156	5.7%
その他	92	3.3%
無回答	66	2.4%



【性別】

男性は女性よりも「女性の人権を守るための啓発活動を推進する」（男性18.3%：女性12.2%）が6.1ポイント上回っている。一方、「女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会を充実する」（男性32.2%：女性36.2%）、「相談機関などが暴力を受けた被害者の意思や気持ちに配慮した対応をする」（男性17.5%：女性21.8%）、「捜査や裁判で、女性の担当を増やし、被害女性が届け出しやすいようにする」（男性23.1%：女性28.0%）では、女性が男性よりも4ポイントから4.9ポイント上回っている。



【年齢別】

各年代とも「女性のための各種相談機能を充実する」、「男女平等や性についての教育を充実する」、「女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会を充実する」、「女性が被害者になる犯罪の取締りを強化する」の選択率が20%を上回っている。

選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
女性のための各種相談機能を充実する	29.8%	24.5%	26.0%	28.2%	31.0%	35.3%
女性の人権を守るための啓発活動を推進する	9.3%	10.7%	10.9%	15.0%	19.8%	19.6%
男女平等や性についての教育を充実する	34.9%	32.7%	32.3%	37.5%	37.5%	29.1%
女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会を充実する	38.1%	40.6%	31.3%	33.8%	32.9%	33.8%
議員、企業役員や行政の審議会等への女性の参画を促進する	15.3%	14.0%	13.9%	13.9%	16.0%	17.0%
女性が暴力等の被害から避難するための「シェルター・緊急待避所」を整備する	14.4%	21.2%	20.0%	22.0%	20.8%	14.4%
女性が被害者になる犯罪の取締りを強化する	23.7%	28.8%	33.9%	26.2%	32.2%	34.1%
相談機関などが暴力を受けた被害者の意思や気持ちに配慮した対応をする	16.7%	16.1%	19.3%	24.5%	20.7%	19.4%
捜査や裁判で、女性の担当者を増やし、被害女性が届け出しやすいようにする	28.4%	25.5%	26.0%	26.6%	26.3%	22.6%
テレビ、映画、新聞、雑誌などのメディアの倫理規程を強化する	7.0%	10.7%	12.8%	16.2%	18.6%	12.9%
わからない	5.6%	5.9%	7.3%	3.7%	3.3%	8.2%
その他	7.9%	6.1%	4.2%	2.8%	1.0%	1.7%
無回答	0.9%	1.8%	0.9%	1.4%	2.6%	4.3%

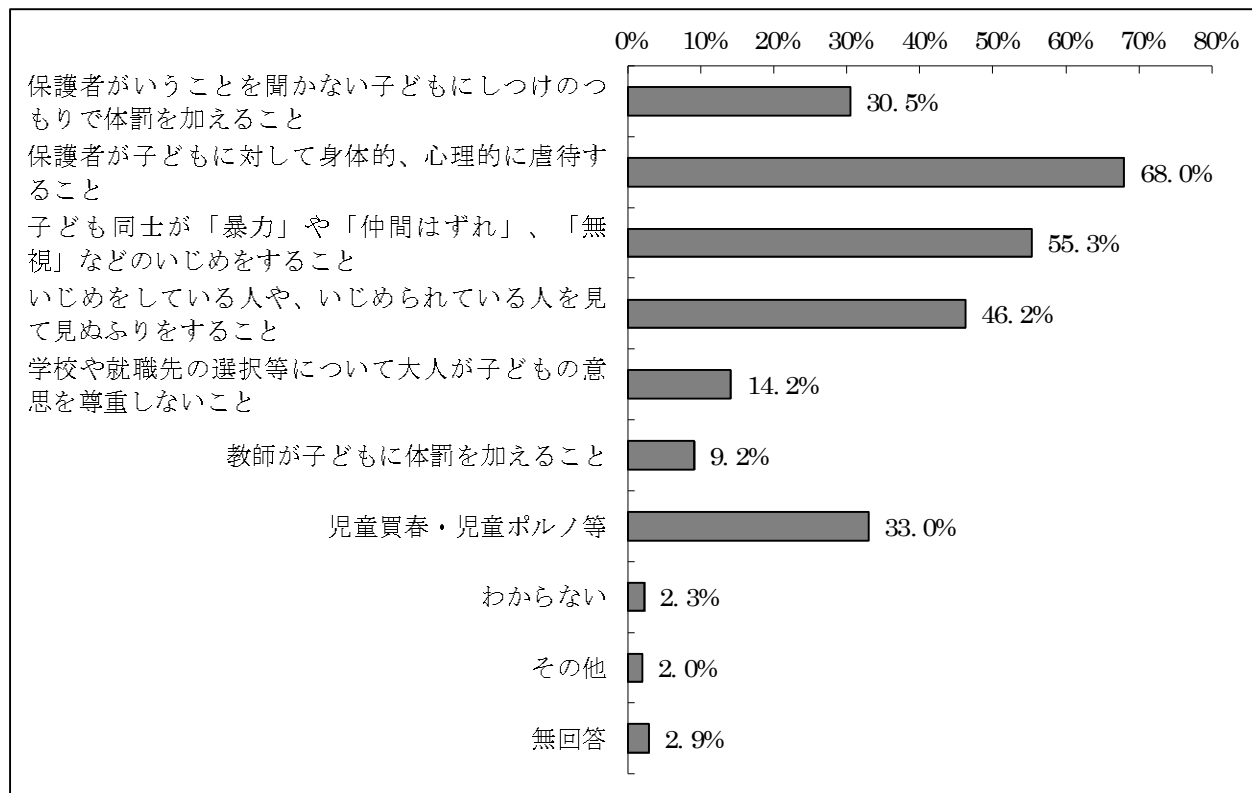
3 子どもに関する人権について

問13 子どもに関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

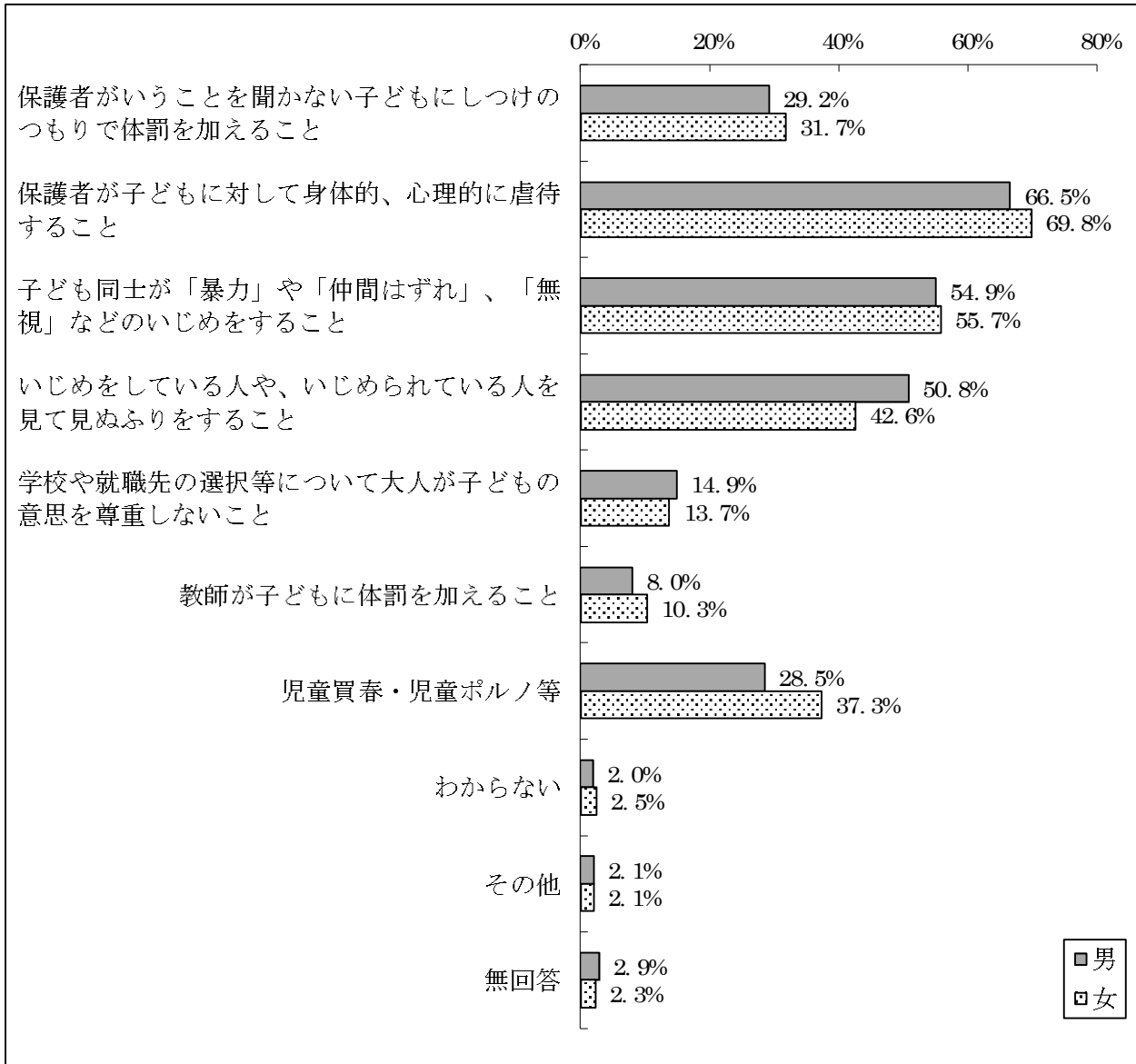
子どもに関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことか、という質問では、「保護者が子どもに対して身体的、心理的に虐待すること」が68.0%で最も高く、次いで「子ども同士が「暴力」や「仲間はずれ」、「無視」などのいじめをすること」が55.3%、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事」が46.2%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
保護者がいうことを聞かない子どもにしつけのつもりで体罰を加えること	837	30.5%
保護者が子どもに対して身体的、心理的に虐待すること	1,868	68.0%
子ども同士が「暴力」や「仲間はずれ」、「無視」などのいじめをすること	1,519	55.3%
いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事	1,270	46.2%
学校や就職先の選択等について大人が子どもの意思を尊重しないこと	389	14.2%
教師が子どもに体罰を加えること	252	9.2%
児童買春・児童ポルノ等	906	33.0%
わからない	63	2.3%
その他	56	2.0%
無回答	81	2.9%



【性別】

男女間で回答に差があるものとしては、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事」（男性50.8%：女性42.6%）、「児童買春・児童ポルノ等」（男性28.5%：女性37.3%）が挙げられる。



調査結果の概要

【年齢別】

各年代において、「保護者が子どもに対して身体的、心理的に虐待すること」の回答が最も多く50%を上回っている。

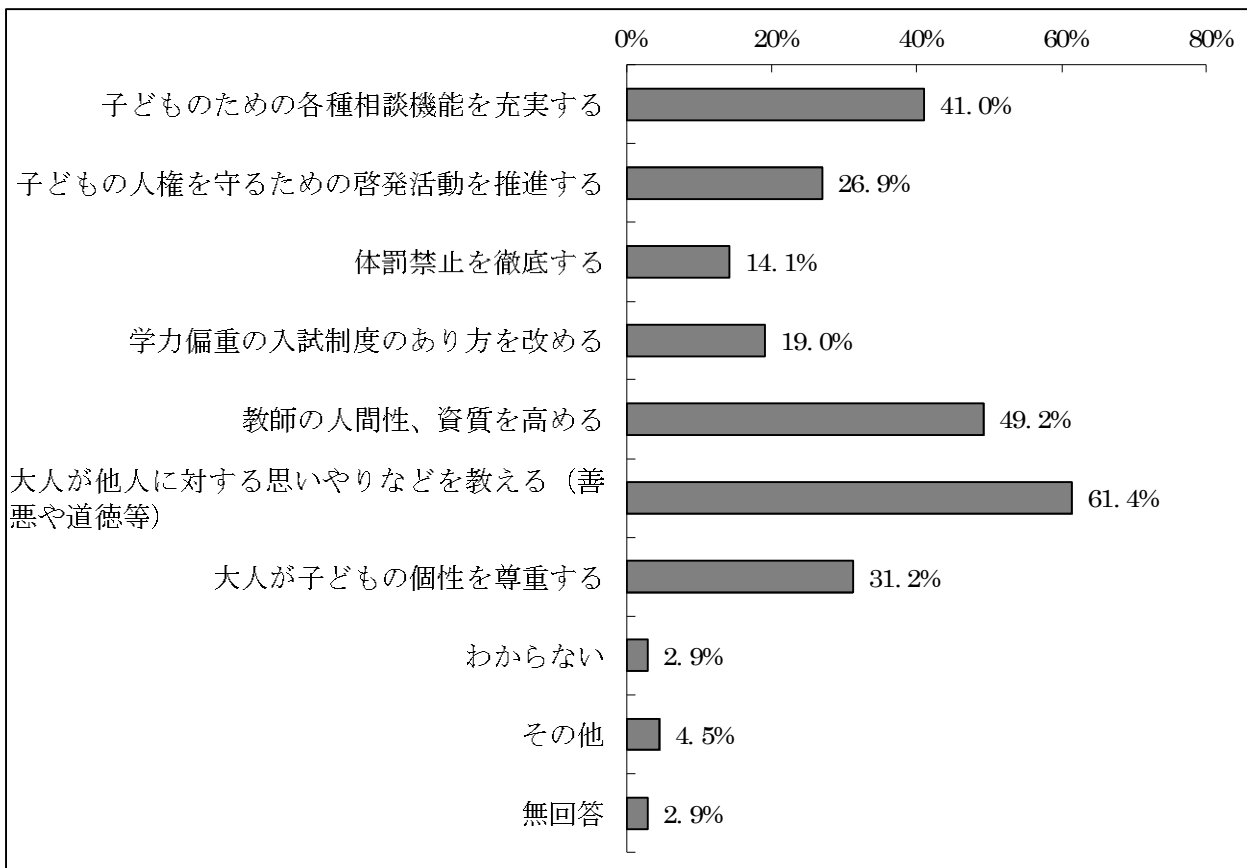
選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
保護者がいうことを聞かない子どもにしつけのつもりで体罰を加えること	26.5%	30.1%	25.2%	29.9%	34.6%	34.5%
保護者が子どもに対して身体的、心理的に虐待すること	74.9%	69.6%	69.8%	73.6%	67.8%	58.8%
子ども同士が「暴力」や「仲間はずれ」、「無視」などのいじめをすること	48.8%	55.6%	54.0%	58.6%	58.2%	53.9%
いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをすること	35.3%	38.0%	45.1%	48.8%	52.5%	49.4%
学校や就職先の選択等について大人が子どもの意思を尊重しないこと	26.5%	17.3%	14.1%	11.3%	12.2%	11.4%
教師が子どもに体罰を加えること	10.7%	9.2%	7.8%	5.8%	7.9%	14.4%
児童買春・児童ポルノ等	29.8%	37.8%	37.8%	33.1%	32.0%	27.2%
わからない	0.5%	1.5%	2.8%	1.9%	1.9%	3.9%
その他	3.3%	3.8%	3.0%	1.9%	0.9%	0.7%
無回答	0.9%	0.5%	0.7%	2.3%	3.4%	6.5%

問14 子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われますか。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

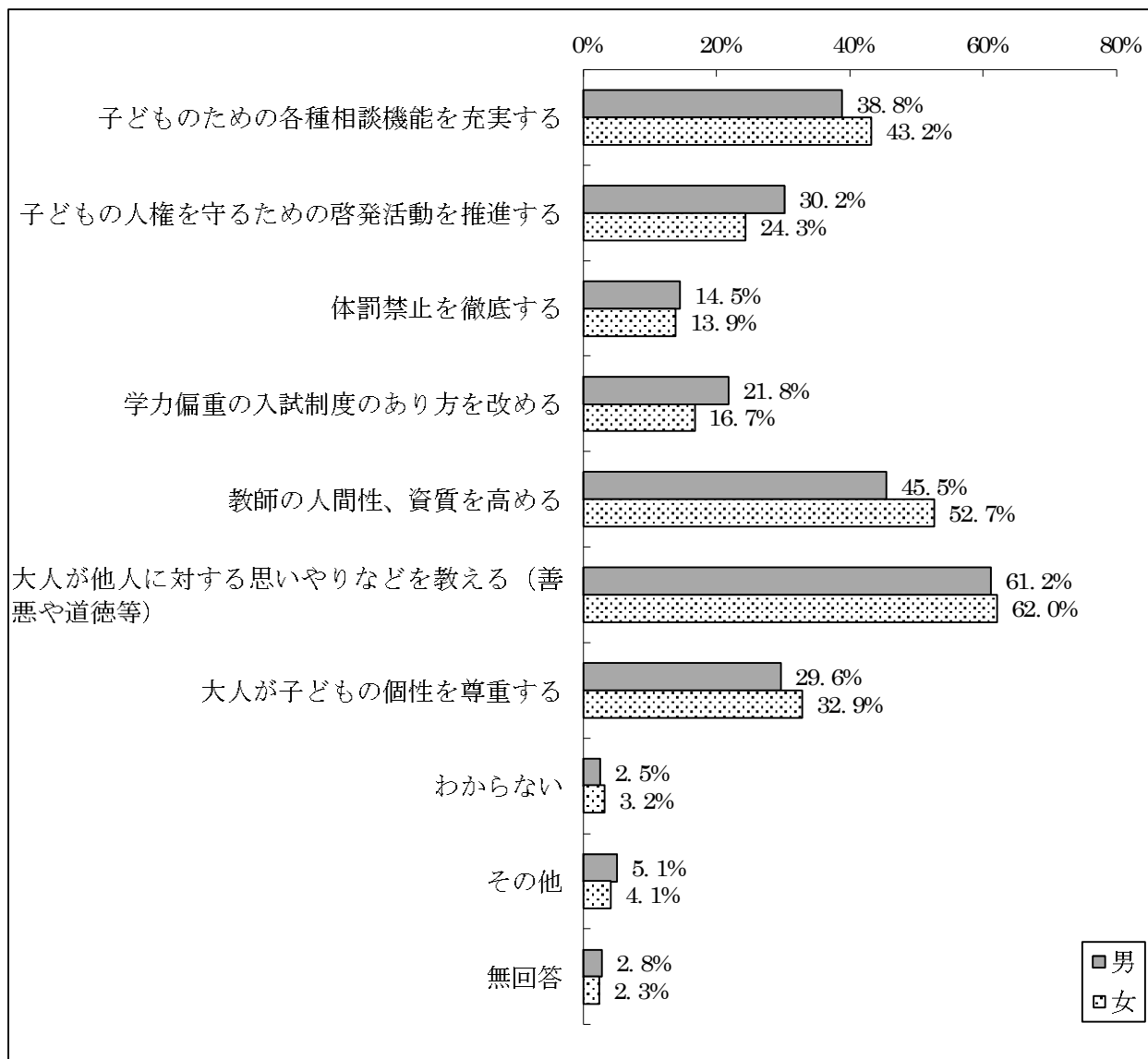
子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われるか、という質問では、「大人が他人に対する思いやりなどを教える（善悪や道徳等）」が61.4%で最も高く、次いで「教師の人間性、資質を高める」が49.2%、「子どものための各種相談機能を充実する」が41.0%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
子どものための各種相談機能を充実する	1,126	41.0%
子どもの人権を守るための啓発活動を推進する	740	26.9%
体罰禁止を徹底する	388	14.1%
学力偏重の入試制度のあり方を改める	523	19.0%
教師の人間性、資質を高める	1,352	49.2%
大人が他人に対する思いやりなどを教える（善悪や道徳等）	1,687	61.4%
大人が子どもの個性を尊重する	856	31.2%
わからない	79	2.9%
その他	124	4.5%
無回答	79	2.9%



【性別】

男性は女性よりも「子どもの人権を守るための啓発活動を推進する」（男性30.2%：女性24.3%）が5.9ポイント、「学力偏重の入試制度のあり方を改める」（男性21.8%：女性16.7%）が5.1ポイント高くなっている。逆に、女性は男性よりも「教師の人間性、資質を高める」（男性45.5%：女性52.7%）が7.2ポイント上回っている。



【年齢別】

各年代において、「大人が他人に対する思いやりなどを教える（善悪や道徳等）」の回答が最も多く50%を上回っている。「大人が子どもの個性を尊重する」の項目については、若い年代の方が比較的選択率が高くなっている。

選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
子どものための各種相談機能を充実する	40.9%	40.8%	38.7%	43.8%	40.6%	42.4%
子どもの人権を守るための啓発活動を推進する	18.6%	21.4%	24.3%	33.1%	31.7%	27.4%
体罰禁止を徹底する	11.2%	10.7%	8.7%	10.6%	18.8%	21.8%
学力偏重の入試制度のあり方を改める	14.4%	13.5%	16.3%	21.3%	23.1%	22.0%
教師の人間性、資質を高める	43.7%	43.4%	51.0%	48.6%	54.6%	49.1%
大人が他人に対する思いやりなどを教える (善悪や道徳等)	58.1%	62.2%	62.0%	58.3%	65.2%	60.4%
大人が子どもの個性を尊重する	40.5%	37.5%	29.5%	31.7%	28.9%	27.1%
わからない	3.3%	3.1%	4.0%	3.0%	1.4%	3.0%
その他	8.8%	8.7%	6.4%	3.2%	1.4%	2.2%
無回答	0.5%	0.8%	1.2%	2.1%	3.3%	6.0%

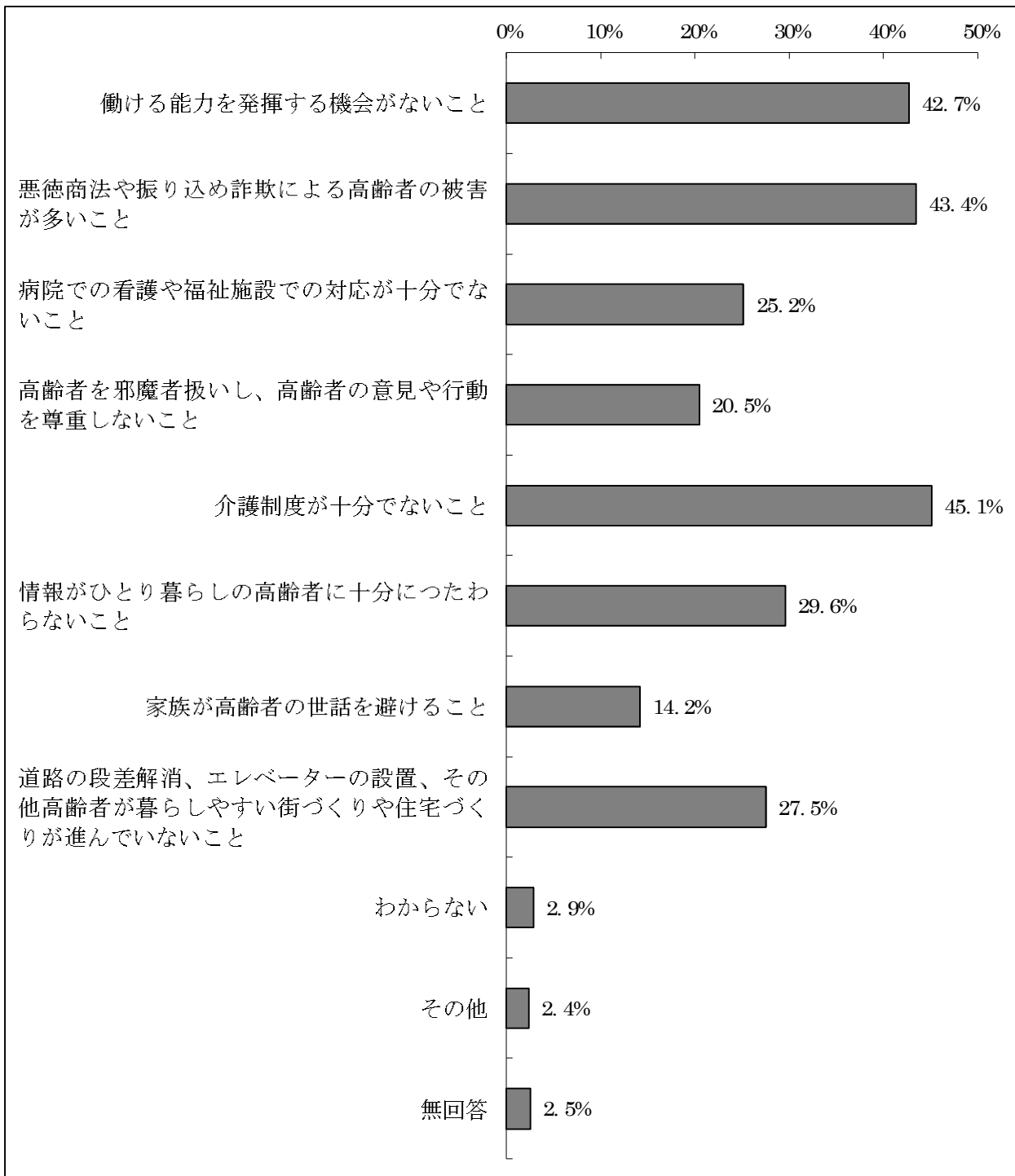
4 高齢者に関する人権について

問15 高齢者に関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

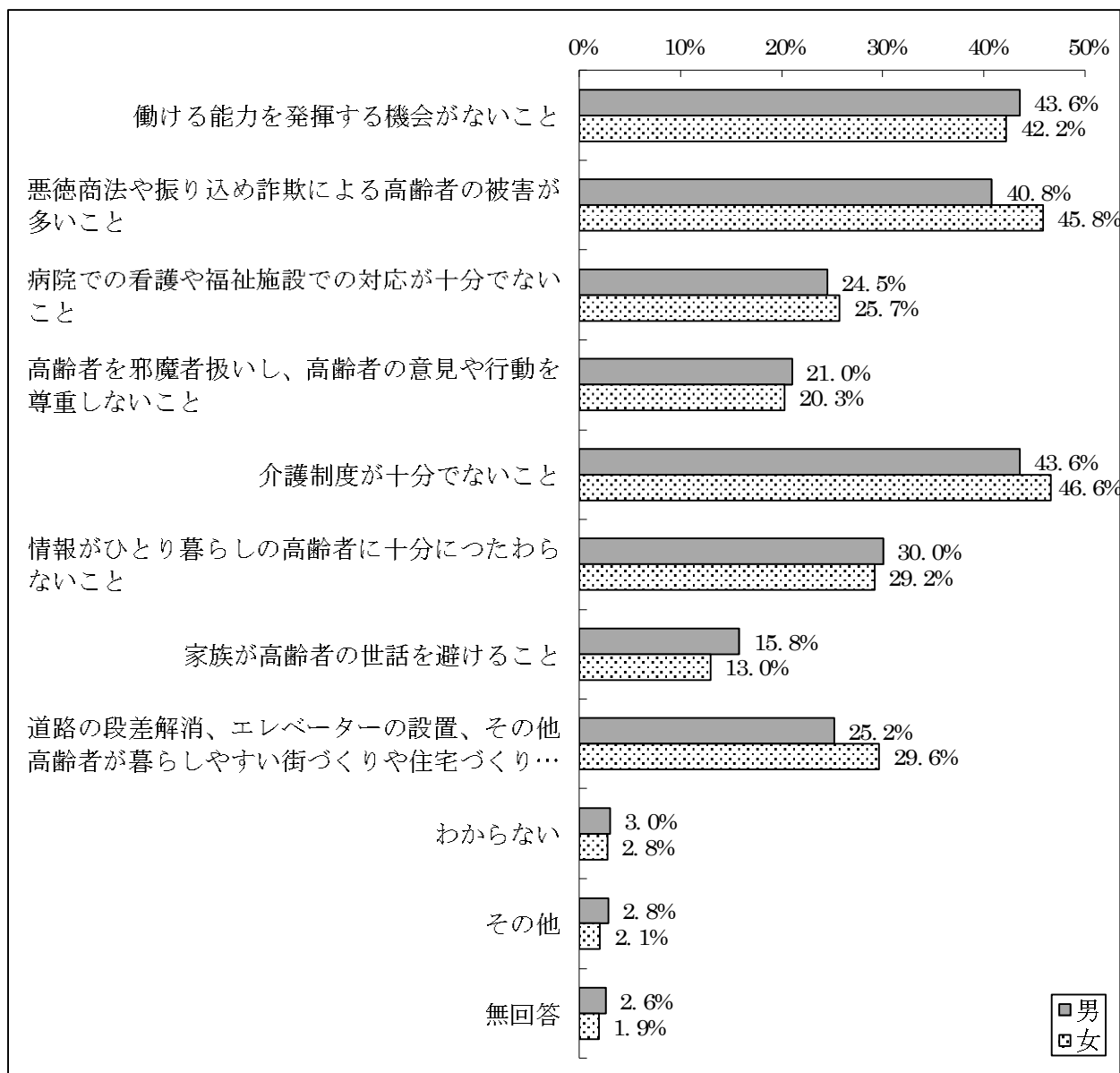
高齢者に関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことか、という質問では、「介護制度が十分でないこと」が45.1%で最も高く、次いで「悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと」が43.4%、「働ける能力を発揮する機会がないこと」が42.7%と続いている。

選択項目	回答者	構成比
働ける能力を発揮する機会がないこと	1,173	42.7%
悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと	1,192	43.4%
病院での看護や福祉施設での対応が十分でないこと	691	25.2%
高齢者を邪魔者扱いし、高齢者の意見や行動を尊重しないこと	563	20.5%
介護制度が十分でないこと	1,238	45.1%
情報がひとり暮らしの高齢者に十分につたわらないこと	812	29.6%
家族が高齢者の世話を避けること	390	14.2%
道路の段差解消、エレベーターの設置、その他高齢者が暮らしやすい街づくりや住宅づくりが進んでいないこと	756	27.5%
わからない	79	2.9%
その他	66	2.4%
無回答	70	2.5%



【性別】

性別で見ると、女性は「悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと」が45.8%で、男性の40.8%を5ポイント上回っている。「道路の段差解消、エレベーターの設置、その他高齢者が暮らしやすい街づくりや住宅づくりが進んでいないこと」についても、女性が29.6%で、男性の25.2%を4.4ポイント上回っている。



【年齢別】

各年代とも「介護制度が十分でないこと」、「悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと」、「働ける能力を発揮する機会がないこと」の選択率が高くなっている。

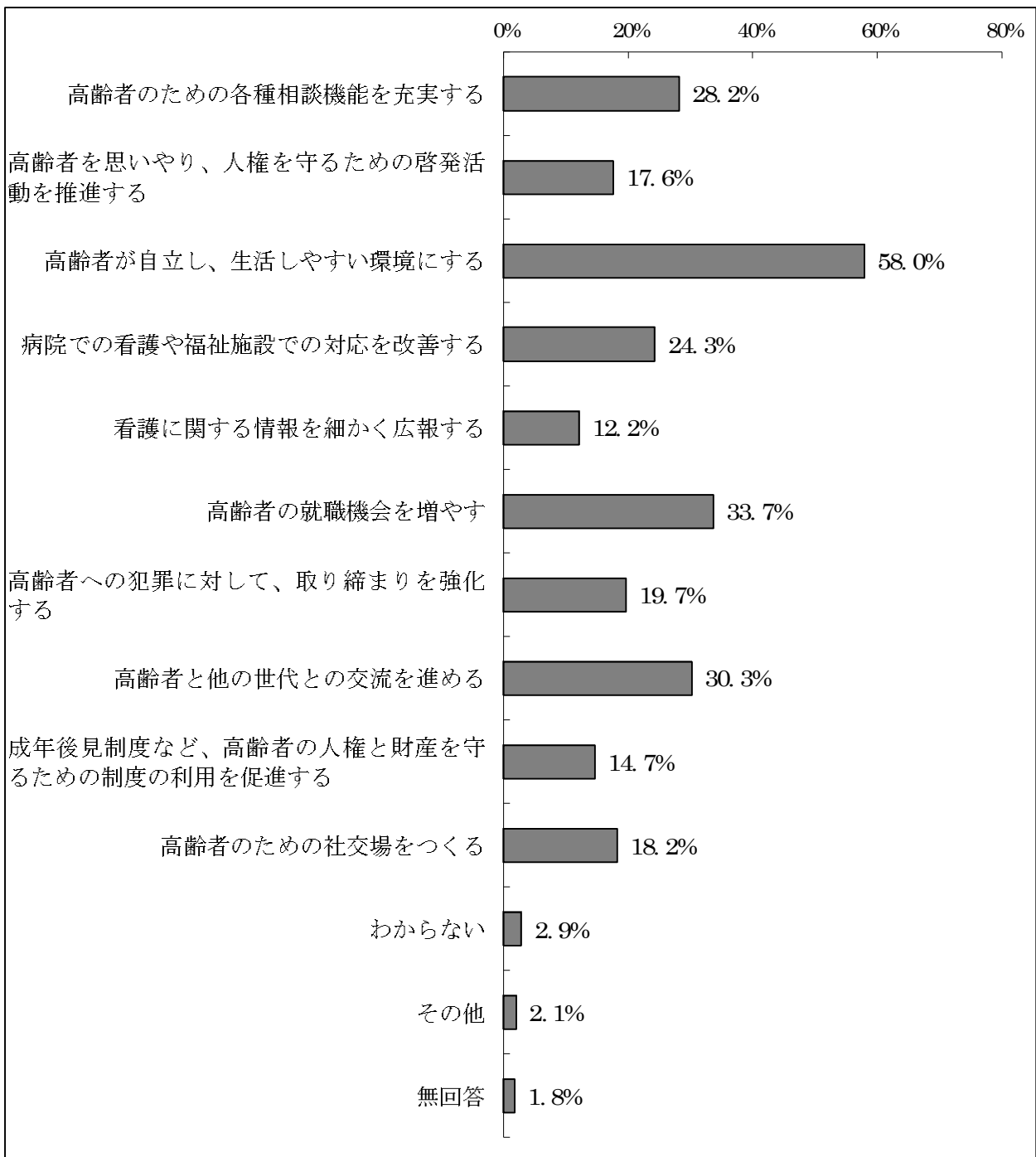
選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
働ける能力を発揮する機会がないこと	37.2%	40.6%	45.7%	45.6%	44.6%	39.4%
悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと	39.5%	45.2%	44.4%	42.1%	39.9%	48.1%
病院での看護や福祉施設での対応が十分でないこと	29.3%	21.9%	25.5%	29.9%	26.7%	20.3%
高齢者を邪魔者扱いし、高齢者の意見や行動を尊重しないこと	19.5%	20.7%	18.6%	21.8%	20.1%	22.6%
介護制度が十分でないこと	46.5%	43.4%	46.7%	52.3%	46.6%	36.8%
情報がひとり暮らしの高齢者に十分につたわらないこと	34.0%	25.8%	25.3%	31.3%	33.2%	30.0%
家族が高齢者の世話を避けること	19.5%	12.8%	11.6%	13.4%	13.1%	17.9%
道路の段差解消、エレベーターの設置、その他高齢者が暮らしやすい街づくりや住宅づくりが進んでいないこと	20.0%	23.5%	25.5%	22.5%	33.7%	33.6%
わからない	1.9%	3.8%	3.5%	1.6%	2.6%	3.4%
その他	2.3%	3.3%	2.4%	2.5%	1.5%	2.6%
無回答	0.5%	1.0%	0.5%	2.1%	3.4%	4.7%

問16 高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われますか。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

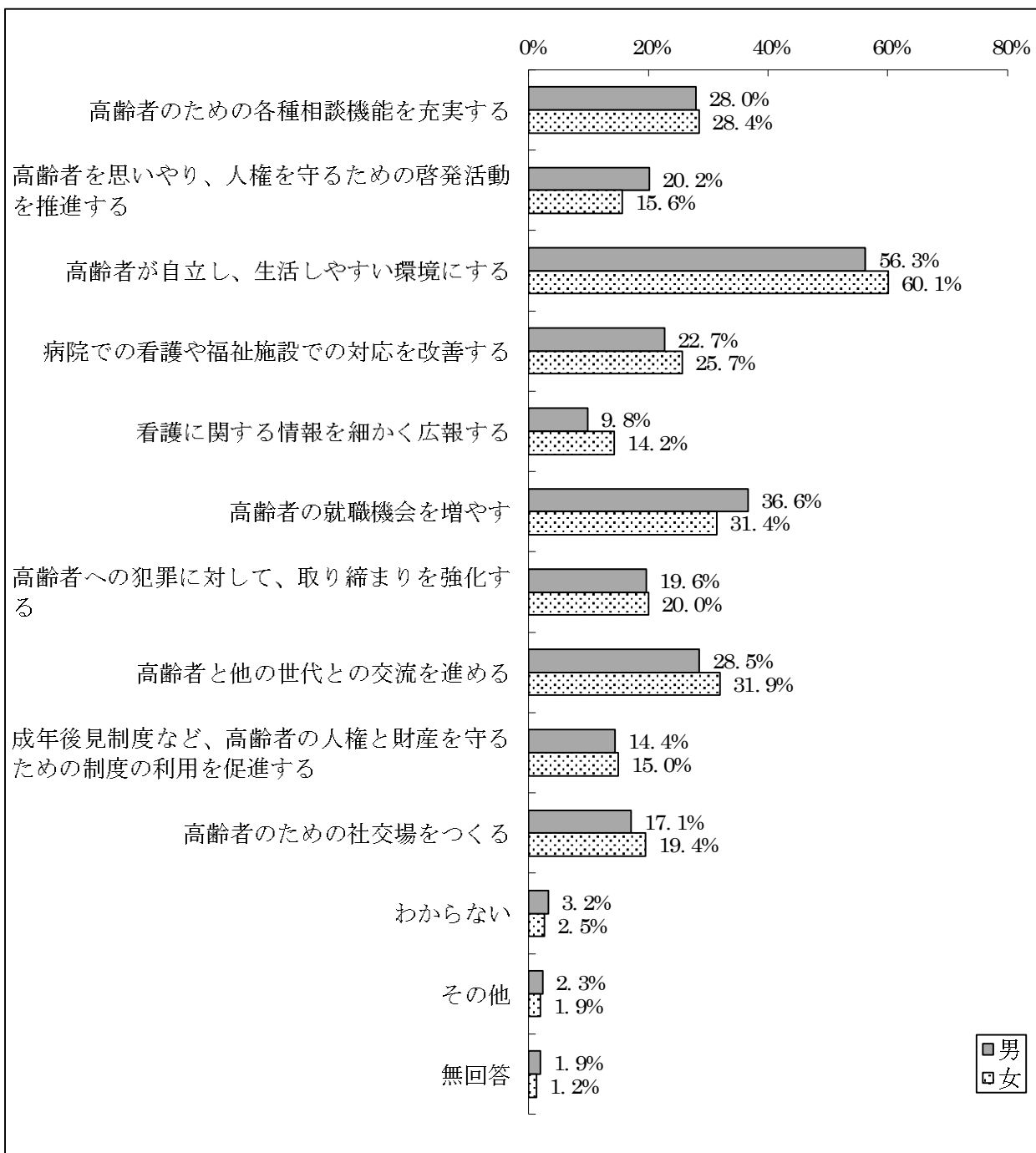
高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われるか、という質問では、「高齢者が自立し、生活しやすい環境にする」が58.0%で最も高く、次いで「高齢者の就職機会を増やす」が33.7%、「高齢者と他の世代との交流を進める」が30.3%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
高齢者のための各種相談機能を充実する	775	28.2%
高齢者を思いやり、人権を守るための啓発活動を推進する	484	17.6%
高齢者が自立し、生活しやすい環境にする	1,593	58.0%
病院での看護や福祉施設での対応を改善する	668	24.3%
看護に関する情報を細かく広報する	334	12.2%
高齢者の就職機会を増やす	925	33.7%
高齢者への犯罪に対して、取り締まりを強化する	540	19.7%
高齢者と他の世代との交流を進める	831	30.3%
成年後見制度など、高齢者の人権と財産を守るための制度の利用を促進する	403	14.7%
高齢者のための社交場をつくる	501	18.2%
わからない	79	2.9%
その他	57	2.1%
無回答	50	1.8%



【性別】

性別で見ると、男性は「高齢者の就職機会を増やす」が36.6%で、女性の31.4%を5.2ポイント上回っている。「高齢者を思いやり、人権を守るための啓発活動を推進する」については、男性が20.2%で、女性の15.6%を4.6ポイント上回っている。



【年齢別】

各年代において、「高齢者が自立し、生活しやすい環境にする」の回答が最も多く、50～60%台となっている。「高齢者のための各種相談機能を充実する」の選択率は、20～40歳代では20%前後となっているが、50～60歳代及び70歳以上では30%を上回っている。

選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
高齢者のための各種相談機能を充実する	21.4%	19.9%	22.6%	31.0%	34.9%	34.0%
高齢者を思いやり、人権を守るための啓発活動を推進する	13.0%	10.5%	16.3%	17.6%	21.0%	22.4%
高齢者が自立し、生活しやすい環境にする	50.7%	52.3%	50.7%	58.8%	68.3%	62.3%
病院での看護や福祉施設での対応を改善する	28.8%	23.2%	26.9%	27.1%	24.3%	18.3%
看護に関する情報を細かく広報する	12.6%	8.4%	9.4%	9.5%	15.0%	17.2%
高齢者の就職機会を増やす	29.8%	37.0%	40.8%	34.0%	34.1%	24.8%
高齢者への犯罪に対して、取り締まりを強化する	20.9%	19.6%	24.1%	21.1%	15.7%	18.1%
高齢者と他の世代との交流を進める	32.1%	38.0%	30.9%	27.3%	26.7%	29.7%
成年後見制度など、高齢者の人権と財産を守るための制度の利用を促進する	12.1%	13.0%	15.5%	20.4%	14.3%	11.9%
高齢者のための社交場をつくる	25.6%	20.4%	16.7%	15.3%	15.7%	20.9%
わからない	2.8%	3.3%	4.0%	2.1%	1.9%	3.2%
その他	2.8%	2.3%	3.0%	2.3%	1.2%	1.5%
無回答	0.5%	1.8%	0.9%	1.6%	1.0%	3.0%

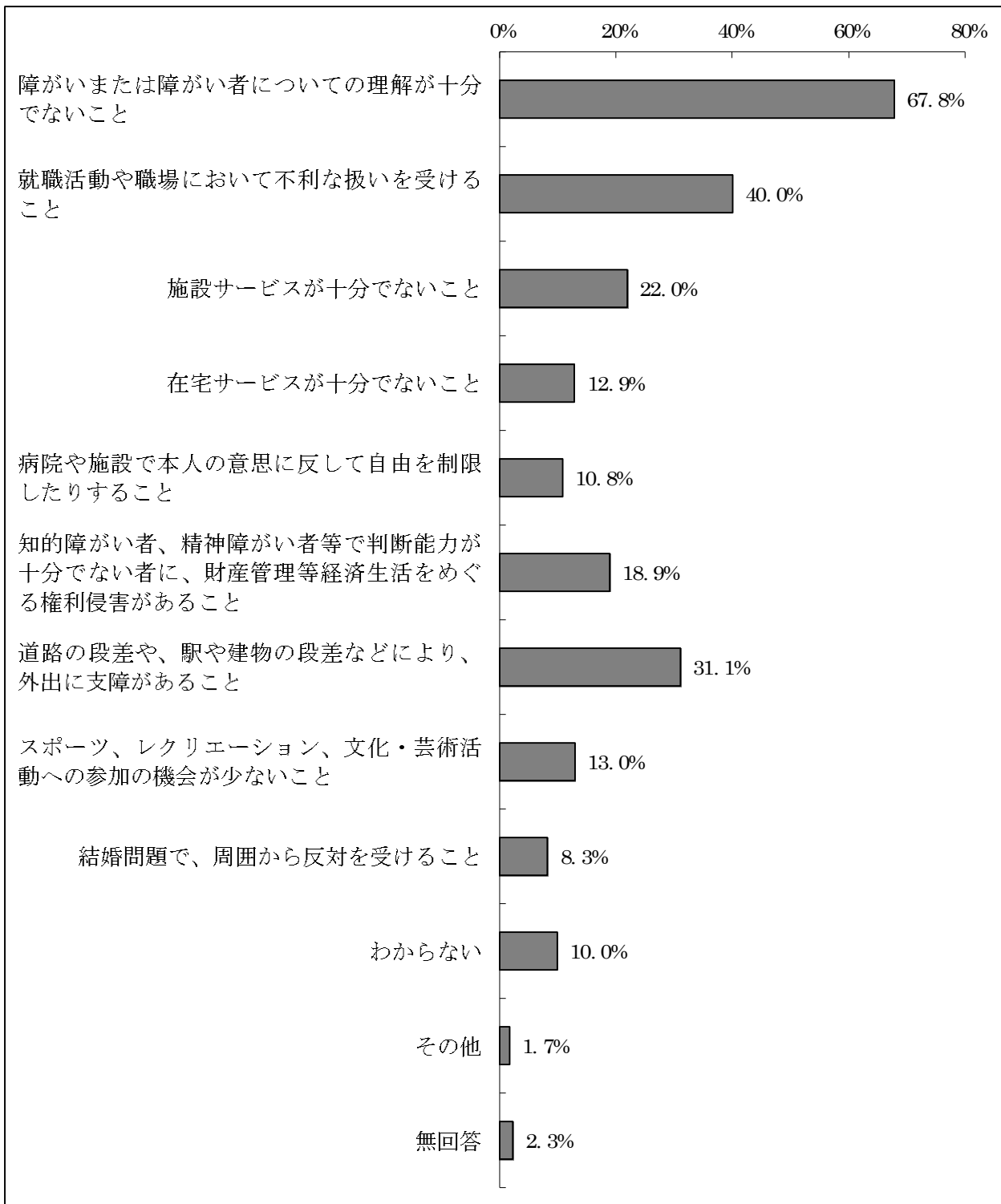
5 障がい者に関する人権について

問17 障がい者に関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

障がい者に関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことか、という質問では、「障がいまたは障がい者についての理解が十分でないこと」が67.8%で最も高く、次いで「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」が40.0%、「道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障があること」が31.1%と続いている。

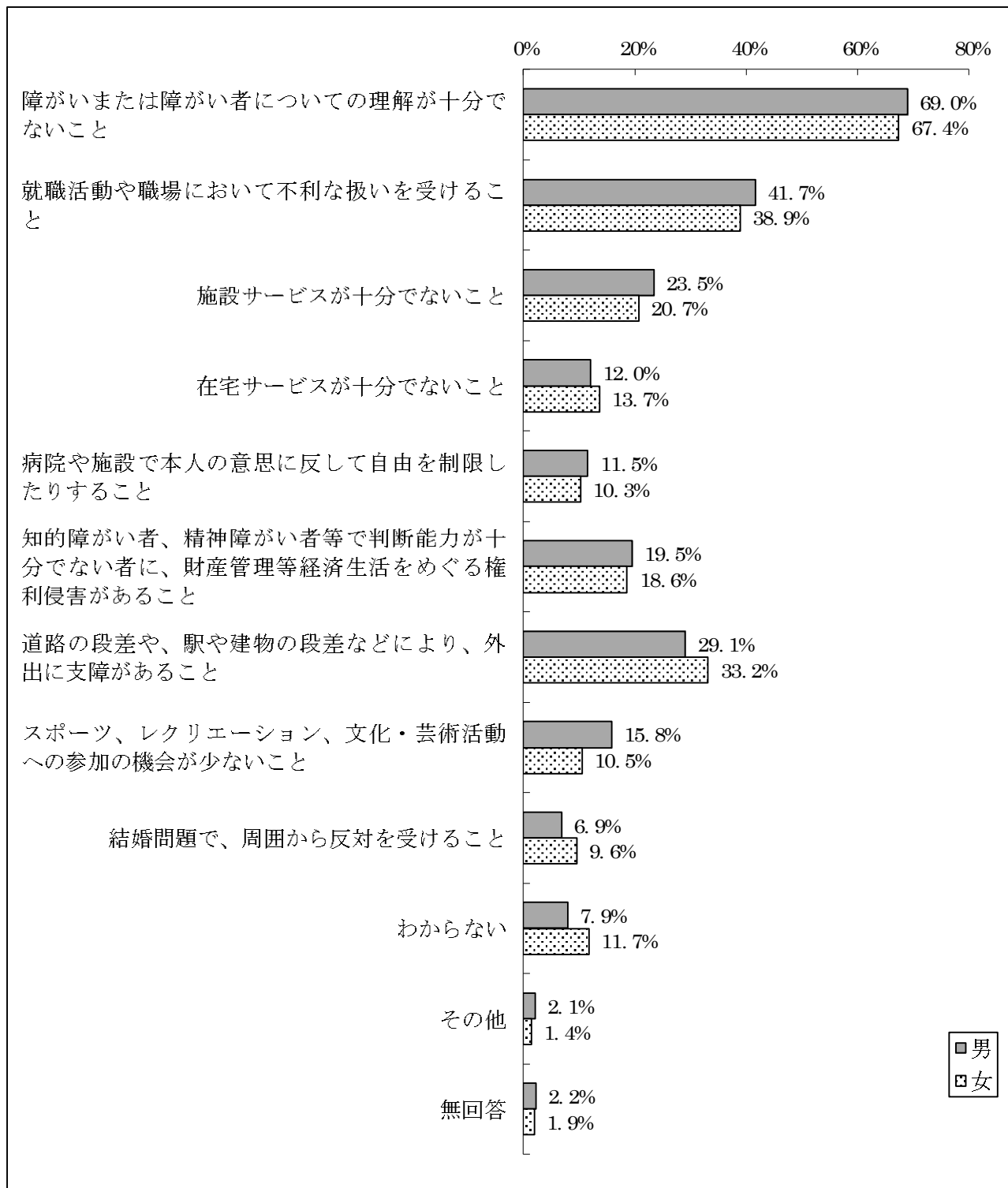
選択項目	回答数	構成比
障がいまたは障がい者についての理解が十分でないこと	1,863	67.8%
就職活動や職場において不利な扱いを受けること	1,099	40.0%
施設サービスが十分でないこと	603	22.0%
在宅サービスが十分でないこと	354	12.9%
病院や施設で本人の意思に反して自由を制限したりすること	297	10.8%
知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が十分でない者に、財産管理等経済生活をめぐる権利侵害があること	520	18.9%
道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障があること	854	31.1%
スポーツ、レクリエーション、文化・芸術活動への参加の機会が少ないこと	357	13.0%
結婚問題で、周囲から反対を受けること	227	8.3%
わからない	274	10.0%
その他	46	1.7%
無回答	64	2.3%



調査結果の概要

【性別】

性別で見ると、男性は「スポーツ、レクリエーション、文化・芸術活動への参加の機会が少ないこと」が15.8%で、女性の10.5%を5.3ポイント上回っている。「道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障があること」については、女性が33.2%で、男性の29.1%を4.1ポイント上回っている。



【年齢別】

各年代において、「障がいまたは障がい者についての理解が十分でないこと」の回答が最も多く、50%を上回っているが、中でも20～30歳代及び50歳代の選択率は70%を超えている。

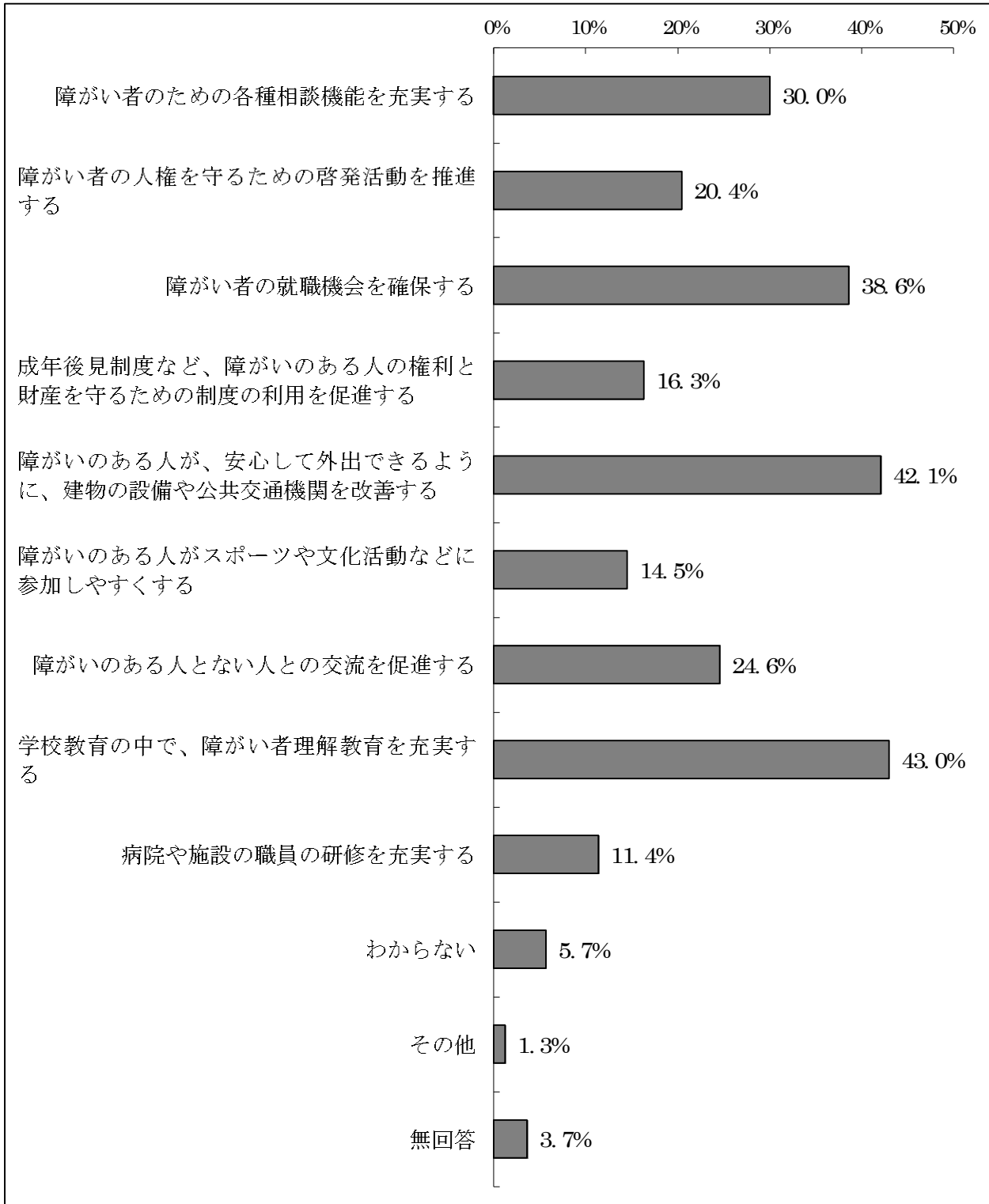
選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
障がいまたは障がい者についての理解が十分でないこと	79.1%	71.7%	67.2%	72.2%	68.7%	58.0%
就職活動や職場において不利な扱いを受けること	43.3%	41.1%	36.6%	42.1%	42.5%	37.7%
施設サービスが十分でないこと	14.4%	20.9%	21.4%	24.1%	25.0%	21.6%
在宅サービスが十分でないこと	7.4%	12.8%	12.8%	13.0%	13.4%	14.9%
病院や施設で本人の意思に反して自由を制限したりすること	11.6%	8.4%	9.5%	8.8%	12.2%	13.6%
知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が十分でない者に、財産管理等経済生活をめぐる権利侵害があること	19.1%	15.8%	22.4%	22.5%	16.9%	17.0%
道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障があること	24.7%	27.3%	31.1%	33.3%	35.1%	30.6%
スポーツ、レクリエーション、文化・芸術活動への参加の機会が少ないこと	7.9%	11.0%	8.7%	12.3%	16.4%	18.1%
結婚問題で、周囲から反対を受けること	14.4%	11.2%	6.8%	6.9%	7.2%	7.6%
わからない	6.0%	7.1%	9.9%	8.3%	10.3%	14.7%
その他	2.8%	3.3%	2.3%	1.4%	0.7%	0.7%
無回答	0.9%	1.5%	0.9%	1.6%	1.7%	4.9%

問18 障がい者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われますか。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

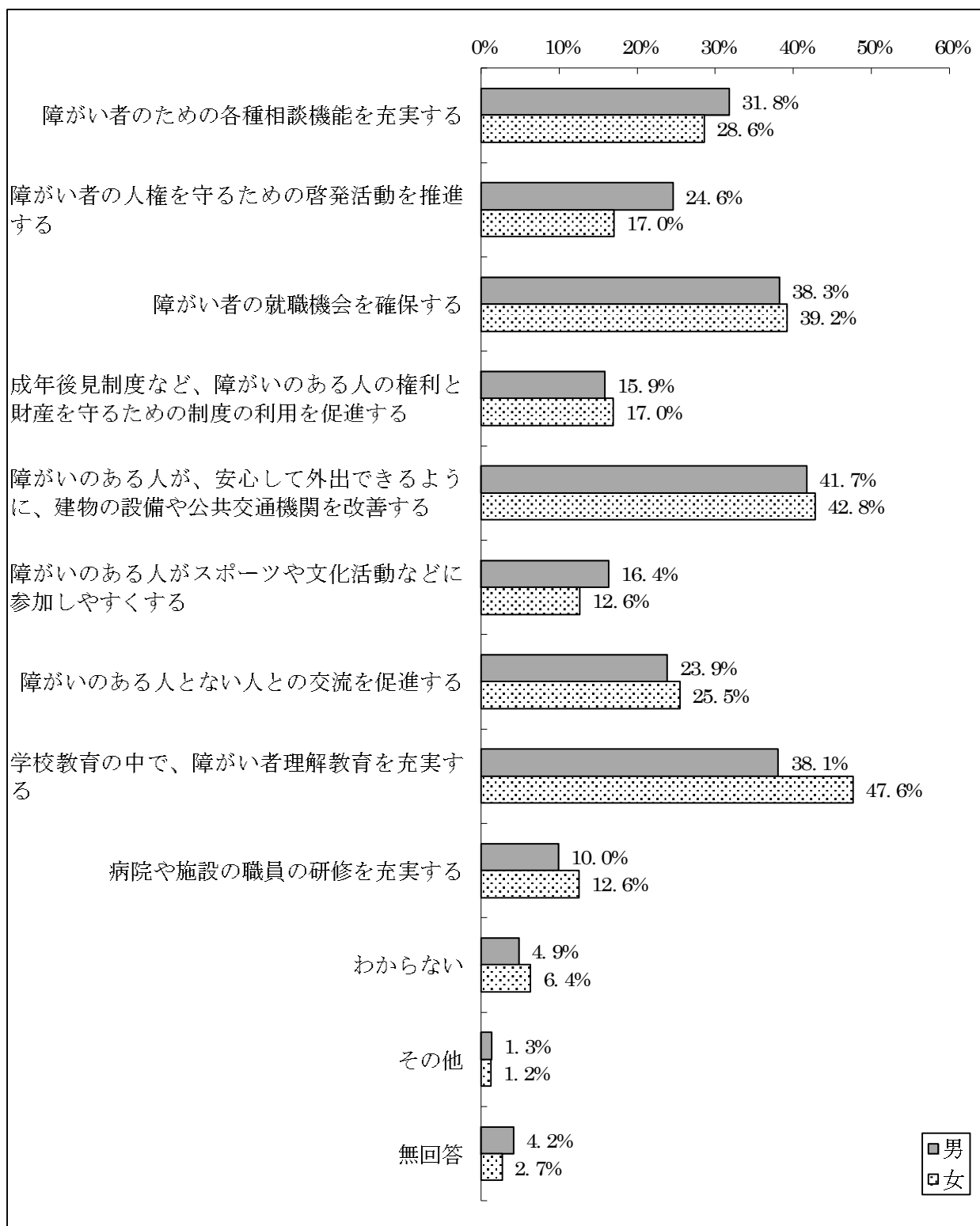
障がい者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われるか、という質問では、「学校教育の中で、障がい者理解教育を充実する」が43.0%で最も高く、次いで「障がいのある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」が42.1%、「障がい者の就職機会を確保する」が38.6%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
障がい者のための各種相談機能を充実する	825	30.0%
障がい者の人権を守るための啓発活動を推進する	561	20.4%
障がい者の就職機会を確保する	1,061	38.6%
成年後見制度など、障がいのある人の権利と財産を守るための制度の利用を促進する	449	16.3%
障がいのある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する	1,156	42.1%
障がいのある人がスポーツや文化活動などに参加しやすくする	398	14.5%
障がいのある人とない人との交流を促進する	676	24.6%
学校教育の中で、障がい者理解教育を充実する	1,180	43.0%
病院や施設の職員の研修を充実する	313	11.4%
わからない	156	5.7%
その他	35	1.3%
無回答	101	3.7%



【性別】

性別で見ると、女性は「学校教育の中で、障がい者理解教育を充実する」が47.6%で、男性の38.1%を9.5ポイント上回っている。「障がい者の人権を守るための啓発活動を推進する」については、男性が24.6%で、女性の17.0%を7.6ポイント上回っている。



【年齢別】

年齢別では、「学校教育の中で、障がい者理解教育を充実する」が、20～50歳代で各選択肢の中で最も高く40%を超えている。60歳代及び70歳以上では、「障がいのある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」が最も高くなっている。

選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳以 上
障がい者のための各種相談機能を充実する	20.0%	18.4%	26.4%	29.6%	36.7%	39.9%
障がい者の人権を守るための啓発活動を推進する	13.5%	18.1%	18.2%	22.0%	24.3%	22.2%
障がい者の就職機会を確保する	36.7%	42.9%	34.4%	37.5%	41.3%	39.2%
成年後見制度など、障がいのある人の権利と財産を守るための制度の利用を促進する	15.3%	15.6%	15.5%	21.3%	15.0%	15.9%
障がいのある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する	38.6%	38.5%	41.8%	41.7%	47.3%	41.2%
障がいのある人がスポーツや文化活動などに参加しやすくする	13.5%	14.3%	10.2%	15.5%	18.6%	14.4%
障がいのある人とない人との交流を促進する	34.4%	34.9%	27.4%	22.2%	20.0%	17.5%
学校教育の中で、障がい者理解教育を充実する	47.9%	47.4%	47.9%	46.1%	39.6%	34.5%
病院や施設の職員の研修を充実する	12.6%	8.2%	11.1%	12.3%	11.5%	13.1%
わからない	3.3%	6.4%	7.6%	5.1%	4.0%	6.5%
その他	3.7%	2.0%	1.7%	1.2%	0.3%	0.4%
無回答	1.9%	0.8%	1.6%	2.3%	4.6%	7.5%

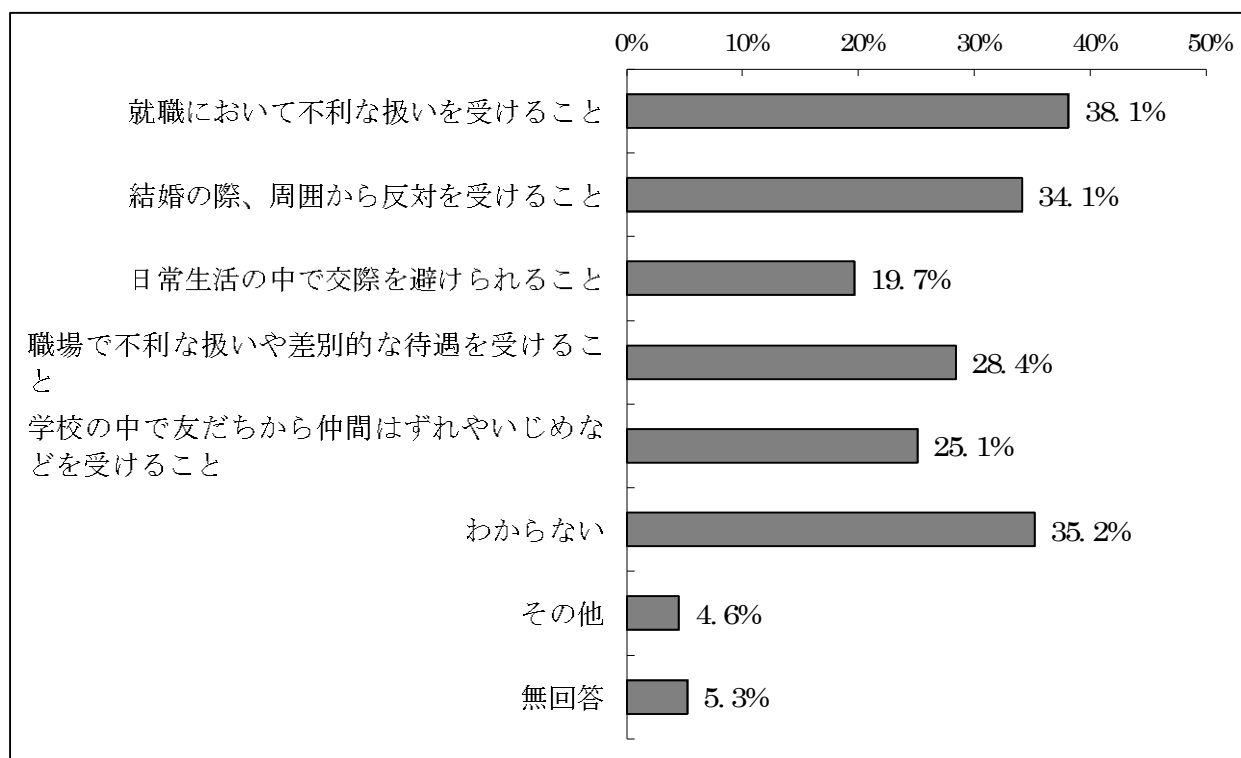
6 同和問題について

問19 同和問題に関する事柄で、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。
次の中から3つまでお選びください。

【全体】

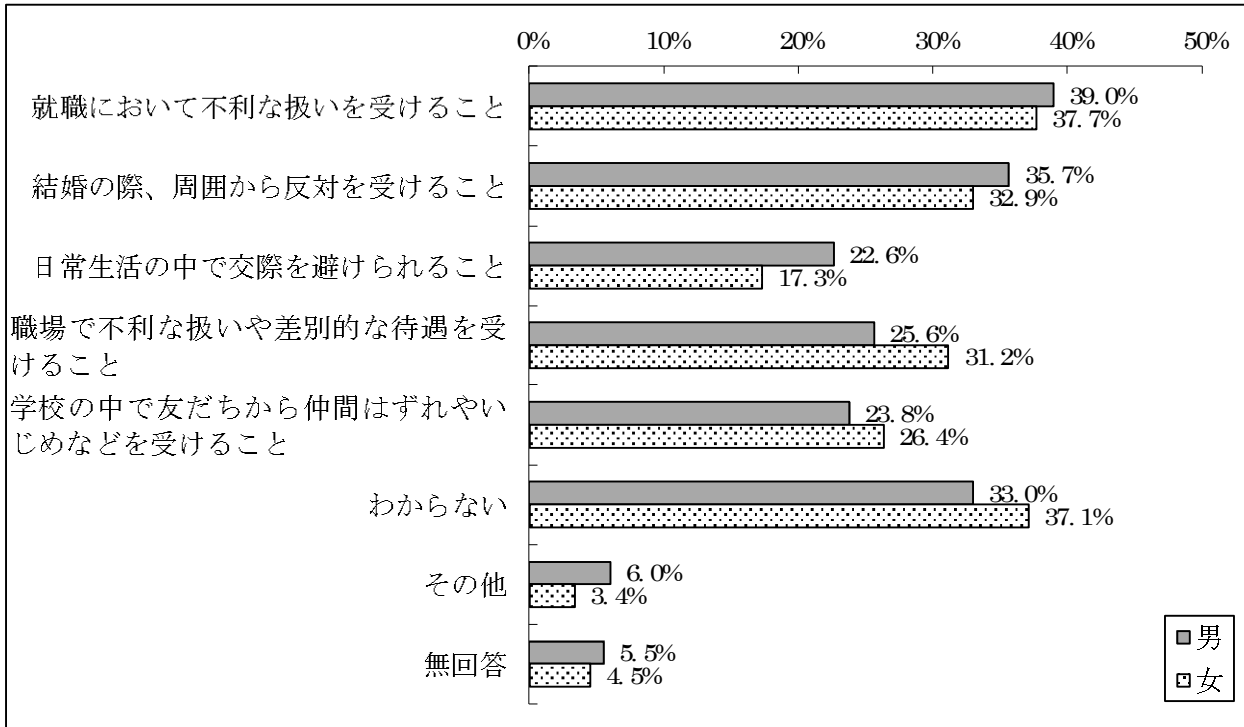
同和問題に関する事柄で、特に問題があると思われるのはどのようなことか、という質問では、「就職において不利な扱いを受けること」が38.1%で最も高く、次いで「わからない」が35.2%、「結婚の際、周囲から反対を受けること」が34.1%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
就職において不利な扱いを受けること	1,047	38.1%
結婚の際、周囲から反対を受けること	937	34.1%
日常生活の中で交際を避けられること	540	19.7%
職場で不利な扱いや差別的な待遇を受けること	780	28.4%
学校の中で友だちから仲間はずれやいじめなどを受けること	690	25.1%
わからない	967	35.2%
その他	125	4.6%
無回答	145	5.3%



【性別】

性別で見ると、女性は「職場で不利な扱いや差別的な待遇を受けること」が31.2%で、男性の25.6%を5.6ポイント上回っている。「日常生活の中で交際を避けられること」については、男性が22.6%で、女性の17.3%を5.3ポイント上回っている。



【年齢別】

年齢別では、「就職において不利な扱いを受けること」が、20～50歳代で各選択肢の中で最も高く、特に20歳代が47.0%と最も高くなっている。

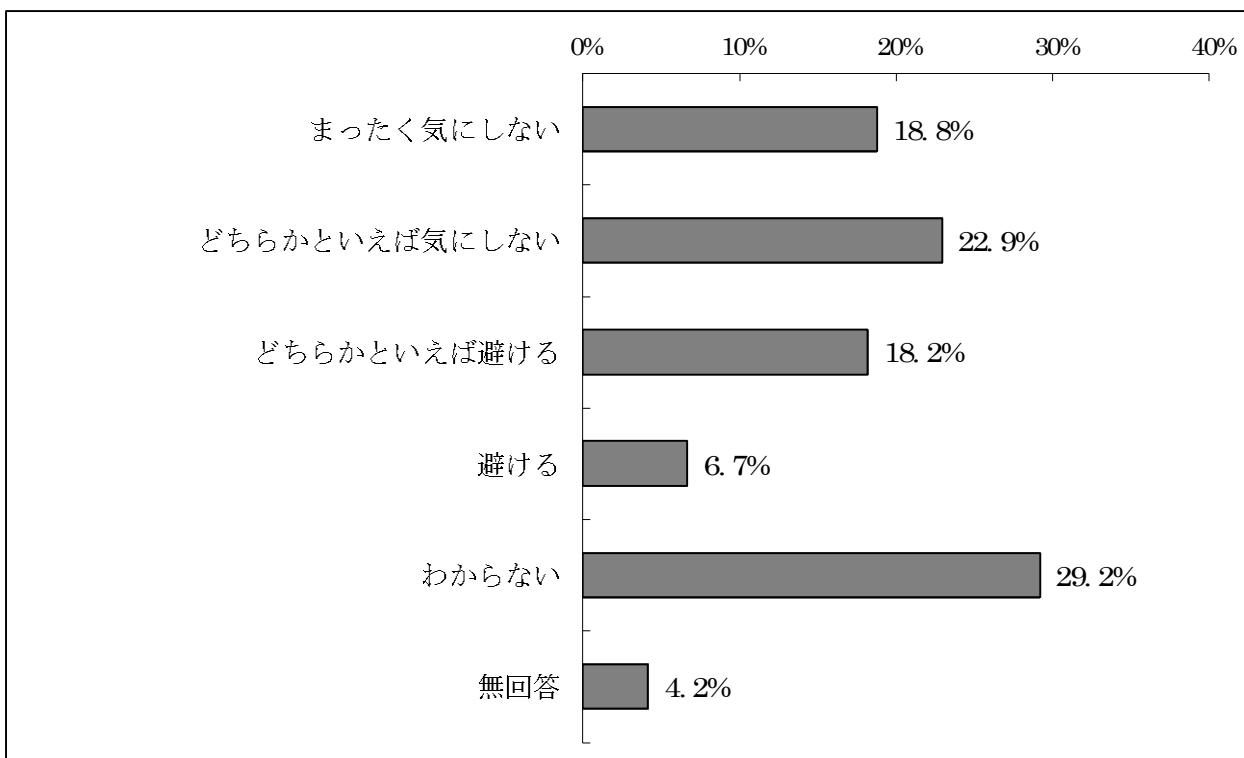
選択項目	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
就職において不利な扱いを受けること	47.0%	40.8%	41.8%	38.2%	35.5%	32.1%
結婚の際、周囲から反対を受けること	39.5%	34.2%	33.0%	36.6%	35.3%	30.0%
日常生活の中で交際を避けられること	25.6%	19.1%	18.8%	18.8%	19.1%	20.3%
職場で不利な扱いや差別的な待遇を受けること	39.5%	31.6%	28.6%	30.6%	26.5%	22.2%
学校の中で友だちから仲間はずれやいじめなどを受けること	27.0%	27.0%	26.9%	25.9%	24.4%	21.1%
わからない	30.2%	33.7%	35.6%	34.5%	36.5%	37.7%
その他	2.8%	4.3%	3.6%	4.4%	4.3%	6.9%
無回答	0.5%	0.8%	3.1%	3.7%	6.5%	11.4%

問20 あなたは、住宅や生活環境を選ぶ際に、同和地区であった場合、避けることがあると思われませんか。次の中から1つお選びください。

【全体】

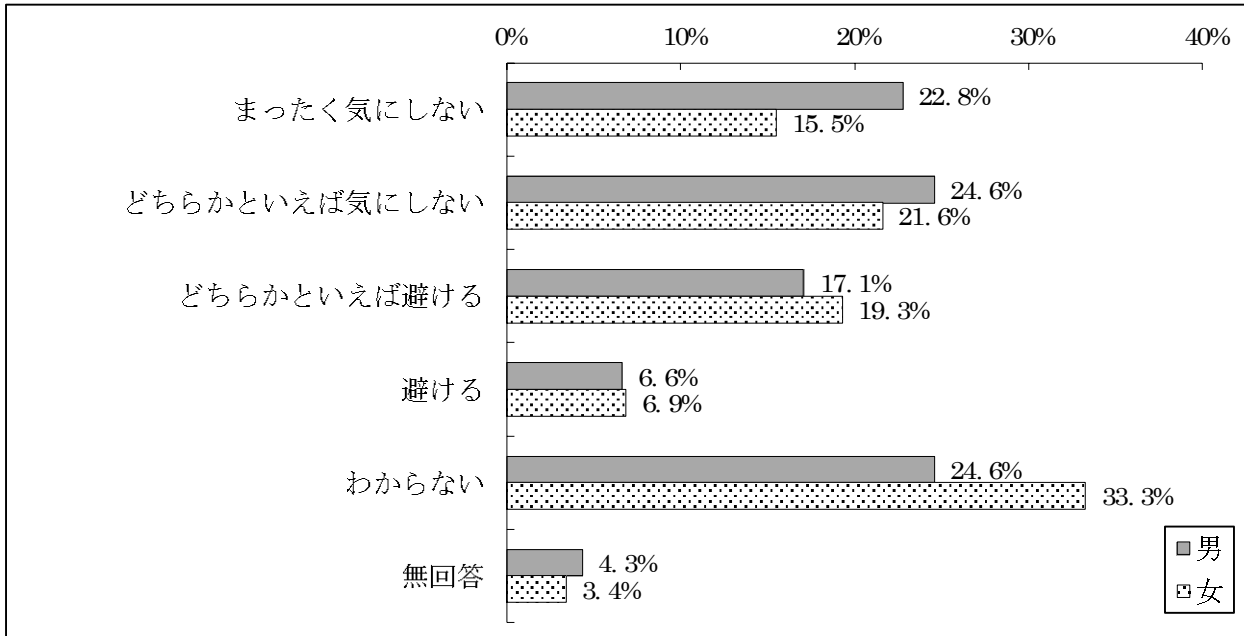
住宅や住宅環境を選ぶ際に、同和地区であった場合、避けるか、という質問では、「どちらかといえば気にしない」(22.9%)、「まったく気にしない」(18.8%)という回答が合わせて41.7%となっている。また、「どちらかといえば避ける」(18.2%)、「避ける」(6.7%)は、合わせて24.9%となっている。なお、「わからない」が29.2%と最も高くなっている。

選択項目	回答数	構成比
まったく気にしない	516	18.8%
どちらかといえば気にしない	630	22.9%
どちらかといえば避ける	500	18.2%
避ける	184	6.7%
わからない	802	29.2%
無回答	115	4.2%



【性別】

性別で見ると、男性は女性よりも「まったく気にしない」（男性22.8%：女性15.5%）は、7.3ポイント、「どちらかといえば気にしない」（男性24.6%：女性21.6%）は、3.0ポイント上回り、女性は男性よりも「どちらかといえば避ける」（男性17.1%：女性19.3%）が2.2ポイント上回っている。



【年齢別】

年齢別では、「まったく気にしない」は、30歳代が20.7%と他の年代と比べて最も高く、40歳代が16.3%と最も低い。「どちらかといえば気にしない」は、60歳代が25.3%と他の年代と比べて最も高く、40歳代が19.6%と最も低い。「どちらかといえば避ける」は、40歳代が21.5%と他の年代と比べて最も高く、70歳以上が13.1%と最も低い。「避ける」は、30歳代が10.5%と他の年代と比べて最も高く、60歳代が3.4%と最も低い。

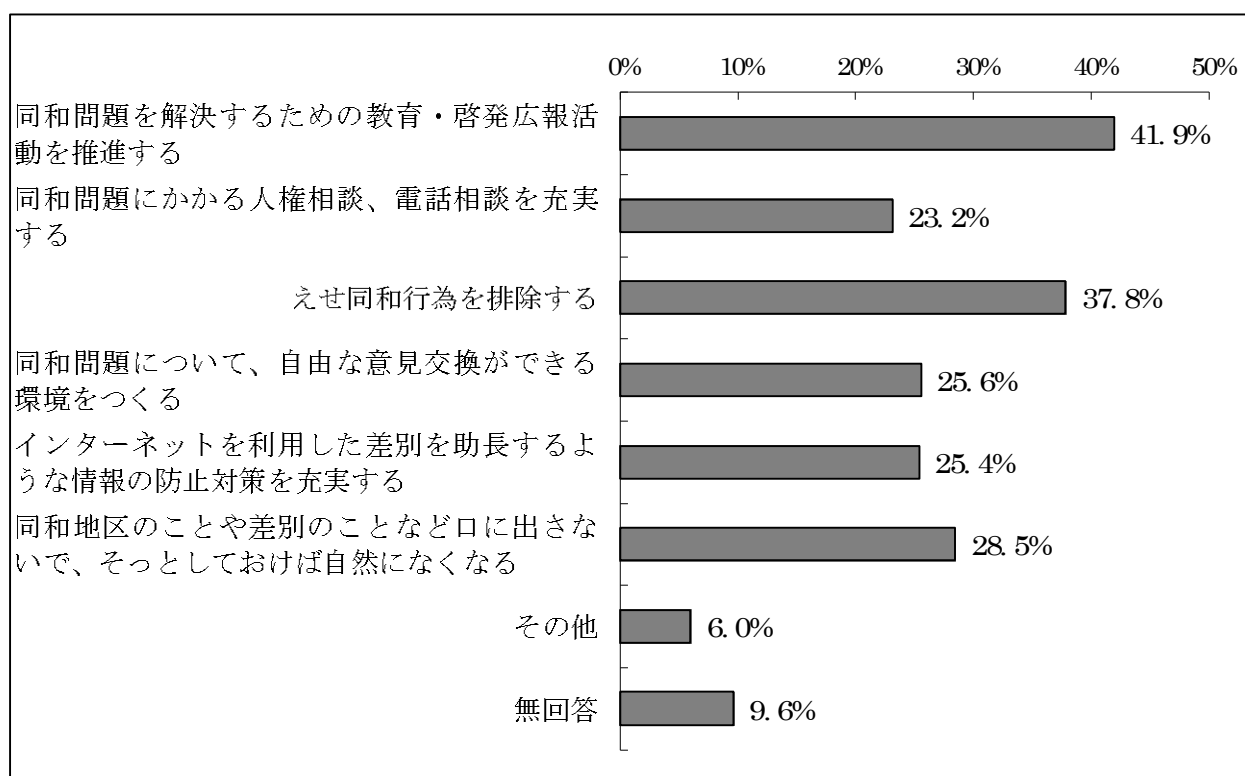
選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
まったく気にしない	17.7%	20.7%	16.3%	18.1%	20.5%	19.4%
どちらかといえば気にしない	21.4%	21.9%	19.6%	24.8%	25.3%	24.1%
どちらかといえば避ける	19.1%	20.7%	21.5%	19.4%	17.0%	13.1%
避ける	7.4%	10.5%	8.2%	9.0%	3.4%	3.9%
わからない	34.0%	25.8%	32.8%	26.6%	28.1%	29.7%
無回答	0.5%	0.5%	1.6%	2.1%	5.7%	9.9%

問21 同和問題を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

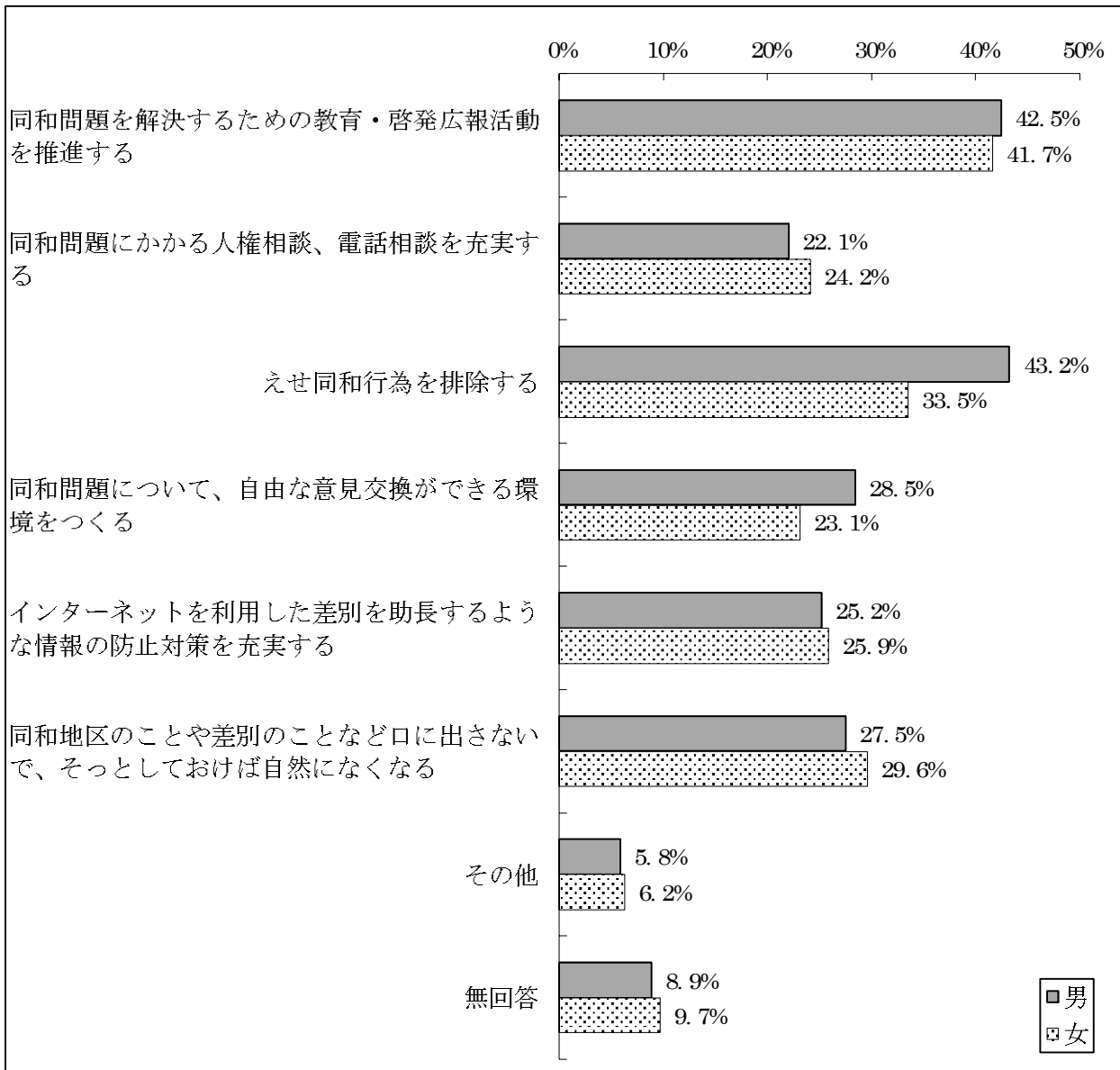
同和問題を解決するためには、どのようなことが必要だと思うか、という質問では、「同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する」が41.9%で最も高く、次に「えせ同和行為を排除する」が37.8%、「同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておけば自然になくなる」が28.5%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する	1,151	41.9%
同和問題にかかる人権相談、電話相談を充実する	636	23.2%
えせ同和行為を排除する	1,039	37.8%
同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる	703	25.6%
インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する	698	25.4%
同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておけば自然になくなる	782	28.5%
その他	165	6.0%
無回答	265	9.6%



【性別】

性別で見ると、「同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する」（男性42.5%：女性41.7%）は、男女の回答に大きな差は見られないが、「えせ同和行為を排除する」（男性43.2%：女性33.5%）では、男性が9.7ポイント上回っている。一方、「同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておけば自然になくなる」は、女性が2.1ポイント上回っている。



調査結果の概要

【年齢別】

年齢別では、「同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する」が、40歳代を除く全ての年代で一番高い。特に、20歳代で48.8%と最も高く、40歳代についても39.2%となっている。また、「えせ同和行為を排除する」は、50歳代で44.9%と最も高く、次に40歳代が42.7%と続いている。

選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する	48.8%	41.6%	39.2%	45.8%	42.3%	39.2%
同和問題にかかる人権相談、電話相談を充実する	18.1%	20.4%	18.9%	21.3%	25.5%	30.8%
えせ同和行為を排除する	34.9%	39.8%	42.7%	44.9%	38.4%	26.7%
同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる	18.6%	17.6%	21.9%	26.2%	32.7%	30.8%
インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する	32.1%	29.3%	24.7%	27.8%	27.0%	17.4%
同和地区のことや差別のことなど口に出さないうで、そっとしておけば自然になくなる	27.9%	29.1%	25.0%	21.8%	31.0%	34.9%
その他	6.5%	5.4%	7.3%	5.6%	5.5%	6.0%
無回答	3.7%	6.9%	7.6%	8.3%	8.4%	17.2%

7 外国人に関する人権について

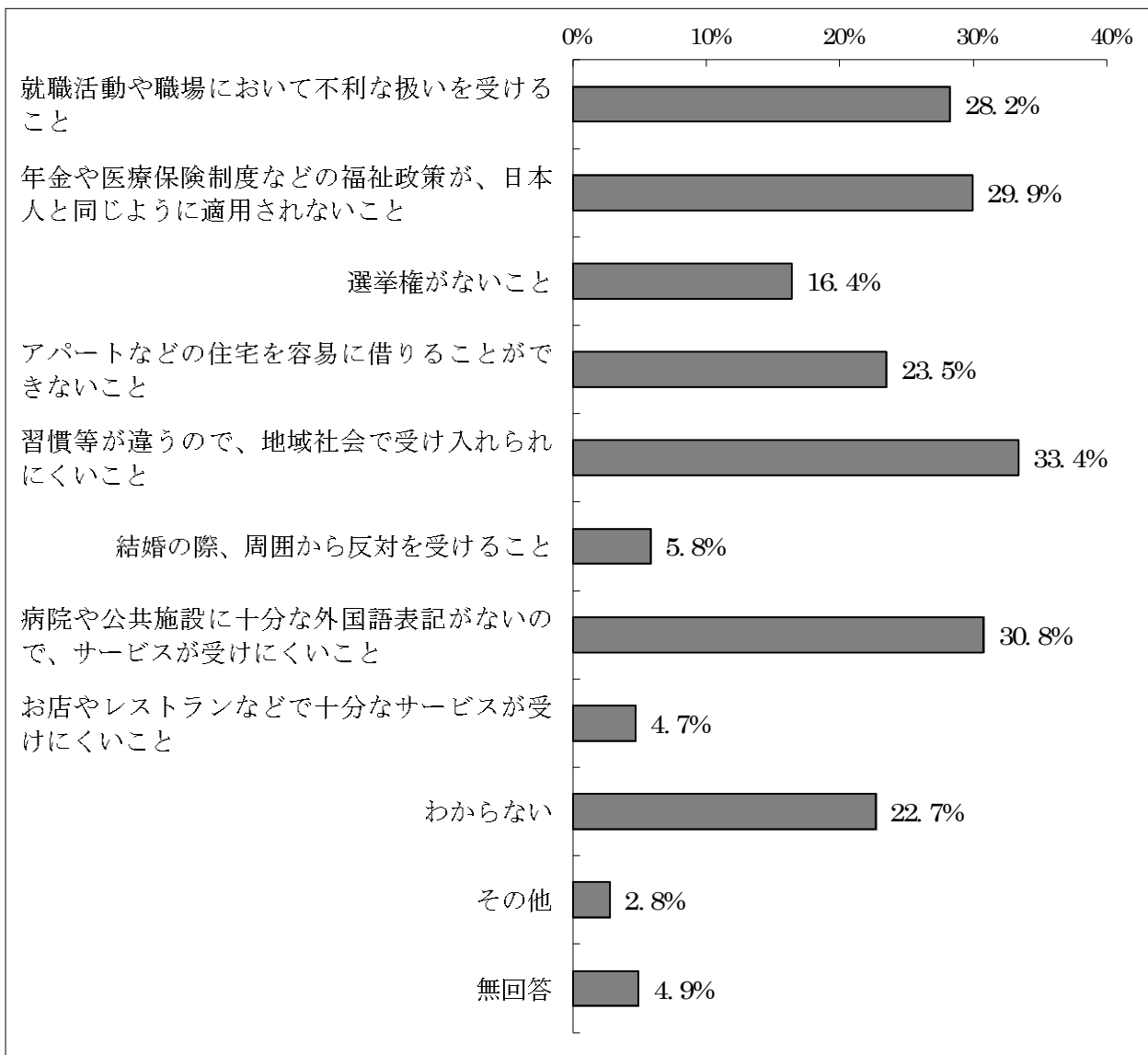
問22 日本に居住している外国人に関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

日本に居住している外国人に関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことか、という質問では、「習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと」が33.4%と最も高く、次に「病院や公共施設に十分な外国語表記がないので、サービスが受けにくいこと」が30.8%、「年金や医療保険制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されないこと」が29.9%と続いている。

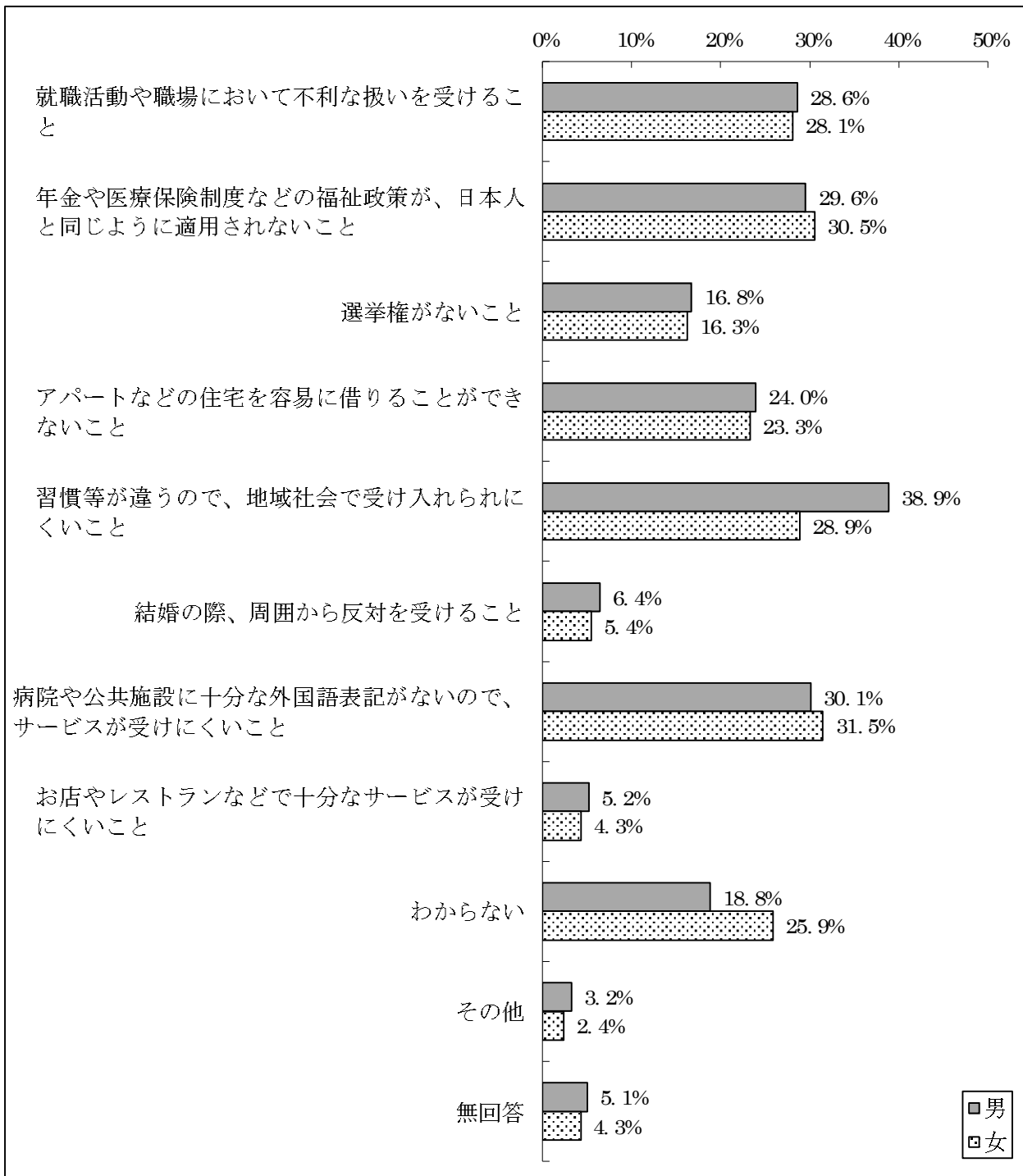
選択項目	回答数	構成比
就職活動や職場において不利な扱いを受けること	776	28.2%
年金や医療保険制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されないこと	822	29.9%
選挙権がないこと	450	16.4%
アパートなどの住宅を容易に借りることができないこと	645	23.5%
習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと	917	33.4%
結婚の際、周囲から反対を受けること	160	5.8%
病院や公共施設に十分な外国語表記がないので、サービスが受けにくいこと	845	30.8%
お店やレストランなどで十分なサービスが受けにくいこと	129	4.7%
わからない	623	22.7%
その他	76	2.8%
無回答	135	4.9%

調査結果の概要



【性別】

性別で見ると、「習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと」（男性38.9%：女性28.9%）では、男性が10ポイント上回っているが、その他の項目は、「わからない」を除き、男女の回答に大きな差は見られない。



調査結果の概要

【年齢別】

年齢別では、「習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと」が、40～60歳代で各選択肢の中で最も高く、特に60歳代が38.0%と最も高くなっている。また、「病院や公共施設に十分な外国語表記がないので、サービスが受けにくいこと」では、20～30歳代が高く、20歳代が37.2%となっている。

選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
就職活動や職場において不利な扱いを受けること	32.6%	28.8%	27.6%	30.6%	28.6%	25.0%
年金や医療保険制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されないこと	31.6%	29.8%	28.8%	33.6%	29.6%	28.4%
選挙権がないこと	22.8%	15.3%	14.8%	16.4%	14.8%	18.3%
アパートなどの住宅を容易に借りることができないこと	25.6%	23.7%	22.4%	28.9%	25.0%	18.1%
習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと	33.5%	30.6%	33.0%	34.7%	38.0%	30.0%
結婚の際、周囲から反対を受けること	8.4%	7.4%	4.7%	4.6%	5.9%	5.8%
病院や公共施設に十分な外国語表記がないので、サービスが受けにくいこと	37.2%	33.7%	25.5%	33.8%	33.0%	27.1%
お店やレストランなどで十分なサービスが受けにくいこと	11.6%	7.7%	4.9%	3.2%	2.8%	2.8%
わからない	9.3%	19.6%	22.7%	20.6%	23.6%	31.5%
その他	1.4%	3.8%	2.8%	3.7%	1.5%	3.0%
無回答	1.9%	2.0%	4.2%	0.9%	6.0%	9.5%

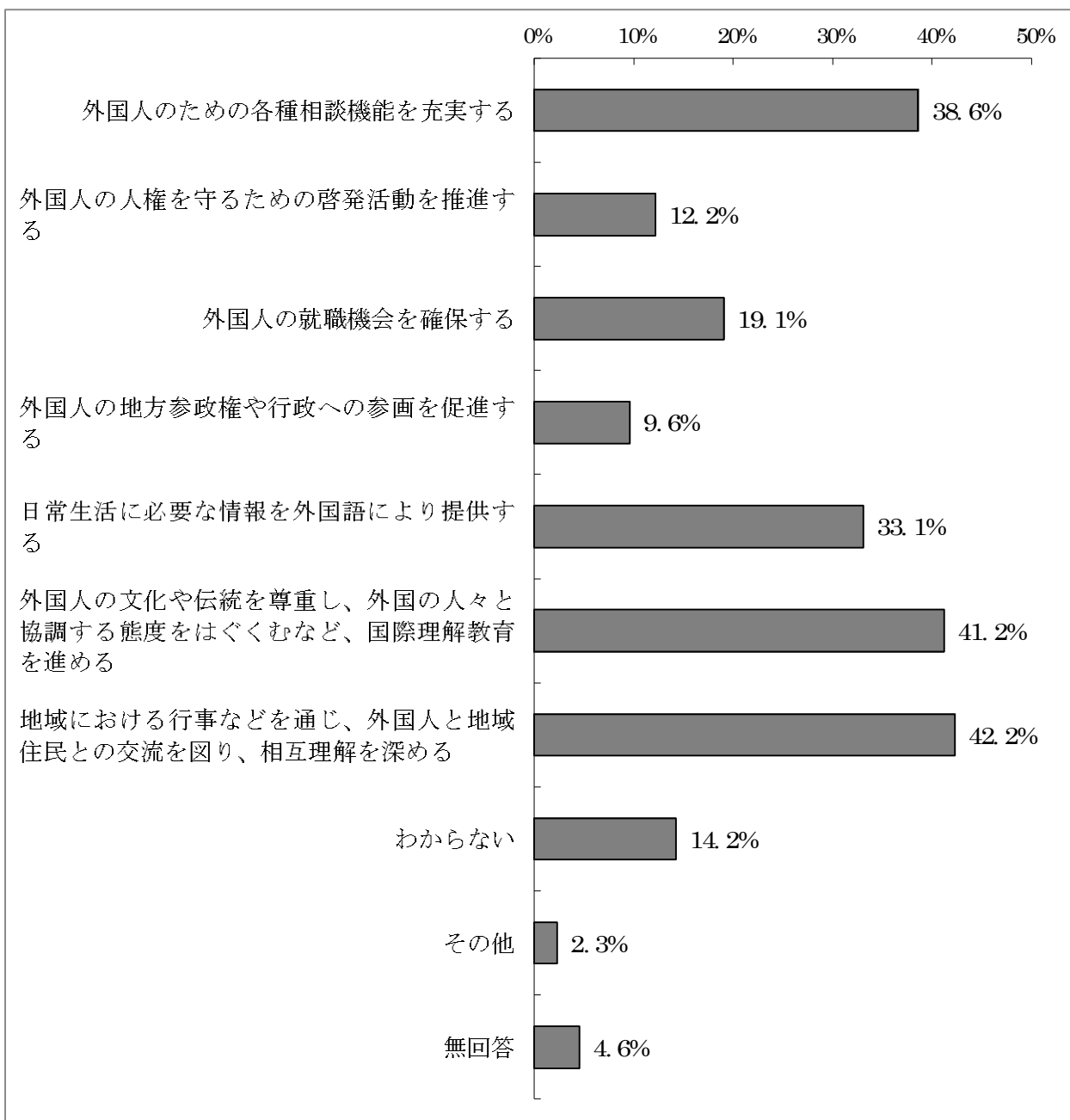
問23 日本に居住している外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われますか。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

日本に居住している外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思うか、という質問では、「地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める」が42.2%と最も高く、次に「外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど、国際理解教育を進める」が41.2%、「外国人のための各種相談機能を充実する」が38.6%と続いている。

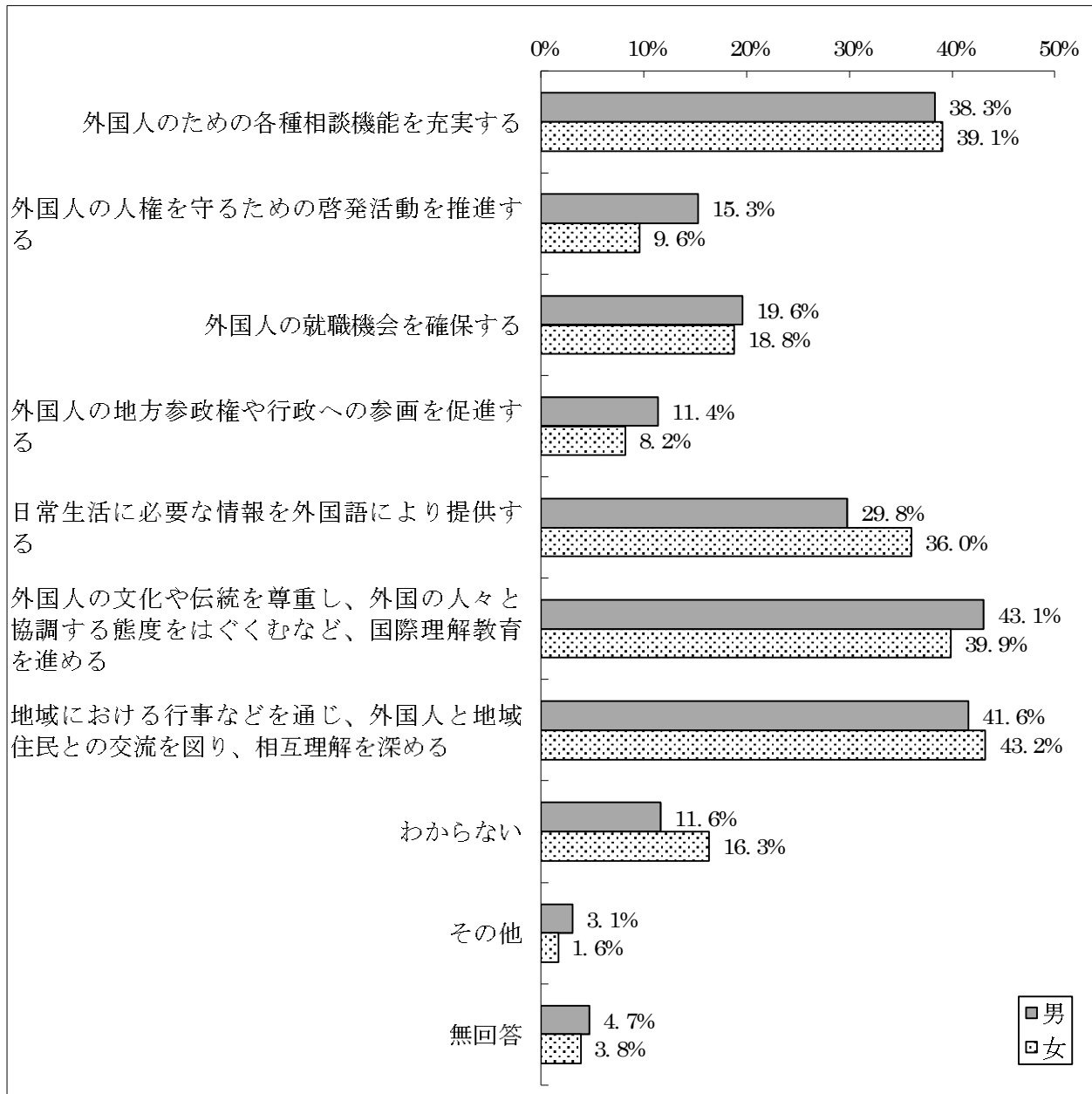
選択項目	回答数	構成比
外国人のための各種相談機能を充実する	1,059	38.6%
外国人の人権を守るための啓発活動を推進する	335	12.2%
外国人の就職機会を確保する	524	19.1%
外国人の地方参政権や行政への参画を促進する	264	9.6%
日常生活に必要な情報を外国語により提供する	908	33.1%
外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど、国際理解教育を進める	1,131	41.2%
地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める	1,160	42.2%
わからない	391	14.2%
その他	63	2.3%
無回答	125	4.6%

調査結果の概要



【性別】

性別で見ると、「日常生活に必要な情報を外国語により提供する」（男性29.8%：女性36.0%）と女性が6.2ポイント上回っている。「外国人の人権を守るための啓発活動を推進する」（男性15.3%：女性9.6%）では、男性が5.7ポイント上回っている。



調査結果の概要

【年齢別】

年齢別では、「外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど、国際理解教育を進める」が、20歳代47.9%、30歳代43.4%、50歳代46.1%、60歳代41.3%と40%を上回っている。また、「地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める」では、40歳代38.4%、60歳代46.8%と各選択肢中で最も高い。

選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
外国人のための各種相談機能を充実する	26.5%	34.9%	34.9%	44.0%	43.2%	41.2%
外国人の人権を守るための啓発活動を推進する	9.8%	7.4%	10.8%	13.4%	14.6%	14.6%
外国人の就職機会を確保する	25.6%	19.1%	17.4%	18.5%	20.7%	17.4%
外国人の地方参政権や行政への参画を促進する	13.0%	10.7%	9.2%	11.6%	6.9%	9.5%
日常生活に必要な情報を外国語により提供する	36.3%	39.3%	32.5%	34.0%	33.0%	27.2%
外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど、国際理解教育を進める	47.9%	43.4%	37.8%	46.1%	41.3%	36.8%
地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める	47.0%	41.8%	38.4%	42.4%	46.8%	40.5%
わからない	8.8%	12.2%	15.3%	12.0%	14.1%	19.0%
その他	2.3%	2.8%	2.8%	2.8%	1.2%	2.1%
無回答	0.9%	2.0%	4.0%	0.7%	5.2%	9.3%

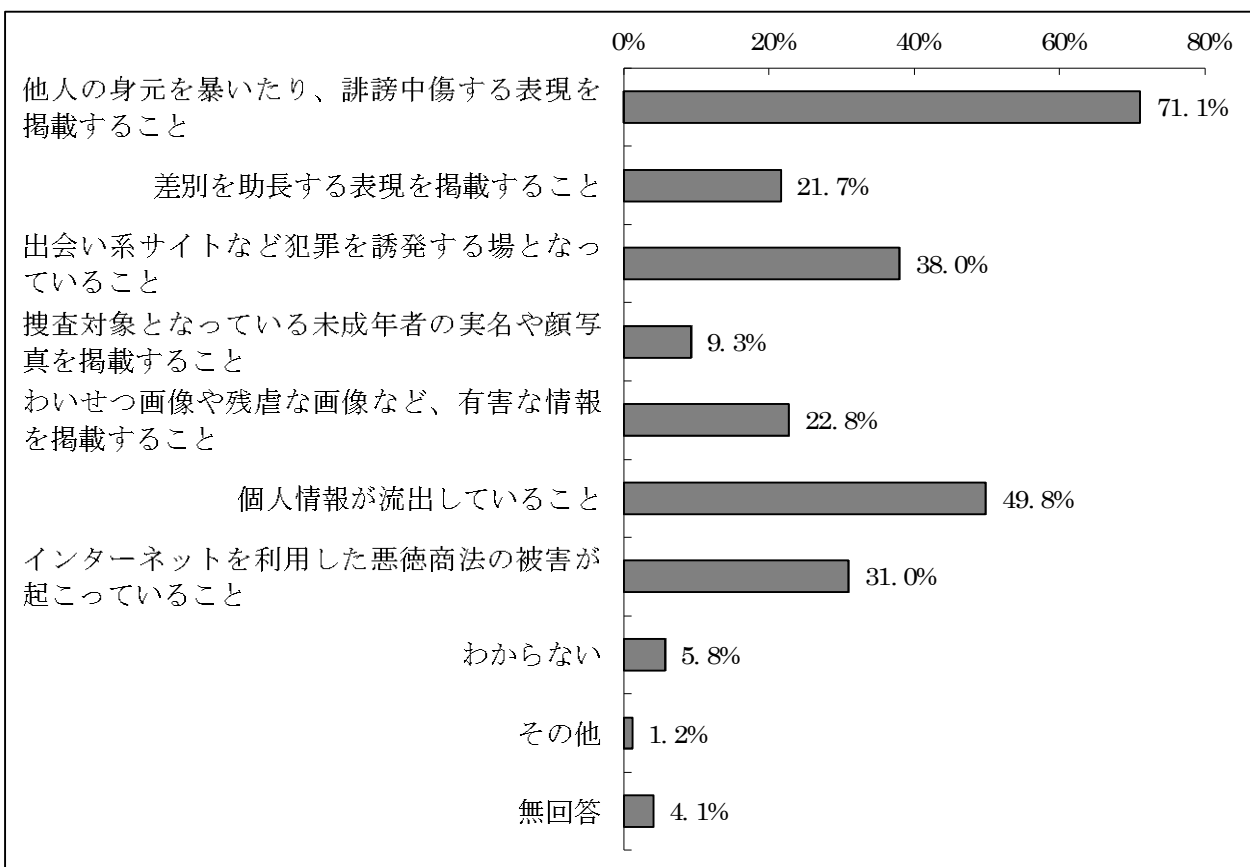
8 インターネットによる人権侵害について

問24 インターネットに関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

【全体】

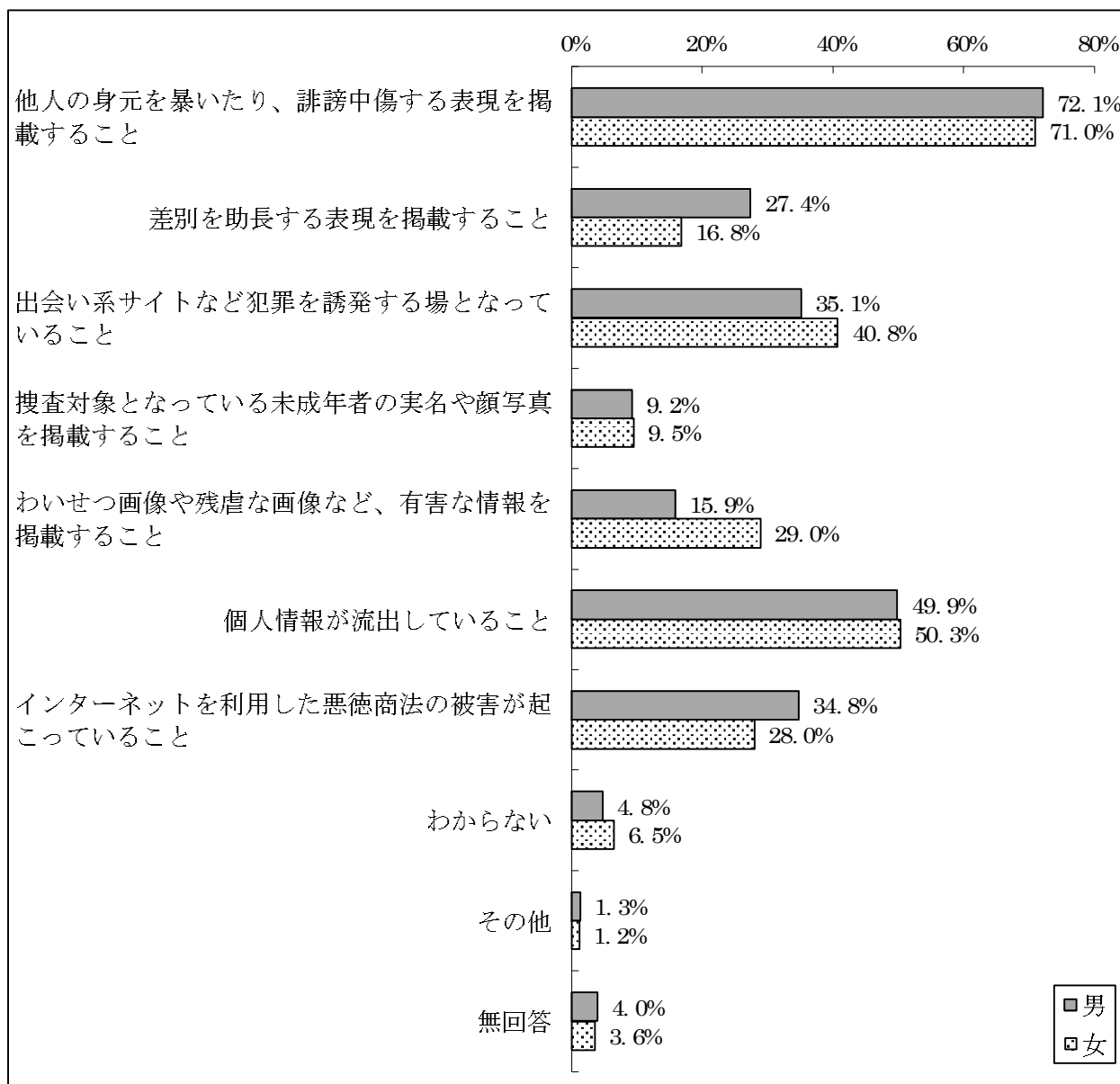
インターネットに関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことか、という質問では、「他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること」が71.1%で最も高く、次いで「個人情報が流出していること」が49.8%、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」が38.0%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること	1,953	71.1%
差別を助長する表現を掲載すること	596	21.7%
出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	1,043	38.0%
捜査対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること	256	9.3%
わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載すること	626	22.8%
個人情報が流出していること	1,369	49.8%
インターネットを利用した悪徳商法の被害が起きていること	851	31.0%
わからない	159	5.8%
その他	34	1.2%
無回答	113	4.1%



【性別】

性別で見ると、「わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載すること」（男性15.9%：女性29.0%）は、女性が13.1ポイント上回っている。「差別を助長する表現を掲載すること」（男性27.4%：女性16.8%）では、男性が10.6ポイント上回っている。



【年齢別】

年齢別では、「他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること」が、各年代とも最も多く、その中でも20歳代が81.9%と最も高くなっている。

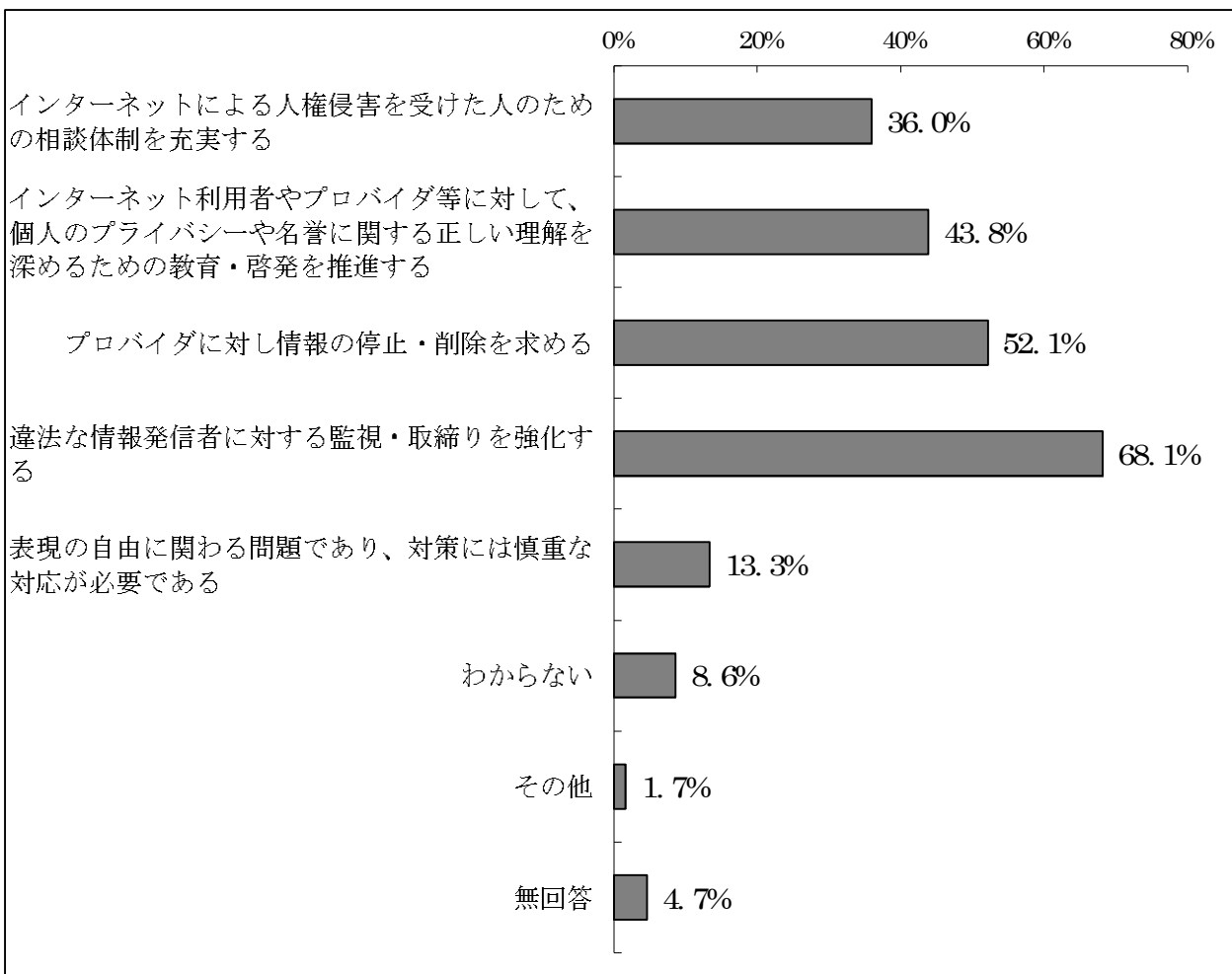
選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること	81.9%	76.5%	77.6%	78.7%	67.0%	55.2%
差別を助長する表現を掲載すること	25.1%	25.5%	24.3%	23.6%	22.0%	13.2%
出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	26.0%	27.3%	31.9%	37.5%	45.4%	50.0%
捜査対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること	10.2%	10.5%	9.9%	11.8%	9.5%	5.4%
わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載すること	16.7%	23.5%	24.0%	23.1%	24.6%	21.6%
個人情報が流出していること	65.6%	59.9%	59.0%	56.9%	42.0%	29.7%
インターネットを利用した悪徳商法の被害が起きていること	33.0%	29.6%	28.3%	36.3%	30.5%	30.6%
わからない	1.4%	2.3%	1.6%	1.6%	6.9%	17.0%
その他	2.8%	1.0%	1.2%	0.5%	1.4%	1.3%
無回答	0.5%	0.5%	1.7%	1.4%	5.7%	9.7%

問25 インターネット上の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われますか。
次の中から3つまでお選びください。

【全体】

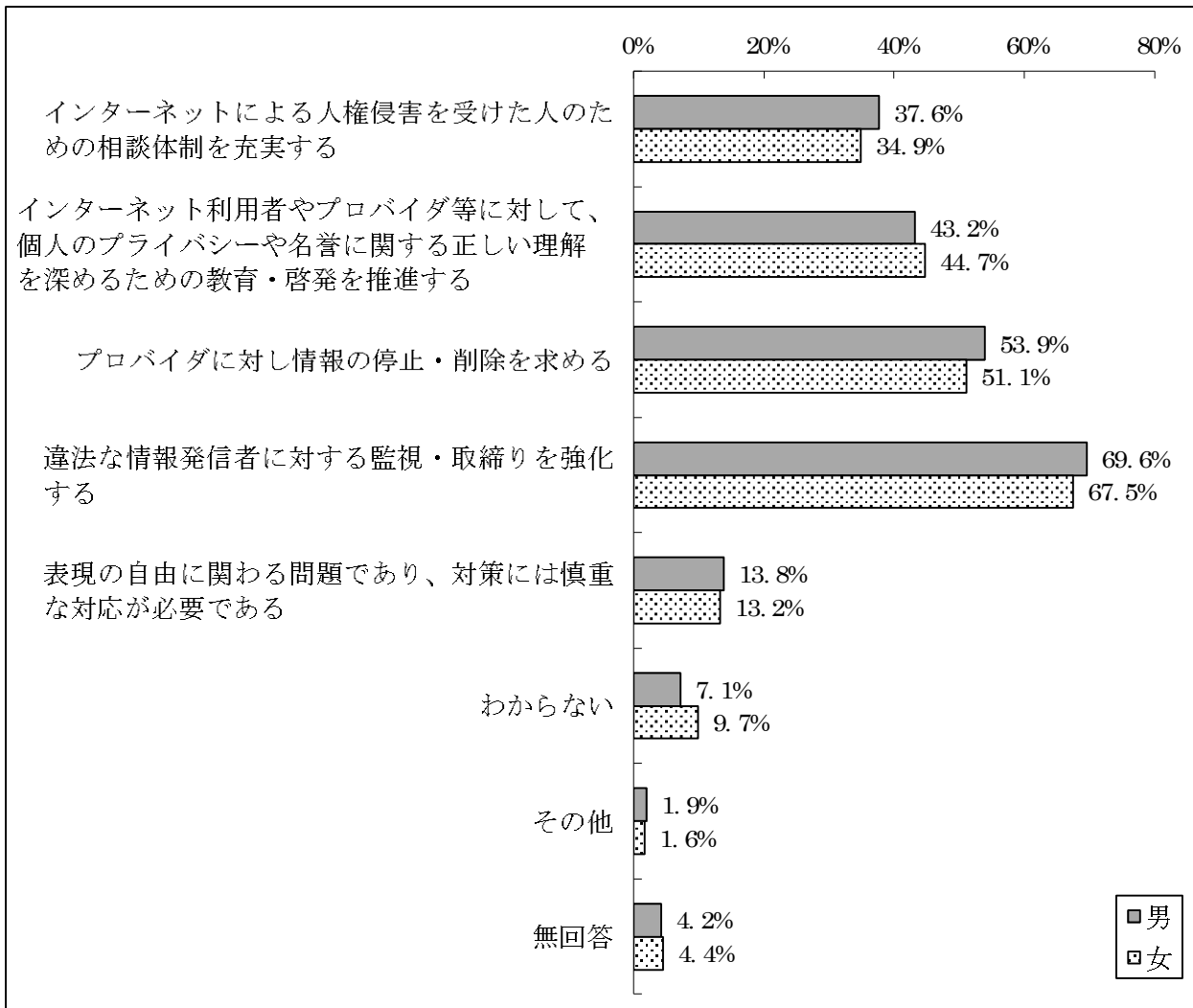
インターネット上の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われるか、という質問では、「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が68.1%と最も高く、次いで「プロバイダに対し情報の停止・削除を求める」が52.1%、「インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する」が43.8%と続いている。

選択項目	回答数	構成比
インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する	988	36.0%
インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する	1,204	43.8%
プロバイダに対し情報の停止・削除を求める	1,431	52.1%
違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する	1,872	68.1%
表現の自由に関わる問題であり、対策には慎重な対応が必要である	366	13.3%
わからない	237	8.6%
その他	47	1.7%
無回答	128	4.7%



【性別】

男女の回答に大きな差は見られない。



調査結果の概要

【年齢別】

年齢別では、「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が、各年代とも最も高く、その中でも50歳代が75.7%と最も高くなっている。

選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
インターネットによる人権侵害を受けた人 のための相談体制を充実する	29.3%	31.4%	34.7%	42.6%	38.0%	36.4%
インターネット利用者やプロバイダ等に対 して、個人のプライバシーや名誉に関する 正しい理解を深めるための教育・啓発を推 進する	47.0%	44.1%	42.9%	45.4%	45.8%	40.3%
プロバイダに対し情報の停止・削除を求め る	45.1%	57.4%	57.3%	63.0%	51.3%	38.8%
違法な情報発信者に対する監視・取締りを 強化する	71.6%	70.7%	72.7%	75.7%	68.0%	55.0%
表現の自由に関わる問題であり、対策には 慎重な対応が必要である	28.8%	12.8%	11.8%	11.3%	12.0%	12.1%
わからない	3.3%	5.1%	3.5%	5.1%	11.0%	19.4%
その他	4.2%	2.3%	2.3%	1.6%	0.7%	0.9%
無回答	0.0%	0.8%	2.6%	1.4%	6.0%	11.2%

9 人権問題への取組について

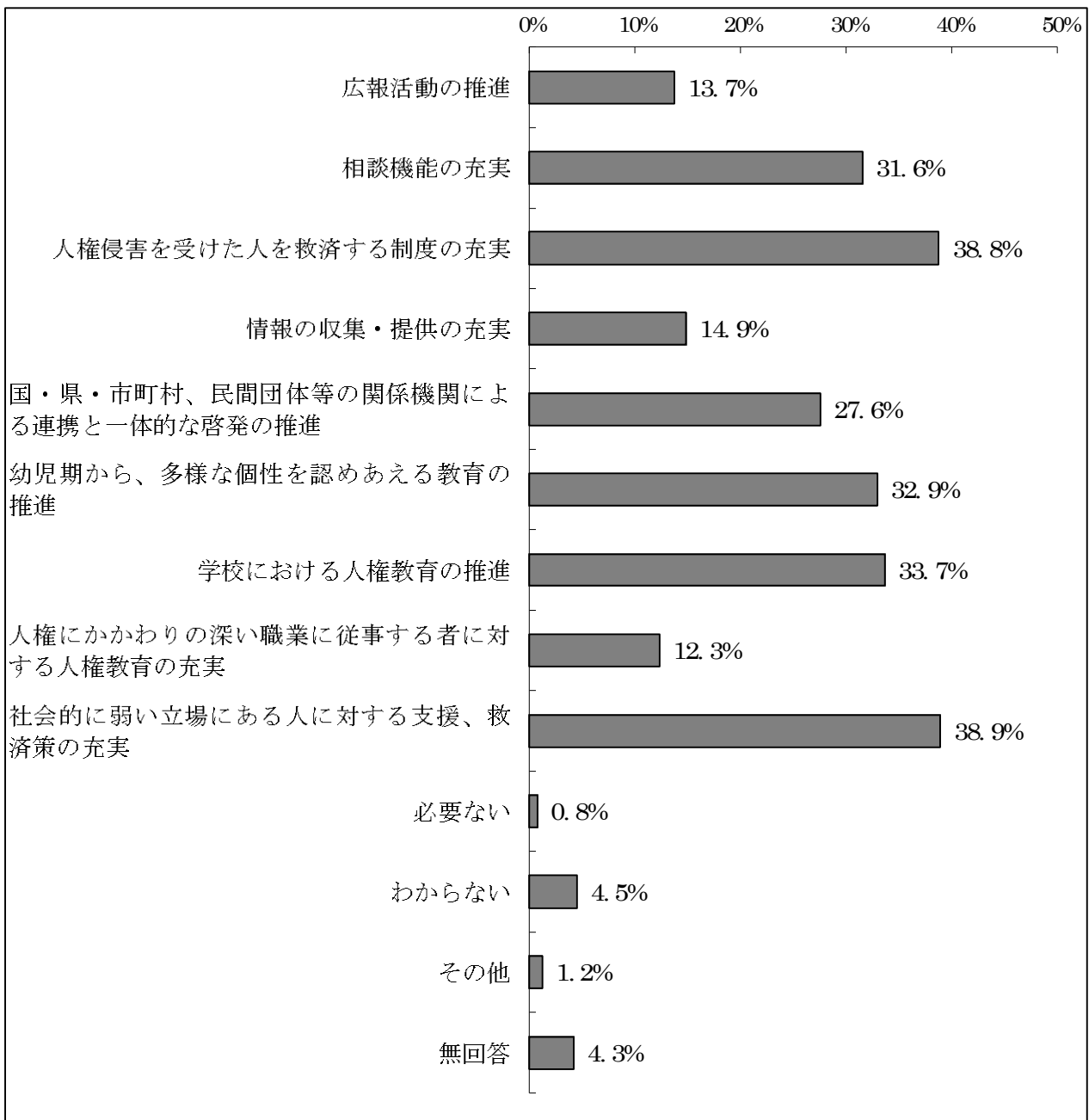
問26 今後、市町が人権問題の解決に向けて、取り組むべきことについて、あなたのお考えに近いものはどれですか。次の中から3つお選びください。

【全体】

今後、市町が人権問題の解決に向けて、取り組むべきことについては、「社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策の充実」が38.9%と最も高く、次いで「人権侵害を受けた人を救済する制度の充実」が38.8%、「学校における人権教育の推進」が33.7%と続いている。

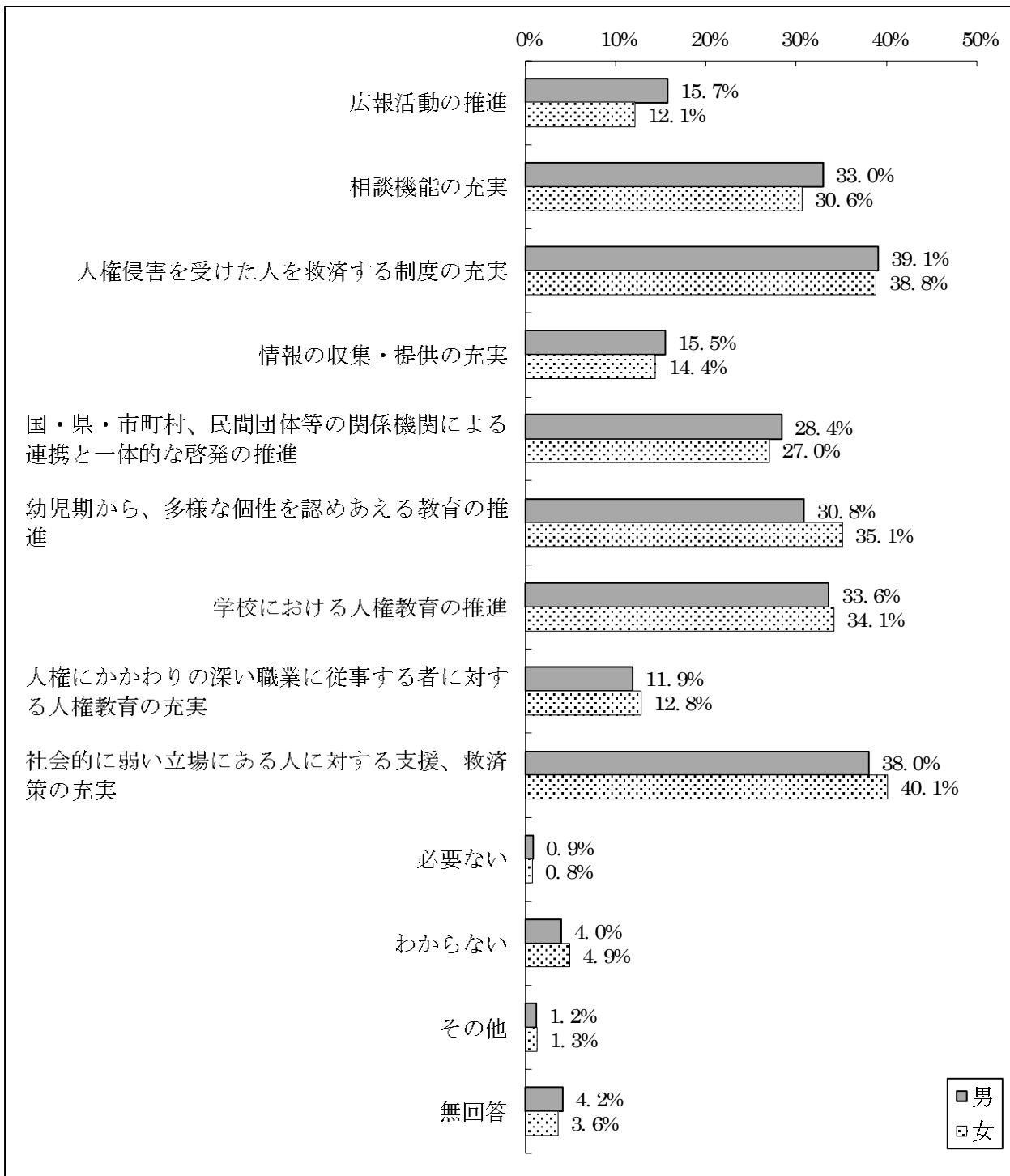
選択項目	回答数	構成比
広報活動の推進	377	13.7%
相談機能の充実	867	31.6%
人権侵害を受けた人を救済する制度の充実	1,065	38.8%
情報の収集・提供の充実	408	14.9%
国・県・市町村、民間団体等の関係機関による連携と一体的な啓発の推進	757	27.6%
幼児期から、多様な個性を認めあえる教育の推進	904	32.9%
学校における人権教育の推進	925	33.7%
人権にかかわりの深い職業に従事する者に対する人権教育の充実	339	12.3%
社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策の充実	1,069	38.9%
必要ない	22	0.8%
わからない	124	4.5%
その他	34	1.2%
無回答	117	4.3%

調査結果の概要



【性別】

性別で見ると、女性は「幼児期から、多様な個性を認めあえる教育の推進」が35.1%で、男性の30.8%を4.3ポイント上回っている。「広報活動の推進」については、男性が15.7%で、女性の12.1%を3.6ポイント上回っている。その他の項目については、男女の回答に大きな差は見られない。



調査結果の概要

【年齢別】

年齢別では、「社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策の充実」が、40歳代39.6% 60歳代43.4%と各選択肢の中で最も高い。「人権侵害を受けた人を救済する制度の充実」では、50歳代が44.7%と高い。また、「幼児期から、多様な個性を認めあえる教育の推進」が、20歳代44.2%、30歳代44.6%と若い年代の方が比較的高くなっている。

選択項目	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
広報活動の推進	10.2%	9.2%	11.6%	10.9%	15.5%	21.1%
相談機能の充実	25.6%	26.3%	33.0%	34.3%	34.6%	31.5%
人権侵害を受けた人を救済する制度の充実	39.1%	38.0%	37.0%	44.7%	40.4%	35.1%
情報の収集・提供の充実	20.9%	18.6%	18.2%	12.5%	12.0%	11.2%
国・県・市町村、民間団体等の関係機関による連携と一体的な啓発の推進	20.0%	21.2%	23.1%	29.6%	33.2%	32.8%
幼児期から、多様な個性を認めあえる教育の推進	44.2%	44.6%	34.5%	33.8%	27.2%	24.3%
学校における人権教育の推進	36.7%	36.0%	37.5%	34.7%	32.4%	28.0%
人権にかかわりの深い職業に従事する者に対する人権教育の充実	11.2%	12.0%	12.0%	15.0%	13.1%	10.8%
社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策の充実	38.1%	36.2%	39.6%	40.3%	43.4%	34.7%
必要ない	0.5%	2.0%	0.7%	0.9%	0.5%	0.4%
わからない	4.2%	3.8%	4.0%	3.2%	3.8%	7.6%
その他	2.8%	2.3%	2.1%	1.2%	0.2%	0.2%
無回答	0.9%	0.8%	1.9%	1.9%	5.3%	9.9%

10 自由記述

意識調査の最後に、ご意見・ご感想を自由に記述していただきました。また、各設問に「その他」欄を設け、選択肢以外の考え方を記入していただきました。これらを集計したところ、合計1,731件でした。

いずれのご意見も貴重かつ傾聴に値するものでしたが、紙面の都合上すべてを掲載できませんので、抜粋したものを次のとおりご紹介することにします。

皆様からいただいたご意見は、各設問の集計結果と併せ、北足立郡の各市町において人権行政の推進に活用してまいります。

なお、ご意見の内容については、趣旨を損なわないよう注意して一部要約したのもあります。

(1) 人権全般に関する意見

各々が日常生活の中で人権を意識していれば、高齢者、外国人に対しても人権を尊重できるはず。ただ、日常ではそんなことを意識する暇はなく日々に追われているので次第に鈍感になっている自分に気づくことがある。映画やインターネット、テレビなどのメディアで自然と他者への共感を喚起するようなコンテンツがもっとあればと思う。あるいは市でできることとしては、さりげないイベント、祭りなどを企画するのは面白いのではないかと思う。面白い試みをしているNPOや民間ベンチャーなどとコラボするのはいいと思う。

(男性、30歳代)

人権は憲法で保障される、一人一人が持つ個有の権利である。人は他人の人権を侵してはならないが、昨今の権利ばかりを主張するような風潮には辟易している。勿論、侵害されたときの為に或る程度の教育は必要だと思うが、同時に、他人の人権を害することがないように「義務」についても語り伝えるべきだと思う。

(女性、20歳代)

人間としての権利を無視した不法な行為による傷害や最悪な死に至らしめる事件事故が多発する現代社会、人格体としての権利が世界的な喫緊な問題である。人種宗教及び性的等様々な差別による精神的身体的虐待を以って対処する行為は人間として恥ずべき事である。問題の解決は非常に困難であるが、人類が対処し改善解決の道筋を導かなければならない責務が課されている。人権を阻害する諸問題については、一国の活動は限界があり国際的な活動を展開する必要がある。その組織は国

調査結果の概要

連の場が最適である。しかし残念ながら国連の現状は複雑な国家間の対立に翻弄されて期待できない。自由、平等、友愛、「基本的人権」確立のために私達が身近に存在する弊害を地道な活動ながらも除去改革し安住な社会を構成していくべく連帯意識を高めて実現していく時代と痛感する。

(女性、70歳以上)

情報が大量に行き交う世の中だけに、完全な解決ができるとは思えない。できることは、情報を悪用することに対する罰則を重くして、その情報を流されていることに対して監視などを強化するべきだと思う。解決は無理でも、ある程度抑制・抑圧ができると思う。ただ、中には善意から行う人間もいて、一概には難しいとも思っている。それが事件につながることもあるため、世間への問題を提示することもまた難しいはず。

(男性、20歳代)

最近では情報社会となり、分らない事等を直ぐに調べる事が出来るとも便利な世の中になったが、その反面、隣近所との付き合いが希薄になり、昔より他人と話しをする機会が減っているため、自分の考え方が正しいと思い込んでいる人が多くなっているような気がする。又、メディアによる影響を強く受けている人が多い事から、もっと、テレビ等でも分かり易く人権問題について伝えて欲しい。

(女性、40歳代)

日本は先進国の中でも人権に対し大変鈍感である。自分の人権に鈍感なものは、他人の人権を理解するのは難しいのではないか。

(男性、70歳以上)

子供が親や祖父母を、親が子供を殺害してしまう。痛ましい世の中になってしまい悲しい。日本人の心、想いなど心の暖まる清々しいニュースが減ってしまっている世相が痛ましく残念。人権問題、高齢者や身障者への配慮して考え、生命の誕生の瞬間を思い出し喜びや感動を再確認してほしい。

(女性、50歳代)

女性と高齢者と外国人について、一部の人ではあるがモラルの問題があると思う。自分の立場だけを主張して努力をしない。行政として手を差し伸べる必要性はあると思うが、そうでなく、一般の人も苦悩を持って生きている。人権問題以前に市として優先的に取り組むことがあるのではないか？

(男性、30歳代)

日本人は外国人よりコンプレックスに対する意識が高いように思う。他人より劣っている事を非常に気にする為、他人の劣っている部分を探したりもする。劣っている部分への理解や、自分自身ではどうする事もできないマイナスの要因を、他者から補われたり、補ったりする事により、人権というものが守られていくのではないかと思う。

(男性、30歳代)

男性と女性と分ける事に疑問。男性である事と女性である事、性同一障がい、子ども、高齢、同和etc全てが個々の個性ではないのか？それをどの様に受け入れ、共に生活していく事が出来るのか、生まれた時からの環境、教育だと思う。そういう感性を持つ事が必要であり、その為の社会を作っていく努力が必要だと思う。政治家、教師、親、子ども、全てに対しての理念の教育が必要だと思う。

(女性、30歳代)

私達は生まれた時から生活する環境、両親、家族が人それぞれ違って、その置かれた環境によって生活や家庭での時間、社会との関わり方、進学先、就職先までが決まってしまうような世の中なんだと、どこかで、生まれてくる場所を選べない、自分はここで良かった、あぁなりたくない、などと他人から見た自分にだけが重要な事になって生活していると思う。他人を思いやることや他人の気持ちになるという行動は、授業や講演会などで人に教えてもらう特別なことで身に付くことで、できることではないと思う。家庭や学校、職場などで日常の中で、誰もが生活や心に余裕を持って暮らしていれば、自然と他人を思いやれるものだと思う。その為には、私たち一人一人が未来や、毎日の生活に希望や、楽しみを持って生きていけるような社会づくりが大切なのではないのでしょうか。

(女性、40歳代)

基本的には思いやりであり、幼児期からの家庭での教育は大切だと思う。小さな集団の中だけの交流だけではなく、世界も視野に入れる事で固定観念を無くし、価値観を認め合えたらと思う。

(女性、40歳代)

近年、人権を重視する事により個々を主張しすぎる事が感じられる。学校における教師の立場が弱くなり、適切な指導が出来ない。女性を擁護しすぎて男性の立場が弱くなる。強い人が弱い人を守る考え方を教育して行く事で人権も守られて行くと考える。権利ばかりを主張する社会になってほしくない。

(男性、50歳代)

調査結果の概要

人権問題と個人情報保護問題が混ざってしまっている自分に気づいた。人権を盾に、矛盾を主張する人、気付かずに人権侵害している人が特に気になる。子育てをする中で、「人権問題」というのではなく、「あたり前のこと」を教育できたらなと思う。

(女性、20歳代)

権利に対する義務を明確に伝える必要がある。男女問題、子ども達に対する問題、老人問題、同和問題、外国人に対する問題等、全てに格差が出て来ている感じがする。

(男性、60歳代)

人権問題について、過剰に問題視することは避けつつ、決して軽んずることのないように。日本は比較的人権が尊重されていると思うが、表面に現れにくい根深い問題もあるため、社会全体での継続的な取り組みが必要であり、行政の活動が重要である。

(男性、40歳代)

外国人に対する差別は無くすことは難しいが、歴史的な背景などを教育現場で教えていく必要がある。女性の人権の問題は、男性の側の考え方が変わらない限り解決しない。男性が育児しやすくなるような制度に改めるべき。

(女性、30歳代)

特定の個人や団体、民族等に対する人権侵害と思われる言動を出版物、メディア、インターネットを通じて見聞きすることがある。言論の自由に配慮しながら、度が過ぎるものについては対応の強化が必要と思われる。

(男性、30歳代)

メディアで差別行為がいかにも恥ずべき行為か倫理的に訴える。子供への虐待は異常であるとしながらも、子育て中の親の大変さと孤独を知ってもらうことも重要だと思う。

(女性、30歳代)

格差社会が広がり生活が苦しく十分な教育が受けられない子ども、薬も買えない高齢者等、弱者が増えている。底辺の方も安心して暮せる支援策が必要だと考える。

(男性、60歳代)

最近、LGBTの人と関わる機会があった。いたって普通の人なのにトランスジェンダーである事で差別を受け、生活しにくい事を知った。日本では同性婚は法的に認められていないが、LGBTの人達が普通に結婚できる世の中になれば、幸せをもっと感じられるのだろうと思う。人が人を好きになるのに性別や国境は関係ない時代である今、その時代に合った社会が作られて行く事を希望する。LGBT＝性的偏見がまず最初に見受けられる。性的な部分だけをクローズアップするのは、色々な情報に振り回され、適切な理解をしていないからだ。彼らの訴えに耳を傾け、生活しやすいよう支援の輪が広がる社会を作ってほしい。また、個人が理解を深めて行く事も、少しずつ偏見のない社会を作るのに必要だと思っている。LGBTの人達が正々堂々と「私はLGBT!!」と言える世の中になってほしい。

(女性、40歳代)

男性の人権に関する設問が無い事が差別に感じた。男性と女性で性的な役割が違うのに、同じ役割を持たせるのには物的に不可能である。平等な役割ではなく対等な役割を持たせるべき。

(男性、20歳代)

親しい友人が性同一性障がいである。職場でカミングアウトをして病院に通い、名前は変えられたが、保険証などが手術(女→男)をしないと性別を変更できない。病院で名前を呼ばれ、人から見られることが嫌で具合が悪くても受診したくないという。そんな彼(以前彼女)を何とかしてあげたい。

(女性、50歳代)

(2) 女性に関する人権について

子どもの保育園入園が困難で、仕事に復帰できない。

(女性、30歳代)

現在のパートや派遣で働く女性が働きやすくない限り、いくら政治家や管理職に女性が参画しても解決にはならないと思う。

(女性、30歳代)

男女格差がまだあり、女性の社会への進出が難しい。

(女性、40歳代)

子育てしながら仕事をもつ女性への理解度があまりないように感じる。子供のい

調査結果の概要

ない方にはやはり理解してもらえないように思う。子育ての経験があるので子育ても仕事も大変なのは良くわかる。子育て中の女性をもっと温かい目で見守ってあげてもらいたい。こんな世の中だと本当に人口が減ってしまうと思う。

(女性、40歳代)

結婚しない若者、子どもを産まない若者とよく言われるが、しないのではなく、職場では賃金上昇はなく、子どもと仕事の両立ができる制度、設備もなく、なかなかできないと実感している。是非仕事と育児の両立の制度充実を望んでいる。

(女性、20歳代)

日本はとにかく女性の人権が守られていないと思う、外国人の友、知人、仕事相手と話すと、他国ではごく当たり前になされている男女平等がなく、驚かれ、同情されることが多い。しかしながら、日本の国際競争力が下落するばかりで、加えて、急速な高齢化という現実を前に、もはや男性だけの社会では対応できなくなってきている。したがって、いち早く女性の社会進出、人権保護に関する法整備を確立し、男女協同し、オールジャパンで日本が発展していかれるよう、行政でも進めていただきたいと切に願う。

(女性、40歳代)

女性が働きやすく、目標としている男女共同参画社会を実現するためには、休暇制度などの充実を図ったり、保育所の増設が不可欠であると思う。

(男性、20歳代)

(3) 子どもに関する人権について

子どもの問題については、現代社会の中ではどうしても父親や母親が1人で悩んでしまう環境である。虐待へとつながっていかぬよう、今ある子育て支援センターやファミリーサポート以外に低所得層が子どもを短時間預けるリーズナブルな利用料の事業などのサービスがあるといいと思う。

(女性、30歳代)

いじめの問題は昔から変わらず現在も続いている。特に今の子供は、私達が子供の頃は先生に対して反抗する事などあり得ない事だったが、今は何かあると学校側のせいにする。親自身子供のしつけについて考えるべきである。

(女性、30歳代)

親を頼れない子供こそ公的に最優先で支援すべきである。

(男性、40歳代)

子どもに対する暴力から死につながる事件が多く報道される毎日ですが、子どもが欲しくてもできない人がたくさんいるのに女性の人権にもつながるし、母親・父親学級でこの世の中の問題を背景とした内容で、親になる人は絶対参加で意識させるべきではないのか。子どもには何の罪もないので死なせてしまうくらいなら手放して子どもができない人に授けてほしい。今の社会をつくってきた40～50歳代の男性は尊ぶべき存在だと思うが、世の中に一番影響できる人たちなのだから彼らの意識改革もしていただきたい。

(女性、20歳代)

子どもに対する暴力、いじめ、虐待が続発していることを憂慮している。また、子どもの貧困もとても心配だ。子どもは国の宝です。どのような家庭に生まれても、独り立ちできるまでは国や社会が支援できる仕組みができることを願っている。

(男性、60歳代)

子どもの貧困問題に心が痛みます。環境によって教育を受ける機会が制限されたり、食べること、寝ること、安心して学校に通い他人の生活と大差なく生活できる社会が実現できたら良い。

(男性、40歳代)

最近、子供の人権を無視する親が多いと思う。周りの目を気にして、自分の思いどおりにいかなければ体罰を加えたり、ネットで注目されたいがために、かわいそうな親を演じたり、ネットが普及されてきたことにより、子供の人権が侵されてきていると思う。

(女性、20歳代)

子供のいじめ問題で、子どもが思いやりを持ったやさしい子に育ってないと思う。まわりの大人が小さい時からのしつけや育て方がうまくできていないのではないかと。核家族化しているため親の言動や考えがそのまま子供に反映している。もっと多数の大人がひとりの子に関わって柔軟な考えのできる子どもに育てていく必要があると考える。

(女性、50歳代)

(4) 高齢者に関する人権について

高齢者の特養施設が少なく、病院での入院が長期化している。

(女性、30歳代)

高齢社会になりつつある昨今においての高齢者に関する人権。安心して暮らして
いける様、社会保障制度を充実して欲しい。

(女性、60歳代)

高齢者が働ける機会や場所をもっと増やして、70歳くらいまでは給料生活ができる
ようにしてほしい。

(女性、50歳代)

これから高齢化が進むので、孤独死が増えないようにして欲しい。

(女性、60歳代)

高齢者に対する振り込め詐欺が相変わらず多発している。知っていてもかかってし
まうとのことなので、一層のPRと共に、犯罪者に対する厳しい罰則を規定しても
らいたい。高齢者の一人住まいに対する、普段の接触方法を一層充実してほしい。

(男性、70歳以上)

個人個人を尊重し、支援、助け合いの心を持つ。ボランティア活動をしている中
で、高齢者の介護施設等が少ない。

(女性、70歳以上)

(5) 障がい者に関する人権について

障がい者の就職先、作業所等の増設。

(男性、60歳代)

精神障がいをもった人でも暮らしやすい所であってほしい。

(女性、40歳代)

自分も幼少から障がいを持ち、著しく人権侵害を受けたことがある。誰も信用す
ることがなかったので、他人に相談などの充実は実際役に立っていないと思う。我
慢することを自分的に強いていたので、周囲の人の理解や意識の教育が重要かと思

う。災害時の市内放送があるが、聞こえない人やお年寄りには、どうやってお知らせするのか考えていただきたい。

(女性、50歳代)

(6) 同和問題について

人権問題の根は相手を心から思いやる心の欠如だと思います。相手が女性であれ高齢者であれ障がい者であれ同和地区の人であれ外国人であれ、その人の気持ちになって考えることの大切さを小学生から徹底して教育すべきです。(家庭でも)

(男性、70以上歳)

昔の事と思っているので学校で教わるまで知らなかったし、特に知る必要もない気がする。

(女性、30歳代)

多く人は、気付かないうちに人権侵害をしているケースが多いと思われる。もし誰かが人権侵害をしていたら、その人に気付きを与えられ、改善に向かえるとよい。そのためには、相談できる人や周りが注意しやすい環境づくりが重要ではないか。

(男性 20歳代)

各々の人権問題についての現状把握→課題抽出→優先順位をつけた対策のサイクルを丁寧に実施していく事が必要と考える。「人権」については、まず、教育が大切。例えば「同和問題」に関しては、私自身、成人するまで知識がほとんどなかった。関西地区の方々と交流するまで具体的な事を知る機会がなかった。人間形成をされる若いうちに、人権問題の一つとして具体的な事象を含め、伝えることで多角的なポイントで物事を捉え判断できる。人間力向上の一助になるとおもう。

(女性 40歳代)

大変難しい問題ですが、教育・救済・啓発活動を粘り強く行っていくしかにと思います。時間は掛かりますがね・・・

(男性 40歳代)

同和問題について、これまで解決のために努力された関係者の方には敬意を表すが、今はもう知らない人も多く、そっとしておくほうが良いと思う。

(男性 70歳以上)

(7) 外国人に関する人権について

外国人労働者（特に女性）の受け入れの政策推進、環境整備が必要。

（男性、30歳代）

無料で日本語を学べる場所を少しでも多く設置し、日本人とコミュニケーションがうまく出来るようにしてあげられたら良いのではと思う。

（女性、60歳）

最近のニュースでは、イスラム国の問題、ヘイトスピーチ等で心が痛む。多種多様な人種、思想、生活習慣があるので、全てを尊重し理解する事は難しいと思うが、相手の立場に立って物事を考え人の嫌がる事はしない、非暴力で思いやりを持って寄り添う努力は惜しんではならないと思う。

（女性、50歳）

(8) インターネットによる人権侵害について

インターネット上に他人を誹謗中傷をする人は多い。匿名である為に陰険なことが出来ると感じる。名前は公開されるのであれば安易に他人を攻撃することはなくなると思う。又、犯罪だということになればネガティブなインターネット上の発言攻撃は激減すると思う。そうなることを願う。

（女性、40歳代）

インターネットの普及により、顔の見えないことをいいことに他人への誹謗中傷、プライバシー侵害等が増えてきているが、表現の自由という権利が助長しているように感じる。

（男性、30歳代）

現代社会は移動が楽になり、かつインターネットの発展により、理解し難い相手との接触は確実に増えている。個人がどうやって社会をどうするべきかを考えていく必要。相互の理解と多様性は相反するものではない。これをいかに両立するかが人権を考える上で大きな課題。

（男性、30歳代）

人権というと人として当たり前の権利なので、普段あまり意識することなく生活できている現状は、人権を侵害されていない幸せな日々なのだと思う。しかし、イ

インターネットによる人権侵害は、侵害する側も容易にできてしまうので、一步まちがえれば、自分も関係しそうで怖い。SNSでの書込みなど、子供のうちに、しっかり学ばせておかないと、大変なことになる。インターネットは、世界中につながるもので、間違った情報や差別に関したものは、一生残ってしまう危険性がある。そういった情報化社会の怖さも、もっと人権対策として幼いうちから触れるべきだと思う。

(女性、30歳代)

壮年の健常者という立場から、差別を受けたという体験は少ないが、特にインターネット上における人権を侵害するような発言等は目を覆わんばかりのものが多く心が痛む。技術的に困難だと思われるが、発言者を特定できるシステムの開発に期待している。また、高齢化の影響で福祉、介護人材が不足している中、施設等での虐待事案が後を絶たない。劣悪な住環境での生活を強いる貧困ビジネスの問題もあった。医療・福祉分野で働く人材の確保と質の向上を担保するための方策が望まれる。

(男性、30歳代)

(9) 人権教育について

以前住んでいた地域は同和教育に力を入れていた。小さいときからの女性や外国人などに重点をおいた人権教育は重要だと思う。

(女性、30歳代)

人権について、幼児期から周りの方々から少しずつお話したり、考えていける環境が大切だと思う。子供には家庭、地域、学校で人権問題に触れながら自分で考えて社会に出られるようになってほしい。

(女性、50歳代)

多様な諸人権問題は解決には時間がかかると思うが、広報活動の推進、相談機能の充実、そして小さいときからの教育が大事かと思う。

(男性、60歳代)

男尊女卑の考え方の人がまだまだ多い。学校教育で、男女平等の大切さを教える必要がある。

(女性、20歳代)

調査結果の概要

幼児期からの教育が大切だと思う。ていねいに、幼・小・中・高・大と人権について歴史から学べるし、日常のことも感じることやどうあるべきか生徒同士でふだんから話し考え続けることができたらいと思う。古い時代の偏見は親から子…と連鎖する、それがすり込まれる。そこから離れて新しい視点で見る訓練が必要だと思う。それは教育。教えられるだけでなく自分で考え自分の身に付ける、人権という考え方をていねいに考え、身に付けることが大切だと思う。格差ばかり拡がり、教育は経済力が無く受けられない子が多くなる。企業も人を使い捨て、人権が名ばかり、憲法も名ばかりになりそうな時代、是非考えたい人権のこと。

(女性、50歳代)

大人の意識を変革させることは現実的にはなかなか困難だが、将来を担う子どもたちに感受性の強い時に思いやりや差別意識の排除などが自然に身につくよう学校などで指導を強めていただきたい。「道德教育」という言葉は偏狭な愛国心教育につながり好まないが、最低限の社会的ルールを身につけさせる教育は今の若い世代に特に必要と思う。

(男性、70歳以上)

「人として何が正しいか」という道德教育を十分に受けていない人が、親や先生という立場になって、無意識のうちに、子供の人権に問題を与えてしまっているのではないかと危惧している。特にこの日本は、価値のあるものの正しい使い方を家で教えるものと解釈していて、学校ではほとんど教えていない。家と学校の両輪で、道德を充実・促進させるべき。大人が道德を受けられる学校があっても良いと思う。価値観の違うもの同士が社会を形成していて、人は助け合わなければいけないということを、教育や研修を通して浸透させることが、人権問題を減らす一助になると思う。

(男性、30歳代)

高齢者の増大が進み、交通機関、公共施設の充実の早期実行が必要と感じてる。人権問題を守る方策は職場、学校、地域の協力が急務と思う。市が中心で教育の場作りが大切。

(男性、60歳代)

差別された方の保護は当然だが、差別のない社会を確立し教育していくことが必要。

(男性、70歳以上)

「人権意識調査票」

あなた自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別をお聞かせください。

1	男	2	女
---	---	---	---

問2 あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。

1	20～29歳	2	30～39歳	3	40～49歳
4	50～59歳	5	60～69歳	6	70歳以上

「人権」全般についておたずねします。

問3 今の日本は、基本的人権が尊重されている社会であると思われますか。次の中から1つお選びください。

1	そう思う	2	どちらともいえない
3	そうは思わない	4	わからない

問4 国民一人ひとりの人権意識は、10年前に比べて高くなっていると思われますか。次の中から1つお選びください。

1	そう思う	2	どちらともいえない
3	そうは思わない	4	わからない

問5 「近ごろ、人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた」という意見がありますが、あなたはこの意見についてどうお考えですか。次の中から1つお選びください。

1	そう思う	2	どちらともいえない
3	そうは思わない	4	わからない

問6 日本の社会には、人権にかかわるいろいろな問題がありますが、あなたが特に関心をお持ちのものをあげてください。次の中から3つまでお選びください。

1	女性に関する人権	2	子どもに関する人権
3	高齢者に関する人権	4	障がい者に関する人権
5	同和問題	6	アイヌの人々に関する人権
7	外国人に関する人権		
8	エイズウィルス感染者・ハンセン病患者の人権		
9	インターネットによる人権侵害		
10	性的指向の異なる人・性同一性障がい者の人権		
11	その他 ()		

問7 あなたは、今までに、自分の人権が侵害されたと思われたことがありますか。
次の中から1つお選びください。

- | | |
|---------|--------------|
| 1 ある | →問8へお進みください |
| 2 ない | →問10へお進みください |
| 3 わからない | →問10へお進みください |

(問7で「1 ある」と答えた方にお聞きします。)

問8 どのような人権侵害でしたか。次の中から該当するものすべてお選びください。

- | |
|--|
| 1 あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた |
| 2 名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された |
| 3 社会的地位、慣習、脅迫などにより、意に反することをさせられたり
権利の行使を侵害された |
| 4 人種・信条・性別などにより、不平等または不利益な取扱いを受けた |
| 5 職場において、不当な待遇や言動を受けた |
| 6 プライバシーを侵害された |
| 7 性的嫌がらせ（セクシュアル・ハラスメント）を受けた |
| 8 特定の人に執拗につきまとわれた（ストーカー被害） |
| 9 その他（) |

(問8で答えた方にお聞きします。)

問9 その時、どうされましたか。次の中から該当するものすべてお選びください。

- | |
|------------------------------------|
| 1 友達、同僚、上司に相談した |
| 2 家族、親戚に相談した |
| 3 警察に相談した |
| 4 弁護士に相談した |
| 5 公共機関(県、市町村、法務局、人権擁護委員や人権相談)に相談した |
| 6 民間団体に相談した |
| 7 相手に抗議するなど自分で解決した |
| 8 黙って我慢した |
| 9 忘れた・わからない |
| 10 その他（) |

問10 あなたは、結婚や就職時の身元調査について、どのようにお考えですか。次の中から1つお選びください。

- | |
|----------------------------------|
| 1 身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う |
| 2 よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う |
| 3 身元調査をすることは当然のことだと思う |
| 4 わからない |

女性に関する人権についておたずねします。

問11 女性に関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 男は仕事、女は家庭など、男女の固定的な役割分担意識があること
- 2 昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえないなど、職場における待遇が違うこと
- 3 育児、家事、介護等を男女が共同で担うことができる社会システムが整備されていないこと
- 4 夫や交際相手から暴力をふるわれること（ドメスティック・バイオレンス）
- 5 職場等で性的嫌がらせをされること（セクシュアル・ハラスメント）
- 6 売春・買春、援助交際
- 7 女性のヌードがアダルトビデオやポルノ雑誌において商品化されていること
- 8 女性だけが「奥様」、「婦人」、「未亡人」と言われること
- 9 わからない
- 10 その他（)

問12 女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われますか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 女性のための各種相談機能を充実する
- 2 女性の人権を守るための啓発活動を推進する
- 3 男女平等や性についての教育を充実する
- 4 女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会を充実する
- 5 議員、企業役員や行政の審議会等への女性の参画を促進する
- 6 女性が暴力等の被害から避難するための「シェルター・緊急待避所」を整備する
- 7 女性が被害者になる犯罪の取締りを強化する
- 8 相談機関などが暴力を受けた被害者の意思や気持ちに配慮した対応をする
- 9 捜査や裁判で、女性の担当者を増やし、被害女性が届け出しやすいようにする
- 10 テレビ、映画、新聞、雑誌などのメディアの倫理規程を強化する
- 11 わからない
- 12 その他（)

子どもに関する人権についておたずねします。

問13 子どもに関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 保護者がいうことを聞かない子どもにしつけのつもりで体罰を加えること
- 2 保護者が子どもに対して身体的、心理的に虐待すること
- 3 子ども同士が「暴力」や「仲間はずれ」、「無視」などのいじめをすること
- 4 いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事と
- 5 学校や就職先の選択等について大人が子どもの意思を尊重しないこと
- 6 教師が子どもに体罰を加えること
- 7 児童買春・児童ポルノ等
- 8 わからない
- 9 その他 ()

問14 子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われますか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 子どものための各種相談機能を充実する
- 2 子どもの人権を守るための啓発活動を推進する
- 3 体罰禁止を徹底する
- 4 学力偏重の入試制度のあり方を改める
- 5 教師の人間性、資質を高める
- 6 大人が他人に対する思いやりなどを教える（善悪や道德等）
- 7 大人が子どもの個性を尊重する
- 8 わからない
- 9 その他 ()

高齢者に関する人権についておたずねします。

問15 高齢者に関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 働ける能力を発揮する機会がないこと
- 2 悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと
- 3 病院での看護や福祉施設での対応が十分でないこと
- 4 高齢者を邪魔者扱いし、高齢者の意見や行動を尊重しないこと
- 5 介護制度が十分でないこと
- 6 情報がひとり暮らしの高齢者に十分につたわらないこと
- 7 家族が高齢者の世話を避けること
- 8 道路の段差解消、エレベーターの設置、その他高齢者が暮らしやすい街づくりや住宅づくりが進んでいないこと
- 9 わからない
- 10 その他 ()

問16 高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われますか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 高齢者のための各種相談機能を充実する
- 2 高齢者を思いやり、人権を守るための啓発活動を推進する
- 3 高齢者が自立し、生活しやすい環境にする
- 4 病院での看護や福祉施設での対応を改善する
- 5 看護に関する情報を細かく広報する
- 6 高齢者の就職機会を増やす
- 7 高齢者への犯罪に対して、取り締まりを強化する
- 8 高齢者と他の世代との交流を進める
- 9 成年後見制度(*)など、高齢者の人権と財産を守るための制度の利用を促進する
- 10 高齢者のための社交場をつくる
- 11 わからない
- 12 その他 ()

(*)成年後見制度とは、判断能力が不十分な人に対して、裁判所が選んだ後見人が財務管理や契約などの法律、生活面を支える制度

障がい者に関する人権についておたずねします。

問17 障がい者に関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 障がいまたは障がい者についての理解が十分でないこと
- 2 就職活動や職場において不利な扱いを受けること
- 3 施設サービスが十分でないこと
- 4 在宅サービスが十分でないこと
- 5 病院や施設で本人の意思に反して自由を制限したりすること
- 6 知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が十分でない者に、財産管理等経済生活をめぐる権利侵害があること
- 7 道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障があること
- 8 スポーツ、レクリエーション、文化・芸術活動への参加の機会が少ないこと
- 9 結婚問題で、周囲から反対を受けること
- 10 わからない
- 11 その他 ()

問18 障がい者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われますか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 障がい者のための各種相談機能を充実する
- 2 障がい者の人権を守るための啓発活動を推進する
- 3 障がい者の就職機会を確保する
- 4 成年後見制度(*)など、障がいのある人の権利と財産を守るための制度の利用を促進する
- 5 障がいのある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する
- 6 障がいのある人がスポーツや文化活動などに参加しやすくする
- 7 障がいのある人とない人との交流を促進する
- 8 学校教育の中で、障がい者理解教育を充実する
- 9 病院や施設の職員の研修を充実する
- 10 わからない
- 11 その他 ()

(*)成年後見制度とは、判断能力が不十分な人に対して、裁判所が選んだ後見人が財務管理や契約などの法律、生活面を支える制度

同和問題についておたずねします。

問19 同和問題に関する事柄で、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 就職において不利な扱いを受けること
- 2 結婚の際、周囲から反対を受けること
- 3 日常生活の中で交際を避けられること
- 4 職場で不利な扱いや差別的な待遇を受けること
- 5 学校の中で友だちから仲間はずれやいじめなどを受けること
- 6 わからない
- 7 その他 ()

問20 あなたは、住宅や生活環境を選ぶ際に、同和地区であった場合、避けることがあると思われますか。次の中から1つお選びください。

- 1 まったく気にしない
- 2 どちらかといえば気にしない
- 3 どちらかといえば避ける
- 4 避ける
- 5 わからない

問21 同和問題を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する
- 2 同和問題にかかる人権相談、電話相談を充実する
- 3 えせ同和行為(*)を排除する
- 4 同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる
- 5 インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する
- 6 同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておけば自然になくなる
- 7 その他 ()

(*)えせ同和行為とは、同和問題を口実として行われる不法、不当な行為や要求

外国人に関する人権についておたずねします。

問22 日本に居住している外国人に関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 就職活動や職場において不利な扱いを受けること
- 2 年金や医療保険制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されないこと
- 3 選挙権がないこと
- 4 アパートなどの住宅を容易に借りることができないこと
- 5 習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと
- 6 結婚の際、周囲から反対を受けること
- 7 病院や公共施設に十分な外国語表記がないので、サービスが受けにくいこと
- 8 お店やレストランなどで十分なサービスが受けにくいこと
- 9 わからない
- 10 その他 ()

問23 日本に居住している外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 外国人のための各種相談機能を充実する
- 2 外国人の人権を守るための啓発活動を推進する
- 3 外国人の就職機会を確保する
- 4 外国人の地方参政権や行政への参画を促進する
- 5 日常生活に必要な情報を外国語により提供する
- 6 外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど、国際理解教育を進める
- 7 地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める
- 8 わからない
- 9 その他 ()

インターネットによる人権侵害についておたずねします。

問24 インターネットに関する事柄で、人権上、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること
- 2 差別を助長する表現を掲載すること
- 3 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること
- 4 捜査対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること
- 5 わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載すること
- 6 個人情報が流出していること
- 7 インターネットを利用した悪徳商法の被害が起こっていること
- 8 わからない
- 9 その他 ()

問25 インターネット上の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思われるか。次の中から3つまでお選びください。

- 1 インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する
- 2 インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する
- 3 プロバイダに対し情報の停止・削除を求める
- 4 違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する
- 5 表現の自由に関わる問題であり、対策には慎重な対応が必要である
- 6 わからない
- 7 その他 ()

人権問題への取組についておたずねします。

問26 今後、市町が人権問題の解決に向けて、取り組むべきことについて、あなたの考えに近いものはどれですか。次の中から3つお選びください。

- 1 広報活動の推進
- 2 相談機能の充実
- 3 人権侵害を受けた人を救済する制度の充実
- 4 情報の収集・提供の充実
- 5 国・県・市町村、民間団体等の関係機関による連携と一体的な啓発の推進
- 6 幼児期から、多様な個性を認めあえる教育の推進
- 7 学校における人権教育の推進
- 8 人権にかかわりの深い職業に従事する者に対する人権教育の充実
- 9 社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策の充実
- 10 必要ない
- 11 わからない
- 12 その他 ()

問27【自由記述欄】人権問題について考えておられることを、ご自由にお書きください。

これで調査は終了になります。ご協力ありがとうございました。

本調査票は同封の返信用封筒で、平成27年1月23日（金）までに、郵便ポストにご投函くださいますようお願い申し上げます。